

(8-6)

伊地知軍司譯	軍擴の經濟戰	上四六	製判	一、二〇	八〇	日本公論社	月六	▲最近過去に於ける實際的歴史軍備經濟及び未來の大規模な再軍備擴張の世界經濟論述
小出保治譯	計畫經濟と獨裁政治	上	製判	六〇	六〇	永吉書房	月二十	▲問題、保護政策の發展、世界金本位制の崩壊、計畫經濟には實現性ありや外二篇。
經濟部編著	世界恐慌論	並四六	製判	四〇	四〇	出版部	月十	▲最近經濟情勢の好轉、恐慌底入れの實相、世界恐慌の鳥瞰。
ソ聯邦外國貿易人民委員部稅關本局編著	ソヴェト聯邦外國貿易統計	並四六	製判	四〇	四〇	日露通信社	月五	▲躍進途上のソ聯邦外國貿易統計を政府當局の發表に基き編纂したる本邦唯一の出版物。
平竹傳三	ソヴェト聯邦經濟地理	上	製判	二、〇〇	一四〇	ナウカ社	月八	▲ソ聯邦の五ヶ年計畫に於ける經濟現狀を全國家的、地方別に互つて經濟地理的に記述する
ロシヤ問題研究所編	ソヴェト・ロシヤ經濟地理	布	裝判	二、六〇	一四〇	叢文閣	月九	▲ソヴェト聯邦に關する經濟地理を科學的觀點から書いたもの。
大井卯次郎	第五ヶ年計畫の全貌	並	製判	八〇	八〇	ナウカ社	月五	▲第十七回黨大會報告速記の譯で、第二次五ヶ年計畫の綱領（第十七回大會決議其他）
支那問題概論	支那問題概論	洋四六	布入判	二、〇〇	一〇〇	文化集團社	月一十	▲マシヤールの「支那經濟概論」の譯で、支那農業經濟、支那工業發達の指標其他。
生氣躍動する産業朝鮮	生氣躍動する産業朝鮮	並四六	製判	一、〇〇	八〇	日本評論社	月二	▲朝鮮に於ける産業の偉大さを説述せる書で日滿統制經濟の中樞、資金の國朝鮮外十五篇
國際經濟問題の解説	國際經濟問題の解説	上四六	製判	一、八〇	一八〇	一元社	月四	▲國際共通の一般諸問題、財政および金融問題外六編にて國際經濟問題を解説す。
國際經濟戰と日本	國際經濟戰と日本	並四六	製判	二、〇〇	二〇〇	朝日新聞社	月四	▲世界經濟上の諸問題を述べたもので、資本主義的戰略、恐慌の激化と管理通貨外八章。
國際銀塊取引と其原價計算	國際銀塊取引と其原價計算	洋四六	布入判	八〇	八〇	森山書店	月七	▲世界と日本に關する各種の諸問題の事實の記録を報告し解明す。
印度の産業と關稅	印度の産業と關稅	洋四六	布入判	一、八〇	一八〇	日本經濟學會出版部	月二十	▲米國銀塊の輸出入狀況、倫敦銀塊市場の概況、上海銀塊の輸出入概況外十八篇にて説く
列國の重壓と南方の活路	列國の重壓と南方の活路	洋四六	布判	二、〇〇	二〇〇	國際經濟研究所	月九	▲棉花工業と關稅、鐵鋼工業と關稅外二編にて印度の産業保護關稅政策を分析檢討す。
何故は生糸を買はぬか	何故は生糸を買はぬか	上四六	製判	一、五〇	八〇	國際經濟研究所	月二十	▲蘭印問題が今後の我が經濟生活に對する重大なる生命線である所以を説く。
社會教育パンフレット	社會教育パンフレット	並四六	製判	二、五〇	二五〇	育社協會	月八	▲米國の購買力減退を招來せる幾多の原因を解剖し、不景氣の現實を示せるもの。
世界と日本	世界と日本	並四六	製判	二、五〇	二五〇	岩波書店	月十	▲激烈な通商戰、何がさうさせたか、各國不況打開策の過去、米國のNRA運動其他。

(8-7)

高橋龜吉	世界資本主義の前途と日本	上四六	製判	一、五〇	二五〇	千倉書房	月三	▲歐米經濟の新轉向と日本に及ぼす影響、日貨の世界進出事情と我が低賃銀問題外三編。
朝日新聞社編	國際經濟戰と日本	並四六	製判	二、〇〇	二〇〇	朝日新聞社	月四	▲所謂通商障害の現狀（吉野信次）最近世界經濟の情勢（津島壽一）の二篇より成る。
有本邦造	國際銀塊取引と其原價計算	洋四六	布入判	八〇	八〇	森山書店	月七	▲米國銀塊の輸出入狀況、倫敦銀塊市場の概況、上海銀塊の輸出入概況外十八篇にて説く
今村忠男譯著	印度の産業と關稅	洋四六	布入判	一、八〇	一八〇	日本經濟學會出版部	月二十	▲棉花工業と關稅、鐵鋼工業と關稅外二編にて印度の産業保護關稅政策を分析檢討す。
立野斗南	列國の重壓と南方の活路	洋四六	布判	二、〇〇	二〇〇	國際經濟研究所	月九	▲蘭印問題が今後の我が經濟生活に對する重大なる生命線である所以を説く。
國際經濟研究所編	何故は生糸を買はぬか	上四六	製判	一、五〇	八〇	國際經濟研究所	月二十	▲米國の購買力減退を招來せる幾多の原因を解剖し、不景氣の現實を示せるもの。
東京朝日新聞編輯部長	社會教育パンフレット	並四六	製判	二、五〇	二五〇	育社協會	月八	▲激烈な通商戰、何がさうさせたか、各國不況打開策の過去、米國のNRA運動其他。
滿洲經濟調查會編	滿洲經濟年報	並四六	製判	一、八〇	一四〇	改造社	月九	▲滿洲社會經濟史の諸問題、一九三四年滿洲經濟總覽外一部より成る。
高橋龜吉	滿洲經濟と日本經濟	上四六	製判	一、五〇	二〇〇	千倉書房	月十	▲滿洲經濟の實情とその對日關係を述べ、更に日本經濟の實情を説く。
滿洲地方部	滿洲商工事情	並	製判	八〇	八〇	滿洲鐵道	月十	▲滿洲事變後に於ける商工事情の變化及び趨勢を述べた書で、滿洲の資源外六篇。
滿洲經濟調查會編	滿洲産業統計	並四六	製判	一、五〇	二〇〇	株式會社	月七	▲滿洲に於ける農、産、林、水産、鑛、工業等の産業資源に關する諸般の統計を集成す。
滿洲評論者編	滿洲事業會社總覽	並四六	製判	二、〇〇	二〇〇	滿洲評論社	月十	▲滿洲を本籍とし、事業の根據とせる株式會社の昭和八年末の内容事項を記載す。

竹内謙二	猪俣津南雄	日本工業俱樂部	高橋龜吉	藤原俊雄	小島精一	小野桂編	時事新報社	伊藤好道	江木萬吉	フキッシャー	川島良一	荒木箇登	大阪朝日新聞
日本經濟の不安性	軍備・公債・増税	近經濟の重要問題	ソシヤル・ダンピング論	明日の經濟と資本	岡田内閣と一九三五年	高橋是清翁の經綸	若し大臣だつたら	來年の景氣	赤字公債の不安	好況か不況か其對策	保險革新の烽火	日蘭會商の真相	日蘭會商の真相
上四六製判	洋四六製判	並四六製判	上四六製判	並四六製判	上四六製判	並四六製判	上四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判
378	289	546	384	210	348	150	113	63	63	297	260	83	83
一、三〇	一、〇〇	二、〇〇	一、五〇	一、〇〇	一、五〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
千倉書房	改造社	一元社	千倉書房	日本業社	千倉書房	輝く日本社	國際經濟研究所	現實處	現實處	凡進社	今日の問題	朝日新聞社	朝日新聞社
二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十	二月二十
▲我内外の經濟事象を觀察し、對策を述べたもので、現經濟機構の改造外二篇。	▲軍備、公債、増税を大衆の視角から分り易く述べた書で、戦争と軍備外三篇。	▲景氣問題、經濟不況問題統制、經濟問題、貨幣問題外二問題に對する諸家の所説を掲ぐ。	▲日本の社會的投資に就ての論述で、日貨ソシヤル・ダンピング論の真相と其の對策其他。	▲人口を基調に我内政に對する經濟上の國是と大綱を論じたもので、日本の人口問題其他。	▲岡田内閣と危機の展開、最近内外經濟界の二篇十章にて財政問題を論ず。	▲今期議會を通して國費的存在たる高橋是清翁の經綸抱負を述べた書。	▲時事新報に連載された「編に倚る」の改題で、財界巨頭の抱懐を掲ぐ。	▲十年度の景氣の動向、推移に就て解説せるもので、景氣の見方外十一篇。	▲十年度豫算を批判し、それが日本財界の上及ぼす影響を考察せるもの。	▲景氣變動を研究し、更に各種の不況打開策を擧げて独自の對策を説く。	▲保險の革新を論じたもので、保險革新の烽火、國營保險即行論の二篇より成る。	▲日蘭會商に就て(有馬彦吉)及び朝日新聞に連載された「南洋商線打撃座談會」を収む。	▲時事新報紙上に發表された「産業外交と日蘭會商を語る」座談會の記録。

時事新報社編	江崎利雄	平塚常次郎	須田孝太郎	松方幸次郎	田川大吉郎	田川大吉郎	田川大吉郎	田川大吉郎	經綸會調查部編者	經綸會調查部編者	經綸會調查部編者	田中丸祐厚	日露通信社編
産業外交と日蘭會商を語る	北洋日本の危機	北洋漁業國策	國防線上の北洋漁業	石油國策	田租廢止論	高橋財政の前途	關印通商問題	我國當面の石油問題	製鐵合同問題	合同後の製鐵問題	對露漁業交渉をスパイする	國防利權北樺太石油	
上四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判
65	207	42	44	106	64	64	53	44	58	132	284	29	
二〇	一、五〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	
時事新報社	國際經濟研究所	日蘇通信社	日露通信社	露西亞通信社	現實處	現實處	出版部	出版部	出版部	出版部	出版部	出版部	出版部
二月八	二月九	二月八	二月九	二月八	二月九	二月八	二月九	二月八	二月九	二月八	二月九	二月八	二月九
▲時事新報紙上に發表された「産業外交と日蘭會商を語る」座談會の記録。	▲北洋漁業を解剖せるもので、危機に立つ北洋、權益擁護の我が前衛外一篇。	▲北洋漁場に於ける資源保護對策に就て述べた書で、北洋漁業と私外五篇。	▲北洋漁業問題の真相を説明し、自己の北洋漁業國策を提唱せるもの。	▲石油は何故貴重か、石油と國家、木邦石油産業小史外六章にて石油國策を説く。	▲日本農民を眞に救ふ道としての田租廢止論に就ての論述。	▲高橋蔵相は果して吾人に眞實の繁榮を齎す福の神か、日本國家を崩壊に導く悪魔か。	▲開會以來半歳を経過して猶紛糾を續けつゝある日蘭會商に對する國策を提示せるもの。	▲石油業法施行後の斯界の前途を國策の立場から嚴正に批判檢討したもの。	▲第六十四議會で喧囂の論議を捲き起した製鐵合同の内幕を刺すなく曝露したもの。	▲合同後の製鐵問題に國策上からの正しい解決路を指示した書。	▲紛争に終始した堪察加に於ける露領漁業について冷靜な觀察と批判を加へたもの。	▲對露利權中我海軍の燃料政策上重大な役割を演じてゐる北樺太石油の全貌を見る。	

杉本正幸	農地價格論	岩松堂	四月	▲農地の價格に關する現象を實學的立場より考究せる書で、農地價格構成の根據外六章。
栗栖赴夫	一般金融の知識	非凡閣	五月	▲銀行短期金融に關し我が國の銀行制度に立脚してその活動の形態と機能とを説く。
大田黒敏雄	銀行金融の知識	非凡閣	五月	▲信用組合、無盡會社、民事上の無盡、銀行及貯蓄銀行、信託會社及其法制度等を解説。
金原兼一郎	金融の話	出版部	八月	▲金融現象に就て述べたもので、商品と貨幣銀行の話、通貨の原理、爲替相場外九章。
高橋一渡	小口金融の話	雄風館	八月	▲庶民階級の貧乏振興、それに對する政府の金融政策並に金融機關の小額貸付を説く。
松崎壽	本邦中小工業金融論	文雅堂	六月	▲日本に於ける中小工業の金融に就て論述したもので、緒論、中小工業の金融方法外六章。
高橋龜吉	實踐金融論	千倉書房	六月	▲最近までには於ける金融理論の革命に就き、色々の問題を通じて各種の角度より論述す。
小島昌太郎	金融機構論	雄風館	六月	▲企業金融の序論として一般の金融機構を叙述したもので、金融の意義外八章。
森川太郎	金融經濟總論	甲文堂	六月	▲貨幣の中核的流通過程の分析に於て、貨幣が流通途中に惹き起す經濟現象を論述す。
早稻田大學教授	金融經濟大綱	東京泰文社	一月	▲貨幣及び銀行問題に就て検討せるもので、金融經濟機構論貨幣經濟外十章。
高島佐一郎	新貨幣金融論	千倉書房	五月	▲管理通貨的、統制金融的、國民主義的國際協調的立場から近時の貨幣金融現象を論述す。
エフ・アー・ハイエク著	貨幣と景氣變動	高陽書院	一月	▲景氣變動の基本的理論についての論述で、貨幣的景氣的理論の發展過程外三章。

杉本正幸	不動產の評價	岩松堂	四月	▲不動產の鑑定評價に關する書で、諸論、鑑定及び評價、評價の目標、評論機關外六章。
永田清	國家財政の知識	非凡閣	五月	▲財政現象に對する一般的概説書で、財政及び財政學の發展、國家收入論外二篇。
青木得三	地方財政の理論	巖松堂	九月	▲地方財政殊に稅制に就ての理論を述べたもので、地方歳入、地方歳出、地方債の三篇。
宮越卓	豫算編成の理論と實際	盛義堂	七月	▲豫算の意義、豫算調製の手續、注意等を解説せる書で、豫算の基礎知識外四篇。
大藏省編	昭和九年度豫算の解説	日本評論社	七月	▲最近數ヶ年度の國庫歲計概観、昭和九年度豫算の綱要、昭和九年度歲入豫算の内容其他大臣の財政に關する演説の内容を収む。
貴島桃隆編	代國務大臣演説集	國際經濟研究所	十一月	▲現代の租稅國家經濟を觀察し其社會的、經濟的關係を闡明し其運命を研究せる書。
和歌山高等商業學校教授	租稅國家論	有斐閣	十月	▲英國の所得稅、獨逸の所得稅我國の所得稅各國所得稅負擔の比較外六章。
伊藤伯見	各國所得稅制論	有斐閣	七月	▲増稅を可として述べたもので、増稅は早いが可い、いろ／＼の對策外六篇。
田川大吉郎	増稅問題の實證的檢討	森山書店	七月	▲増稅問題を檢討し、更に我が財政及び稅制を解剖せる書で、増稅への氣流外十七章。
清水伸	租稅の知識	非凡閣	五月	▲我國國民經濟の現狀並に其の動向を主として財政と個人經濟との關係から觀察しての講述

上田貞次郎編	日本人口問題研究	並菊	製判	495	二、三〇	協調會	月十	▲我國人口動態の現狀と國民の所得の源たる職業の増加及びその種類の變化を研究す。
人口問題研究会編	日本人口密度圖	並菊	倍製判	50	二、〇〇	刀江書院	月七	▲各府縣を郡別にし大正九、十四年、昭和五年の國勢調査に基き人口密度を數字にて掲ぐ
岡崎文規	人口統計に於ける諸問題	洋函菊	布入判	280	二、三〇	出版部	月七	▲人口統計に於ける諸問題に就ての論述で、
高木友三郎	統計學概論	洋函三六	布入判	341	八〇	岩波書店	月十	▲統計に關する一般的知識を紹介説明せる書で、緒論、統計の基礎概念、統計學外二章。
相澤周介	産業日本の神髓	上函四六	製入判	467	一、五〇	モグン社	月九	▲我が産業界の實勢を各部門別に省察検討し
大坂商事株式	重要産業の實勢	並菊	製判	214	一、〇〇	大坂商事株式	月七	▲我が産業界の實勢を各部門別に省察検討し
清水芳太郎	日本産業戰略	上四六	製判	320	一、五〇	千倉書房	月十	▲農業以外の産業の大生産制限に反對せる書で、日本に非常時産業戰略の準備なし其他。
岩井良太郎	獨占産業物語	上四六	製判	342	一、五〇	千倉書房	月十	▲最近に於ける獨占資本に關する問題の原因及び獨占資本の本體を解剖し説明す。
資源整備調査局	内外産業資料	洋四六	布判	108	二、五〇	栗田書店	月二十	▲第一部軍事經濟（六項目）第二部生産機關（十六項目）第三部日滿經濟（八項目）其他
東京支局	モレット氏報告書	並菊	製判	67	二、〇〇	東京支局	月十	▲國際労働局長モレット氏の日本産業及び労働事情に關する視察報告書。
ダイヤモンド社編	我等の誇り	並四六	製判	158	四、五〇	モグン社	月十	▲我等の手に輝く産業日本、努力して群を抜いた實例、先輩の體験から得た教訓。

胸村雄三郎	電力界の功罪史	布函四六	製入判	351	二、〇〇	交通經濟社	月一十	▲電力界十五年間の諸問題を表裏より觀察し
安川雄之助	産業貿易觀	布函四六	製入判	316	一、五〇	千倉書房	月九	▲四十餘年の體験に基き、實際的立場より産業貿易に就て所信を披瀝せるもの。
字原義豐	産業組合と反産運動	並四六	製判	262	一、〇〇	經營研究社	月二	▲産業組合と反産運動より農村都市産業の統制までを説述せる書で、産業組合運動外七章
大貫將	反産	並四六	製判	228	四、五〇	丸ノ内社	月三	▲我國の産業組合と商權擁護聯盟の主張及び
白井鋼之助	産業組合論	布菊	裝判	188	一、五〇	東京農業出版部	月十	▲産業組合發達史、日本産業組合解説、農村振興と産業組合の使命を詳述す。
小笠公昭	産業組合概説	布函菊	裝入判	208	一、八〇	巖松堂	月六	▲總説、産業組合の設立、商業組合の機關、商業組合の事業外七章にて商業組合を説く。
渡邊鏡藏	中小工業死活の問題	並四六	製判	141	六、五〇	千倉書房	月二	▲商權擁護の主張、産業組合の中小商工壓迫農村疲弊の眞因外三篇にて説く。
濱田恒一	貿易政策論	洋函菊	布入判	228	二、三〇	改造社	月十	▲各國貿易と貿易政策が如何に資本主義と結合せるかを述べ之が發展に依る動向を示す。
景山哲夫	貿易政策原論	洋函菊	布入判	440	三、〇〇	出版部	月九	▲關稅、貿易の諸問題に就て、經濟的意義と法律的解釋とにより論述す。
今西正雄	最近の貿易政策と世界	並四六	製判	332	一、八〇	凡進社	月二	▲現在の國際經濟を主として各國の立場より論じたもので、舊貿易理論の崩壊外七章。
上坂西三	貿易實務	洋函菊	布入判	462	三、五〇	東京泰文社	月四	▲貿易實務に關して述べた書で、貿易取引の基礎知識、輸出取引の仕方と其手續外二篇。
山崎靖純	外國爲替新讀本	並菊	製判	315	一、五〇	出版部	月一	▲國債貸借と其の決済（外國爲替）爲替相場外國稅金爲替、輸出貿易と輸出爲替外六章。

芳野 國雄	貿易爲替計算の常識	洋四六 布入判	一、〇〇	千倉書房	月十	▲外國貿易に關する爲替計算の知識を説いた書で、貨幣及度量衡、外國爲替外四章。
木村 増太郎	貿易と爲替の知識	洋四六 布入判	八〇	非凡閣	月七	▲外國爲替（爲替相場、爲替實務外三章）國際貿易（輸入制限と輸出奨励外四章）の二部
宮川 貞一郎	新貿易方策と爲替	洋四六 布入判	一、五〇	雄風館	月一十	▲爲替清算制度其他の新らしき貿易制度に就て述べた書で、封鎖勘定外七章。
日本經濟研究所	爲替及爲替相場の實際	洋四六 布入判	一、八〇	吉田書店	月二	▲爲替及び爲替相場の理論と實際に就て平易に説述せる書で、内國爲替の實際外五編。
工業經濟研究會編	工業經濟の話	上四六 製判	一、五〇	千倉書房	月五	▲工業經濟に關する各般の問題を汎く輯録して説述せるもので、英國工業史外十八篇。
カール・テール	研究	並六 製判	八〇	森山書店	月八	▲カルテルの意義及び發生に關する若干の問題（諸井貫一）外七篇。
近藤 康男	農業經濟論	並六 製判	二、〇〇	時潮社	月二	▲農業經濟問題を社會總資本の蓄積運動に關聯して考察した書で、緒論、地代外三章。
リヤシチエンコ著	農業經濟學	布四六 製入判	二、五〇	ナウカ社	月一十	▲下巻はリヤシチエンコの「資本主義的農業の體系」の譯で、市場と農業其他。
直井 武夫譯	農業經濟學	布四六 製入判	一、〇〇	出版部	月九	▲政友會の政務調査會に提案せる米穀對策で米穀自治的統制々度案理由要旨外三篇。
助川 啓四郎	米穀問題解決方策	上四六 製入判	一、〇〇	立命館	月三	▲日本農村の更生策で、一般に唱へらるる救濟策、根本的救濟策、現物納税に就て其他。
廣江 源三郎	日本農村經濟の再組織	並六 製判	八〇	明文堂	月五	▲變革期にある農村經濟の實相を資料的に考察せる書で、農村經濟の一般的動向外四章。
木村 靖二	農村變革期の經濟	並六 製判	二、〇〇	白揚社	月五	

栗原 藤七郎	農村經濟圖説	並六 製判	一、〇〇	明文堂	月七	▲數字及び圖版にて農村經濟を全面的に説けるもので、國民經濟と農業外十二篇。
岩田 健治	村の經濟六十年史	並六 製判	八〇	實業農業社	月三	▲稻作と養蠶を行つてゐる長野縣南佐久間郡田口村の經濟状態を述べ且農村の經濟を説く
協調會編	農家労働調査報告	並六 製判	二、〇〇	協調會	月三	▲自昭和七年四月至昭和八年三月までの埼玉縣井原村に於ける農家の經濟調査の前篇。
ダイヤモンド社	ポケット會社要覽	洋三六 布判	八〇	ダイヤモンド社	月七	▲あらゆる株式會社の設立年月、資本金、株數、財産状態、近年の成績、價值其他を收む
東海通信社	滿洲及日本外地會社要覽	並六 製判	二、〇〇	東海通信社	月六	▲滿洲其他日本外地に本社或は事業の本據を有する資本金五萬圓以上の會社を網羅す。
大阪屋商店調査部	事業と株價の將來	並六 製判	一、〇〇	大同書院	月二十	▲事業を調査し會社状態を見透し更に株價批判の基礎要件たる収益力等をも吟味す。
向井 鹿松	取引所投機と株式金融	洋四六 布入判	一、三〇	森山書店	月七	▲緒言、株式金融の意義と株式投機の本質、取引所による株式投機と株式金融外四章。
西本 寬一	株金拂込論	洋四六 布入判	二、〇〇	政經書院	月二十	▲總論（株式拂込義務、出資の種類）各論（第一回の拂込、第二回以後の拂込）の二章。
古山 島藏	株式譲渡論	洋四六 布入判	一、五〇	日本會社	月二十	▲株式譲渡の法的關係に就て研究せるもので株式譲渡の制限又は禁止外八篇。
栗林 正修	株式讀本	上四六 製判	一、五〇	新國際經濟	月一十	▲株式相場、取引所、紡績、公社債明細表、株式金融財政一般統計其他より成る年鑑。
大阪屋商店	株式年鑑	洋四六 布入判	一、三〇	大同書院	月六	▲各會社の貸借對照表、損益計算、事業規模株式相場等を記載せる株式社債年鑑の九年版
山一證券株式	株式年鑑	洋四六 布入判	一、三〇	山一證券	月一	

經濟情報社編	株式投資年鑑	昭和九年上半期版	並菊	1622	三〇〇	經濟情報社	月五	▲會社評論、統計、圖表、各事業と諸會社の見透其他株式投資に關し一切を網羅せる年鑑
經濟情報社編	株式投資年鑑	昭和九年下半期版	洋菊	1930	三〇〇	經濟情報社	月二十	▲株式中心で見た市場性如何に基準を置いて事業會社十三社の業績を収録。
報知新聞社編	景氣と相場の見方	新聞經濟面の手引	上三六	345	一、三〇	千倉書房	月六	▲新聞の經濟記事、商況記事等を中心として其知識を解説せるもの。
中外商業新報社編	景氣變動の見方	景氣變動の相場の見方	上四六	315	一、三〇	千倉書房	月八	▲景氣變動の様相、景氣變動の動因、現下の經濟情勢と其見透の三篇。
齊藤恒之助	軍擴景氣の發展と投資法	軍擴景氣の發展と投資法	上四六	340	一、三〇	千倉書房	月八	▲今後の軍擴景氣と投資法に就て述べたもので、軍需工業の前途、軍需工業株の投資對策
千田理示造	株價變動と週期性	株價變動と週期性	並四六	153	一、〇〇	森山書店	月九	▲株價變動の週期的現象を多數の統計により説明せるもので、株價變動と週期性外三篇。
橫義衛	株式投資の話	株式投資の話	並四六	330	一、五〇	出版命部	月七	▲米國財界概観、日本財界概観、株式投資論等三篇にて述べた株式投資の入門書。
小田利得	株式と相場の知識	株式と相場の知識	洋四六	291	八、八〇	非凡閣	月七	▲投資と投機、株式利廻り、相場變動の材料其他方法、金利と株式利廻り、相場變動の材料其他
勝田貞次	雑株投資案内	雑株投資案内	上四六	332	一、〇〇	千倉書房	月二	▲金銀、炭鐵、製糖、化學工業、漁業等に關する株式投資法及び投資價值を判定す。
丹波彌壽夫	重工業株の徹底的研究	重工業株の徹底的研究	洋四六	354	二、〇〇	栗田書店	月一十	▲重工業株に就き財界の大勢を觀測し、個々の會社に對する知識を述べ。
大坂毎日・東京日日新聞社エコーノミスト部	躍騰する人氣株	躍騰する人氣株	上四六	218	一、〇〇	新正堂	月四	▲人絹、電力、軍需工業株の將來性を究明し投資價值を述べた投資の指針書。
松本武夫	新東株賣買の研究	新東株賣買の研究	洋四六	113	一、八〇	大同書院	月二十	▲天底看破線により新東相場の究極を表示せるもので、本線の目的其他。
東洋經濟新報社編	短期新東日々表	短期新東日々表	布四六	121	六、五〇	新東經濟社	月三	▲東京短期取引開始以來百十五ヶ月間の短期新東相場及び後場其他の記録。

永田孝信編	短期新書東半日足	以上場	軌菊	14	五、〇〇	新東社	月五	▲短期新東開始以來の各場寄引高底値を陰陽線にて表示し政財界重要事項等を採録す。
武田憲治郎	大株長期相場詳覽	大株長期相場詳覽	布四六	115	二、八〇	森山書店	月九	▲短期新東株に關する取引開始以來の數字及び關係事項を一切網羅す。
商店調査部編	社債の實際知識	社債の實際知識	洋四六	443	一、四〇	大同書院	月九	▲大阪株式取引所の清算市場に上場された百七社の業績、内容等を輯録す。
板橋菊松	公債の實際知識	公債の實際知識	洋四六	311	一、六〇	千倉書房	月一十	▲社債の全般に互つて解説した書で、社債の始まり、社債の概念外十章。
高橋渡	公債と勸業債券	公債と勸業債券	上四六	160	八、〇〇	雄風館	月二	▲公債に就ての常識を述べたもので、公債の償還について、公債の價格と利廻り、公債の
大倉金之助	勸業債券の買方賣方	勸業債券の買方賣方	洋四六	200	一、三〇	高陽書院	月二十	▲公債、勸業債券による資産増殖並に相場變動を説き更に實行の實際知識を述べ。
白金光助	金儲けの考へ方と	金儲けの考へ方と	並四六	198	六、〇〇	出版命部	月六	▲債券の利殖に就て説いたもので、利殖投資の公式、債券にどんな種類があるか、外十一篇
加藤美侖原	金儲けの考へ方と	金儲けの考へ方と	上菊	293	八、五〇	誠文堂	月四	▲あらゆる利殖に就て述べた書で、貯金と利殖に就ては心を得おくべし外十篇。
勝矢劍太郎	金儲けの考へ方と	金儲けの考へ方と	洋四六	254	一、〇〇	安進會	月五	▲金儲の秘訣を述べたもので、金儲秘策元帖資本勘定帖、小資本賣上帖小六篇。
勝田貞次	一九三五年の不安	一九三五年の不安	上四六	420	一、五〇	千倉書房	月二十	▲一九三五年の不安見透し其他に立脚して投資方針投資物件其他を調査研究す。
大阪毎日新聞部編	第四大投資相談	第四大投資相談	布四六	725	二、五〇	一元社	月二十	▲第二次のインフレを見究め、それに對する投資方針を述べた書。
中外商業新報社編	利廻り相談	利廻り相談	上四六	335	一、五〇	千倉書房	月九	▲中外商業新報に連載された「利廻り相談」で貯金、無盡、貸家其他の投資に就て相談す。
芳野國雄	利廻り相談	利廻り相談	上四六	395	一、五〇	千倉書房	月二十	▲利廻り相談をやる場合を説明し、必要な公式の解説と表の使い方、應用方法を述べ。

高森昇一郎	火災保險實務の手引	布四六 裝入判	356	二、三〇	二、三〇	魚屋書店	月五	▲平易に述べた火災保險實務の手引書で、機關と組織、地方發展策外八章。
田中貢	商業政策	洋四六 布入判	319	二、五〇	二、五〇	栗田書店	月二十	▲通商障の除去と自立繁榮の具體的解決策を中心内外商業政策全般に互つて叙述す。
文相社社長 楠間龜楠	商業讀本	洋四六 布入判	137	一、〇〇	一、〇〇	文明社	月二	▲商業に關する最も基礎的な知識を述べたもので、商業、小切手、銀行業外五十八課。
東京市立平島商業學校校長 吉水正孝	新商人訓話	上四六 裝入判	117	六、五〇	六、五〇	同文館	月五	▲實在の傳記を擧げて商人に對する心得を述べたもので、奉仕が眞髓外五話。
ホフマン著 向井梅次譯	マフ經營學 下 商業企業經濟學概論	洋四六 布入判	935	三、九〇	三、九〇	森山書店	月二	▲下巻は、利潤政策による資本保全、資本調達の問題外九章にて述べ。
馬場敬治	經營學の基礎的諸問題	洋四六 布入判	301	二、五〇	二、五〇	日本評論社	月七	▲經營學の中心問題と所謂計算價格（經營價值）の問題、原價に關する基礎的諸問題其他
日本經營學會編	經營學とインフレーション	洋四六 布入判	361	二、五〇	二、五〇	同文館	月五	▲日本經營學會第八回大會の講演、研究報告の速記録並に本年度の會報を蒐録す。
市川欣二郎譯	科學的購買論	洋四六 布入判	272	三、〇〇	三、〇〇	東京實業社	月六	▲事業經營上の首題として等閑を許さない購買に關する研究の譯述で二編廿三章より成る
協調會	全國勞務懇談會記錄	洋四六 裝入判	200	一、〇〇	一、〇〇	協調會	月八	▲全國産業界各方面有力者二百餘名參會の下に講究せる勞務管理勞務教育の懇談會記錄
矢持輝治	「マネジメント」拾週年記念經營管理	洋四六 布入判	600	一〇、〇〇	一〇、〇〇	マネジメント社	月二十	▲企業の統制組織、材料管理、作業管理、勞務管理、賃銀制度、原價計算、豫算管理等々
西川武五郎	賃銀制度の研究	並四六 裝入判	68	四、五〇	四、五〇	ト社調査部	月六	▲各種賃銀制度を詳細に攻究してその要點を纏め、就中獎勵賃銀制度の總てを纏めてある

矢持輝治	團體作業に對する 刺戟獎勵制度	並四六 裝入判	102	七、〇〇	七、〇〇	ト社調査部	月二十	▲團體作業員の編組、賃銀決定の基礎要項、收得の決定と其分配方法。
西川武五郎	作業研究	並四六 裝入判	92	一、〇〇	一、〇〇	ト社調査部	月七	▲作業研究總説、ストツプ・ウオツチメモソド、ミククロモーション・メソソド。
井上信明編	從業員待遇比較統計	上四六 裝入判	102	二、〇〇	二、〇〇	經濟時論社	月三	▲各社の待遇上の根幹となる事項を調査し各事項別に比較し待遇方を比較し得る様説く。
井上信明編	勞働者待遇比較統計	洋四六 布入判	94	二、〇〇	二、〇〇	經濟時論社	月七	▲各社に於ける勞働者の待遇を比較し圖表にて示せる書で、退職及解雇手當金比較其他
山本樂山	銀行員實務向上指針	上四六 裝入判	127	一、五〇	一、五〇	實務向上 研究會	月九	▲銀行其他の金融業に携はる者に經驗上の事項を述べた指針書。
上野陽一編	事務必携	洋四六 布入判	316	一、〇〇	一、〇〇	同文館	月六	▲種々の事務にたづさわる人々に共通な事柄を能率の立場から説いた執務要領。
上野陽一	人を説く方法	上四六 裝入判	352	一、五〇	一、五〇	千倉書房	月一十	▲心理、生理、哲學、宗教等全ての方面から人を説く方法を述べ、人を動かす力を論ず。
明治大學教授 中瀨勝太郎	會計監査網要	背四六 裝入判	330	三、三〇	三、三〇	巖松堂	月四	▲會計監査に就て説述した書で、總論、會計監査の準備工作、監査參考資料外五章。
渡部義雄	増補 會計上の業務と責任	洋四六 布入判	166	一、三〇	一、三〇	森山書店	月五	▲會計上の業務に關し概括的説明を加へ監査上の責任を研究せる書。増補版。
野本佛之助譯者 野瀨新藏譯者	企業財政の比率分析 —決算報告書のウォール式見方—	洋四六 布入判	314	二、八〇	二、八〇	森山書店	月四	▲分析項目論、分析本論、分析事例の三編にて企業の數字的事實を分析す。
太田哲三	財務諸表準則解説	布四六 裝入判	361	二、八〇	二、八〇	高陽書院	月二十	▲貸借對照表、損益計算書等の事業會計報告書の統一を目的とする財務諸表準則を解説す

今井忍		稻垣喜太司		古澤常次		久伊武雅		青木倫太郎		北條時重		酒井淳三		伊藤由三郎		吉田良三		原廣太郎		
商店經營讀本	商店經營讀本	商店經營學讀本	商店新經營十二講	商業算術提要	金利計算表	高等商業數	郵便の知識	銀行書翰文例集	商業簿記提要	受驗簿記ねらひ所	式小賣商店帳合法	商業簿記提要	銀行問題	商業簿記提要	式小賣商店帳合法	商業簿記提要	商業簿記提要	商業簿記提要	商業簿記提要	
上六	上六	上六	上六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	
227	379	216	486	190	304	255	349	196	411	16	196	411	16	196	411	16	196	411	16	
一、二〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	
高陽書院	高原書店	同文館	巖松堂	川瀬日進堂	式合資會社	モダンド社	銀行問題	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	
三月	三月	五月	四月	三月	二月	八月	四月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	五月	
▲科學に基いた現代な商店經營法に就いて述べた書で、商人の心得外七課。	▲商店經營の理論と實際に就いて述べた書で、總論、販賣論、仕入論、廣告及陳列外二編。	▲小賣商店に於ける經營の指導書で、開店の卷、商道の卷、販賣の卷、仕入の卷其他。	▲商業算術一般の計算理論及び方法を解明せる書で、總論、基礎算法、度量衡外十六章。	▲公式一覽復利諸表年金諸表債券價格表生命保險諸表減價消却諸表對數表を收載せり。	▲下巻は利息算、債券の評價、利廻、補間法、減價確率論其他を收む。	▲内國郵便、外國郵便、内國爲替、電信、電話外五章に於て郵便に關する全ての事項を説く。	▲銀行實務の全般に互つて關係ある文例七百五十餘を收録す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲専門程度の商業簿記に關して述べたもので、總論、複式簿記の組織、勘定科目外二篇。	▲最近諸官立學校試験問題の傾向に基き問答式にて解説せる簿記の参考書。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。

松岡元三郎		葛城照三		池田壽太郎		芳野武雄		水野菊一		井上達雄		三宅則義		岩重至		河部繁一		岩重至		芳野武雄		門脇逸司		杉山茂	
決算書の作り方見方	火災保險會計	工業會計實務誌	原價計算の要領	會計整理實務要綱	例解會計簿記精義	三會計學講義	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌	會計實務誌
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
220	517	322	210	252	452	517	355	848	355	517	452	252	271	328	276	848	355	517	452	252	271	328	276	848	355
一、〇〇〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
同文館	東京泰文社	同文館	同文館	東京泰文社	森山書店	東京泰文社	同文館	同文館	東京泰文社	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館	同文館
九月	七月	十一月	二月	九月	九月	十月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月
▲決算書の作り方及び見方を實務に即して説いた書で、簿記會計の一般解説外二編。	▲火災保險會計の會計事實を對象として、火災保險の會計を考察した書で、會計課其他。	▲工業經營管理に於ける會計問題一般を述べ實踐的會計を説く。	▲原價計算制度に關する記述、工場記録から一般記録に移る整理、統制等にて説明す。	▲簿記會計學の思潮に鑑み帳簿並に決算に對する整理方針を實務上に就き説述す。	▲從來の試験問題を蒐集し簿記原理に基いて解説せるもので、簿記の本質、勘定科目其他様に述べたもので、會計學を知る順序其他。	▲會計實務に關する概要なるもののみを分解し、例解、表解、圖解し集約的に表示す。	▲企業一般に通ずる簿記の大綱を述べたもので、序説篇、問題解説篇の二篇にて説述す。	▲實際的の見地から會計常識、簿記の基礎原理、月別決算の仕方其他を解説す。	▲常識としての簿記會計の知識を説いたもので、複式簿記の型式外一章。	▲小賣商店の帳簿に就いて述べた書で、簿記の概念、帳簿と商法規定、仕入、賣上外九章。	▲日本式收支簿記に就いて述べたもので、總論、收入と收支、決算、仕入例題外五章。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。	▲傳票とスタンプを使用し、一冊の會計簿にて記録整理し得る簿記法を解説す。

田中滿三	編輯	田中滿三	編輯	松宮三郎	編輯	谷口吉彦	編輯	宇原義豐	編輯	高田琴三郎	編輯	渡邊	編輯	村本福松	編輯	門多男	編輯	青木庄左衛門	編輯	誠文堂	編輯	前波仲子	編輯	鈴木萬造	編輯
出版と經營の實際知識	出版と經營の實際知識	百貨店小賣店問題	百貨店小賣店問題	商店自榮と百貨店問題	商店自榮と百貨店問題	明日の小賣店經營	明日の小賣店經營	商店繁昌十則	商店繁昌十則	新販賣工作十講	新販賣工作十講	小資本インテリ商賣相談	小資本インテリ商賣相談	販賣心理の研究	販賣心理の研究	販賣手帳	販賣手帳	通信販賣講話	通信販賣講話	腕一本開運術	腕一本開運術	腕一本開運術	腕一本開運術	腕一本開運術	腕一本開運術
並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判	並四六製判
137	109	222	288	225	277	106	312	278	307	113	112	181	113	112	113	112	113	112	113	112	113	112	113	112	113
六〇	四〇	八〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	六〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
照林堂	讀賣新聞社	成美堂	日本評論社	森山書店	千倉書房	同文館	千倉書房	小林書店	三笠書房	誠文堂	同文館	國民新聞社	誠文堂	同文館	誠文堂	同文館	誠文堂	同文館	誠文堂	同文館	誠文堂	同文館	誠文堂	同文館	誠文堂
月六	月四	月十	月二	月九	月九	月五	月二十	月七	月一十	月三	月五	月四	月五	月六	月四	月七	月八	月七	月八	月七	月八	月七	月八	月七	月八
▲歐米最新の商取引の實狀を調査し本邦の現狀に比較し經營の指針を説く。	▲新聞、雑誌、書籍の出版と經營法を説いた書で、新聞の性質と種類外廿七篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。	▲百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇で、總論、百貨店の組織、仕入れ、販賣外二篇。

門多榮男	新職業社編	堤健次	堤健次	朝倉巖	萬田一治	清水正巳	栗屋義純	日本電報通信社編	高橋渡	長岡逸郎	室田庫造編
家庭に 廢物再生 實用品の作り方	小資本商賣經營成功法	小資本商賣經營成功法	小資本商賣經營成功法	小資本商賣經營成功法	小資本商賣經營成功法	小資本商賣經營成功法	小資本商賣經營成功法	小資本商賣經營成功法	小資本商賣經營成功法	小資本商賣經營成功法	小資本商賣經營成功法
布四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判	上四六製判
184	168	184	164	34	78	593	314	254	164	103	118
一、三〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	二、五〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
誠光堂	誠光堂	誠光堂	誠光堂	誠光堂	誠光堂	誠光堂	誠光堂	誠光堂	誠光堂	誠光堂	誠光堂
月一十	月六	月四	月五	月四	月七	月八	月二十	月九	月二十	月六	月七
▲廢物の工業的利用法、家庭本位的利用法を述べ、商品の利用の實例とヒントを示す。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。	▲小資本商賣のやり方、均一店のやり方外六篇。

商業美術構成委員長 濱田 智治	商人 商業美術讀本	上圖菊 對入判 192	一、五〇 二、三〇	高陽書院	月一	▲商業美術に關する諸般の常識を收録せるもので、商業美術の構成、商店の構成外八章。
東亞同文會 研究編纂部	中華民國實業名鑑	洋圖菊 布入判 1529	七、〇〇 三、〇〇	東亞同文會 研究編纂部	月二十	▲現代中華民國の金融、貿易其他各部門に於る大小會社個人の企業を網羅し内容を紹介する。▲東京横濱及び近縣の電話加入者をいろは順による職業別に排列せる電話名簿。
日本商工通信社編	職業別電話名簿	洋圖菊 布入判 2581	六、〇〇 三、〇〇	日本商工通信社	月二十	

經濟・商業(廣告・宣傳・商工人名簿)

工業

倉橋藤治郎 石輝治郎	最新日本工業通論	洋圖菊 布入判 335	一、五〇 一、〇〇	平凡社	月二十	▲我國の工業一般に就て正確なる實勢を示せるもので、燃料及び動力、金屬工業外六篇。
大内正敏	農村の工業	洋圖菊 布入判 326	一、三〇 一、〇〇	鐵塔書院	月四	▲農村の工業は智能主義工業にして始めて成功することとを説いた書で、農村の工業外十篇行はれてゐる研究項目の現狀を整理したもの。
資源局編	工業研究輯覽(第三卷)	洋圖菊 布入判 322	一、七〇 一、三〇	出版部會	月三	▲日本標準規格第一一四號及第一五六號並に第一九一號の全文を收録したもの。
商工省	日本標準規格(第八卷)	洋圖菊 布入判 112	一、三〇 一、〇〇	出版部會	月十	▲世界石油トラストの成立、發展、現狀を始め燃料としての石油及石油の資源其他を叙説
福井俊三	新應用力學	洋圖菊 布入判 197	一、八〇 一、三〇	太陽堂	月二	▲靜力學、動力學、彈性體靜力學の三編にて應用力學を代數、幾何を用ひて説述す。
黒田武定	初等力學	洋圖菊 布入判 200	一、五〇 一、〇〇	鐵道技術社	月四	▲力學に關する諸問題を實例を以て平易に説述したもの。

工業(工業・工學一般)

文學博士 西村眞次著

日本古代經濟

交換篇 全五册

既刊三册

- 總論・沈黙貿易 定價 三・五〇
- 市場 定價 二・五〇
- 貨幣 定價 三・五〇

田中格太郎	小谷寛之亮	久松忠一	菊地嘉美	野口尙一	丹羽健藏	尾川岸太郎	藤井鹿三郎	平野武文	内田繁太郎	星野保治郎	東京工學研究會	東京工學研究會編	東京工學研究會
初級力学	力学及材料強弱學	製圖描法	實地測量學解説	應用彈性學	水理學解説	浸透劑及浸透性試験法	最新測量學	實地測量要覽	百分勾水平距離及高低差速算表	配分勾	實用解	實用解	實用解
洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊
布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判
141	320	230	416	343	135	233	774	247	150	184	288	363	361
一、三〇	二、五〇	二、三〇	三、三〇	四、五〇	一、三〇	二、八〇	特六、七、五〇	一、六〇	二、六〇	一、二〇	二、〇〇	二、一〇	三、八〇
出版部	淀屋書店	化日協本會	鐵道圖書局	山海堂	鐵道圖書局	式丸會社	修教社	鐵道圖書局	刊行會	刊行會	鐵道圖書局	鐵道圖書局	鐵道圖書局
二月二十	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月
▲高等數學を習はない前の學生に教へる爲め力学を解説す。	▲力学十章、材料強弱學二十五章及び附録より成る。	▲製圖用具、鳥口と丸ハンの運用、製圖文字の書き方等を説く。	▲各種測量の方法より器械の取扱野帳の記入法等一切の事項は悉く網羅す。	▲機械設計に利用し得る彈性學を説述したもので、應力及び歪、眞直梁外十一章。	▲水理學の一般基礎的理論に就て叙述し、多數の計算例題及練習問題を収めた書。	▲浸透劑並に浸透度測定法を研究し、浸透作用を考察せるもの。	▲測量測量、羅盤測量、轉鏡儀測量、建築測量、鐵道測量、寫眞測量外十六章にて説述。	▲測量術を實際的に述べたもの。別冊附録として經緯距表、スタヂヤ係數表外四表を附す。	▲百分勾配に對する斜距離、水平距離及び高低差を表にして示す。	▲平板測量及水準測量を初めて學ぶ人の爲め明細圖を多數挿入し説述せる書。	▲多數の圖を挿入してトランシット測量を論述した書で、轉鏡儀測量、三角測量外二編。	▲技術者必須の對數表にて小數點以下七位迄嚴算引き方及び應用を説明す。	▲耐震構造學の概念及び耐震構造方法の知識を述べた書で、耐震學の研究概論外二編。

佐野利忠	谷口武	成瀬勝武	宮本武之輔	福田武雄	江崎伸	永井彰一郎	岡山善峰	今井秀雄	東京地下鐵道株式會社	中村元	眞島卯太郎	小林紫朗
耐震構造汎論	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート	鐵筋コンクリート
洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊
布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判
183	294	235	612	40	435	259	264	1173	200	235	361	361
八〇	八〇	八〇	七、三〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
岩波書店	岩波書店	岩波書店	山海堂	清水商會	丸會社	丸會社	丸會社	丸會社	丸會社	丸會社	丸會社	丸會社
九月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月
▲耐震構造學の概念及び耐震構造方法の知識を述べた書で、耐震學の研究概論外二編。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。	▲鐵筋コンクリートの理論を一般の應用力学に對する概論で、總論外十四編。一、改訂。

吉松群七	川原兵一	岩澤忠恭	平石利太郎	中問清	白井喜一	堀口甚吉	東京工學研究會	坂元左馬太	東京工學研究會	岡村淳	山下直一	坂元左馬太
鐵道省工務局設計圖集	橋梁工學	道路の構造と鋪裝	メイト道路曲線布設表	新最道路工學	鐵筋コンクリート工學	鐵骨構造	實用數量算出公式	詳計算尺の使ひ方	土木歩掛と單價表	詳土木工事施行法	土木施工法	鐵道曲線表及布設法
洋菊	洋菊	洋菊	洋三	洋菊	洋菊	洋菊	上四	並四	並四	並四	洋菊	洋菊
布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	六判	六判	六判	六判	六判	六判
220	230	400	182	236	225	200	137	116	169	336	320	594
一、八〇〇	二、三〇〇	三、〇〇〇	一、四〇〇	二、五〇〇	一、七〇〇	二、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、七〇〇	二、五〇〇	四、八〇〇
澁屋書店	澁屋書店	化日協本會文	澁屋書店	澁屋書店	澁屋書店	澁屋書店	鐵道圖書局	鐵道圖書局	鐵道圖書局	鐵道圖書局	澁屋書店	鐵道圖書局
月九	月三	月四	月九	月三	月四	月二	月四	月九	月七	月三	月三	月六
▲鐵筋混凝土府縣道路橋設計圖集(第三種荷重)中床版桁橋丁狀桁橋の各幅員各徑間の詳細圖面。	▲鋼桁道路橋及橋臺、橋脚、鐵筋混凝土連續桁橋、構橋。	▲道路の設計、排水、基礎、土砂道及砂利道其他。	▲曲線函數表、切線枝距曲線布設表、切線偏倚角補助表、繫線測角表、勾配表。	▲總論、道路の分類、道路の設計、土砂道、砂利道、碎石道、簡易瀝青鋪裝道外六章。	▲組合せ、單鐵筋矩形桁、複鐵筋矩形桁外八章。	▲概説、鐵材、荷重、接合、單一梁、柱、版梁格子梁、梁柱の接合、トラス、ラーメン。	▲數量算出に關する公式は悉く網羅し一つ一つ圖解にて要點を指示せる書。	▲計算尺を使用せんとする人々の爲誰でも容易に理解出来る様記述す。	▲土木工事より橋梁溝道河川等に至る迄適確なる歩掛と材料單價の内譯を蒐録す。	▲土木工事施工法に就き具體的實例を以て詳説したる必携書。	▲石工、煉瓦工、混凝土工、土工、機械による波濼及掘鑿、岩石掘鑿、普通基礎工外十章。	▲曲線測量に必要な諸種の數値を表に掲げたもので、圓曲線布設法其他。

小林廣二	岡崎武夫	田中寅男	加藤恒雄	鐵道工學研究會	川越温	佐藤廉平	西畑常	鐵道省熱海事務所	高野復造	伊藤有造	鐵道技術社編	鐵道省工務局編	小山内文雄
詳計算尺、木桁及鐵筋コンクリート道路橋設計施工解説	河海工學	下水道及下水處理	上水工學	鐵道工事歩掛と單價内譯表	鐵道線路と建造物	新鐵道工學	隧道工事編	丹那トンネルの話	鐵道信號機の理論と實際	保線重要定規圖集	保線區從事員職制及服務規程解説	線路凍上の原因と對策	
洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	並四	上四	洋菊	洋菊	上菊	上菊	上菊	上菊	上四	
布判	布判	布判	布判	六判	六判	六判	六判	六判	六判	六判	六判	六判	
300	350	170	232	384	250	555	224	270	183	116	14		
二、一〇〇	二、七〇〇	一、六〇〇	一、〇〇〇	一、八〇〇	一、三〇〇	二、三〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、四〇〇	二、三〇〇	二、〇〇〇		
澁屋書店	化日協本會文	澁屋書店	鐵道圖書局	鐵道圖書局	澁屋書店	大正商工社	工業雜誌社	鐵道技術社	鐵道技術社	鐵道技術社	鐵道技術社		
月三	月三	月九	月一十	月四	月二	月八	月四	月二	月五	月九	月十		
▲學理の實際化を主眼とし設計計算材料施工に至る迄具體的實例を以て懇切に詳説す。	▲氣象學、河川工學、運河工學、港灣工學、河海工事用機械。	▲設計、施工、ポンプ場、汚水處理、下水道の維持管理、其他。	▲所要水量、水源、一般水理、水質、取水工淨水工、濾過工、配水管、配水管路線外二篇基本としたる實用的歩掛と單價内譯表。	▲鐵道工事につき最近大小幾多工事の實例を基本としたる實用的歩掛と單價内譯表。	▲線路並に建造物の造り方より構造作業に至る迄懇切平易に詳説したる必讀書。	▲總論、鐵道線路の構成、構造物、軌條及附屬品、枕木、道床、外十章。	▲滿洲國內朝鮮及内地の隧道に就き詳細なる工事記録並に圖面を收む。	▲計畫の發端から大難小難を切抜け不届不撓貫通に至る迄の工事誌。	▲信號と聯動裝置の理論と實際について平易簡明に記述せしもの。	▲鐵道工務關係の全定規圖集。	▲鐵道保線區從事員の服務規程を解説す。	▲雪國鐵道の病と云はれる凍上の原因と之が對策について詳説したものなり。	

星合正治	電氣工学	上汎論	並菊製刊	147	一、八〇	オース社	月五	▲電気工学に關する全般的知識を述べた書で上巻は電氣磁氣學、直流機械の二篇。
洪洋社編輯部編	事務	椅子・卓子	上四六倍製刊	20	一、六〇	洪洋社	月八	▲新形態の參考資料として種々なる事務用の机を寫眞に收む。
洪洋社編輯部編	和家具と折衷の家具	和家具と折衷の家具	上四六倍製刊	20	一、〇〇	洪洋社	月四	▲椅子及び卓子の寫眞を収録し簡単な説明を附す。
平岩敏二	和・洋・折衷の小品家具	和・洋・折衷の小品家具	上四六倍製刊	118	三、七〇	洪洋社	月二十	▲商店用陳列家具の設計圖數百を收め、實際的寸法を示し、案の要諦と構造圖解を展示す。
日本工藝學會	家具圖集	家具圖集	並四六製刊	49	二、〇〇	建築研究社	月一	▲セツト、机、寢臺、複合家具、展開家具等の寫眞及び家具の設計基準外一篇の記事收載の寫眞と設計圖に解説を附す。
坪井富士太郎	椅子張及窓掛裂地と其取付並見積計算	椅子張及窓掛裂地と其取付並見積計算	布四六製刊	111	一、三〇	中央工學會	月九	▲室内裝飾上に於ける裂地並にその取扱上の問題に關して説述す。
松本朝之助	日本建築の意匠と其製作の仕上法	日本建築の意匠と其製作の仕上法	布四六製刊	204	二、三〇	中央工學會	月一十	▲東京を中心として筆筒の發達経路を述べ、更に筆筒の製作法及び着色仕上法を説く。
森村秀夫	洋透し彫刻家具應用圖案	洋透し彫刻家具應用圖案	布四六製刊	228	二、五〇	中央工學會	月二十	▲建築、造作、家具に關する和洋の透し彫刻の圖案三百五十種を收む。
重森三玲	茶室・茶庭	茶室・茶庭	布四六製刊	252	三、一〇	河原書店	月六	▲茶室及び茶庭に就て一般的に述べたもので茶室の種類・好、茶室の外観・内部外三章。
須藤貫一	室内の改造と費用の計算	室内の改造と費用の計算	洋四六布刊	286	二、三〇	太陽堂	月十	▲室内の改造とその工費の豫算を素人の爲めに計算せるもので、材料や工費の概念其他。

西川友孝編	最新建築造園大觀	最新建築造園大觀	洋四六布刊	472	三、五〇	吉田書店	月七	▲建築家江口義雄、佐藤武夫外七氏の住居の内外を寫眞に收めたもの。
西川友孝編	最新建築造園大觀	最新建築造園大觀	洋四六布刊	519	三、八〇	吉田書店	月七	▲川崎大師大本坊客殿の建築寫眞類聚で、大本坊外観、靜嘉殿外観等四十八圖。
洪洋社編	建築寫眞集	建築寫眞集	上四六製刊	50	一、三〇	洪洋社	月七	▲新興日本住宅様式として好範たる重光葵氏の住宅の内外を寫眞に收めたもの。
洪洋社編	喫茶店の新構	喫茶店の新構	上四六製刊	50	一、三〇	洪洋社	月十	▲オアオン、コンパル、紫煙莊、ライン其他の喫茶店の内外を寫眞に收む。
洪洋社編	數寄屋趣味の店舗	數寄屋趣味の店舗	上四六製刊	50	一、三〇	洪洋社	月一十	▲東京に於ける數寄屋風を加味した店舗の代表的なものに寫眞に收む。
洪洋社編	瀟洒なる料亭の構成	瀟洒なる料亭の構成	上四六製刊	50	一、三〇	洪洋社	月二十	▲淺草仲見世の鳥料理「金田」の内外を寫眞に收めたもので、客室窓外景其他。
洪洋社編	旅館建築	旅館建築	上四六製刊	50	一、三〇	洪洋社	月一	▲昌平館、玉家旅館、福家旅館等の和風旅館の内外を蒐めた寫眞集。
洪洋社編	新住宅の浴室	新住宅の浴室	上四六製刊	46	一、三〇	洪洋社	月一	▲三十坪内外の住宅に必要な浴室の設計圖案に當選せる九圖及選外圖を收録せるもの。
洪洋社編	和風住宅の門	和風住宅の門	上四六製刊	50	一、三〇	洪洋社	月三	▲和風住宅の種々なる門の寫眞集で、橋本祐幸氏邸、岩崎小彌太氏邸其他。
洪洋社編	新興アパートメント	新興アパートメント	上四六製刊	50	一、三〇	洪洋社	月五	▲我國最初のアパートメント中同調會の經營に係る澁谷と青山の二ヶ所を收録せるもの。
洪洋社編	建築寫眞集	建築寫眞集	上四六製刊	50	一、三〇	洪洋社	月七	▲腰障子、窓障子、硝子戸、襖、地袋引戸、衝立、入口引戸其他の建具の寫眞集。
西川友孝編	最新建築造園大觀	最新建築造園大觀	洋四六布刊	519	三、八〇	吉田書店	月七	▲建築、造園の各部内に互つて研究せる書で新日本建築の黎明(藤島亥治郎)外廿五篇。
西川友孝編	最新工藝大觀	最新工藝大觀	洋四六布刊	472	三、五〇	吉田書店	月七	▲工藝技術の新しい研究方面(木槍想一)小庭園時代と庭園工藝(西川友孝)外廿三篇。

藤了念	山本勇	星合正治	電氣之友社編纂部	關重廣	澁澤元治	吉米地貢	原口長太郎	黒川兼三郎	大本塚雄二	篠田耕	石井直	大村三郎
電氣機械直流機編	最新電氣磁氣學	強電流工學と電子装置	昭和九年電氣年鑑	家庭電氣讀本	電界百話	太平洋を巡る電力界鳥瞰	最近電氣時計之智識	電氣回路交流現象論	電球及真空管	自動式電話	鐵道信號と保安装置	蓄電池車
洋編	布編	並四六倍判	布編	洋編	洋編	並四六倍判	上四六倍判	洋編	洋編	洋編	並編	背編
布判	裝判	裝判	裝判	布入判	布入判	裝入判	裝入判	布入判	布入判	布入判	裝判	布判
149	280	64	1100	273	296	169	356	386	220	227	291	208
一、〇〇	三、〇〇	六〇	二、三〇	二、五〇	一、五〇	七〇	一、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、三〇	二、〇〇	一、七〇
淀屋書店	電氣之友社	電氣之友社	電氣之友社	新光社	オーム社	誠文堂	三圭社	出版部會	新光社	鳳生社	オーム社	オーム社
月三	月三	月七	月五	月六	月四	月九	月九	月六	月九	月一十	月九	月七
▲直流發電機の原理、直流發電機の構造、發 電子捲線法、外二十三章。	▲電流より壓電氣及磁歪に至る數十項に分説 し簡潔に説明せる書。	▲各種電子装置の構造と其特性發電機電壓調 整電動機速度調整法其他最新の研究を叙述。	▲本邦電氣界、諸統計、電氣事業、商工業詳 覽、電氣團體、學校一覽、別冊附録電氣家一覽	▲家庭に於ける電氣に就て述べたもので、電 氣の基礎知識、照明、電熱と電力外八章。	▲電氣に關する昔の話及び最近の事をも収録 したもので、電氣工學教育の發端外九十九話	▲ラザオ及び電氣の各國狀況を紹介せるもの で、滿洲國、中華民國、アメリカ其他。	▲序論、電氣の原理、時計の構造、直流電氣 時計外十二章にて電氣時計の智識を説く。	▲支路回路に就て述べたもので、電流及び電 源、單純回路、ベクトル計算法外十三章。	▲電球と真空管に就て通俗的に記述せるもの で、電球(電燈發達の歴史外五章)外一篇。	▲自動式電話の諸方式を實際的に記述せるも ので、前編は總説、自動式電話外五章。	▲鐵道信號保安装置に就て普遍的に記述した もので、信號裝置、直流軌道回路外十二章。	▲蓄電池の動力によつて運轉する車輛に就て 述べたもので、運搬動力用蓄電池外六編。

關東電氣株式會社技師	米澤政治郎	高山恒太郎	矢恒源三郎	三枚彦雄	森秀述	難波貞太	關東支部編會	加藤重一	中島友正	梶原勘三郎	赤野正芳	降野正信	村上輝	星合正治
電燈及び照明	電氣鐵道	實驗電磁及高周波測定	電氣磁氣學	改正電氣工作物規程要旨	電氣工作物試驗法	水銀整流器講習錄	保護繼電器	交流電氣機械	最新交流電氣機械	交流電氣機械	交流電氣機械	交流電氣機械	電氣機械(上田電氣機械工學大)	電機工學汎論
洋編	洋編	洋編	洋編	並四六倍判	背編	上四六倍判	並編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	洋編	並編
布入判	布入判	布入判	布入判	裝判	布判	裝入判	裝判	布入判	布判	布判	布判	布判	布入判	裝判
272	213	149	518	111	338	313	249	435	426	400	405	405	295	
八〇	八〇	一、〇〇	三、〇〇	二、〇〇	一、九〇	二、五〇	一、七〇	三、〇〇	二、五〇	三、五〇	三、八〇	三、八〇	一、〇〇	
岩波書店	岩波書店	出版部會	内田老鶴圃	オーム社	オーム社	關東支部會	オーム社	養賢堂	養賢堂	金刺芳流堂	太陽堂	太陽堂	オーム社	
月五	月二十	月十	月八	月五	月六	月七	月四	月九	月三	月三	月九	月九	月七	
▲電燈と照明に就て説いたもので、照明の意 義、輻射、白熱電燈の發達外十四章。	▲電氣工作物に就て實施する各種の試驗の方 法を説いた書で、水量測定其他。	▲改正された電氣工作物規程の重要な事項の みを説ける書で、發電所及變電所等外十四章	▲靜電學、磁氣學、電氣力學、電磁氣波動 論、電子論の五篇にて解説す。	▲直流檢流計の感度測定法、接地抵抗測定法 誘導型積算電力計の試驗法其他。	▲總説、電氣、電氣車、電氣車用電動機、制御裝置、 軌道、配電、電氣車の運轉其他にて叙述す。	▲水銀整流器諸問題(奥田孝治)外十一篇。 ▲水銀整流器諸問題(奥田孝治)外十一篇。	▲電氣工作物の重要事項の みならず、電氣系統に於ける任務性能を 明らかにしたもので、誘導型繼電器總論其他	▲同期交流發電機、變壓器、多相誘導電動機 外六章にて交流電氣機械を説く。	▲下巻は、交流發電機、同期電動機、交流發 電機の並列運轉、回轉變流機外一編。	▲交流理論に就て述べたもので、選信省施行 の主任技術者試験の問題を例題とし解答す。	▲同期交流發電機、回轉變流機外五編。	▲電氣機械の理論を述べたもので、總論、直 流機及回轉變流機、同期機外五編。	▲中巻は交流理論、交流機器の二篇にて説述 す。	

(9-12)

寺内信次	藤了念	又野重信	道田貞治	道田貞治	中野直信	鳳生社編輯部	鳳生社編輯部	新宮行太	北原眞琴	ロット社編
電機設計製圖	交流理論	電氣磁氣測定器並實驗法	訂増最新電	訂増最新電	初等電信電話	私設電話標準回路圖	共電式電話回路圖	碍子及び套管と高壓工学	電力輸送及配電	海底電線の國産化と其効果の重要性
上四六倍判	洋菊	洋菊	布菊	布菊	布四六裝判	布三五裝判	布三五裝判	布三五裝判	洋菊	上四六倍判
42頁	176	169	330	406	382	144	135	696	304	112
二六	一六〇	一六〇	三〇〇	三〇〇	一八〇	一八〇	一八〇	二、六〇	二、八〇	一、八〇
淀屋書店	淀屋書店	淀屋書店	電氣之友社	電氣之友社	鳳生社	鳳生社	鳳生社	興學館	文花堂	ロット社
月三	月三	月三	月十	月三	月一十	月七	月三	月十	月四	月二十
▲第一角投象圖法説明、鉛筆引順序、墨入及寫圖の順序、製圖規格、プロック外三十枚。	▲交番起電力、電圧及電流、基礎交流回路、ヴェクトル法、直列回路、外十一章。	▲電氣測定器總論、電力測定器、測定器の試験法、特殊計器、交流電力の測定外六章。	▲本邦最新標準電話裝置に就て詳述せる書。	▲電話線建設保守并電話用各種精密測定器について詳述す。	▲電氣學の一般より電信電話の一切に涉り實用を主として極めて通俗的に詳述したるもの。	▲選信省告示二千六號の規程及圖面集にして尙附録として電話機宅内工事方法を載す。	▲共電式電話機及交換機一切の回路圖集にして各種の工事方法を掲げたもの。	▲最近發達せる衝擊性異常電壓の實驗の結果に基づき碍子及び套管に關する一切を検討す。	▲電力輸送及配電に就て論述す。一改訂増補版。	▲上海芝罘間海底線の重大なる意義と之が製作並布設に就て、世界海底電線の沿革其他。

(9-13)

關英男	土岐重助	初見五郎	日本テレビジョン	眞下明	曾根有	鈴木久雄	鈴木光雄	鈴木四郎	川野義雄	川野義雄	日本ラヂオ校編	日本ラヂオ校編
ラヂオと計算	初等ラヂオ講義録	JOAKラヂオ技術講義録	日本テレビジョン(昭和九年版)	高聲器の理論と設計	テレレビジョン	ブラウン管の應用	無線電信電話	無線電信電話	性説のラヂオ受信機の解説と作り方	ラヂオ技術試験問題模範解答集	模範JOAK技術試験問題解答集	模範全國放送局技術試験問題解答集
洋菊	並菊	洋菊	上四六倍判	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	上四六倍判	並菊	上菊	上菊
261	96	356	145	260	227	283	128	215	215	92	214	214
二、五〇	一、四〇	一、二〇	一、五〇	二、五〇	一、八〇	二、四〇	一、三〇	九〇	九〇	四〇〇	八〇	一、〇〇
日本ラヂオ通信學校出版部	日本放送協會	日本放送協會	出版政會	誠文堂	岩波書店	出版政會	文花堂	文花堂	誠文堂	誠文堂	日本放送協會	日本放送協會
月五	月六	月五	月二十	月五	月六	月十	月二十	月二	月二	月二	月二	月二
▲最新ラヂオ科學の諸方面を網羅し、實用計算をなし得る如く書いたもの。	▲ラヂオ技術の初歩を述べたもので、電氣の一般知識、受信用のアンテナとアイリス外六章。	▲ラヂオに就て述べた書で、電氣の基礎知識、受信アンテナとアイリス、受信真空管其他。	▲日本に於ける電氣に關する最初の公式發表、今日迄の研究經過、特許、文獻等を主とす。	▲ラヂオ用高聲器に就て解説したもので、高聲器の歴史、電磁鐵振動板形の原理外廿二章。	▲今日までのテレビジョン發達の經過を述べたもので、初期のテレビジョン外二編。	▲現象撮影、觀察の原理より述べ、その起動力、撮影方法其他ブラウン管の應用を説く方法。	▲中等學校程度を標準として無線電信電話の理論を可及的平易に解説す。	▲受信機の構成から部分品の解説をなし、真空管及び受信機の製作、故障の發見法を述べ第一回ラヂオ技術試験問題及解答其他。	▲ラヂオ技術試験問題の解説集で、JOAK第一回ラヂオ技術試験問題及解答其他。	▲東京中央放送局で行はれたラヂオ技術試験問題に解答を施し、解説を加へた書。	▲全國各放送局で行はれたラヂオ技術試験問題を基礎とし、模範的解答をなせし書。	▲全國各放送局で行はれたラヂオ技術試験問題を基礎とし、模範的解答をなせし書。

山根中秀男	利根山巖	足立廉吉	上田富三郎	山形甚吉	宮原貞修	千原貞修	松村光雄	山下仙之助	生源寺順	成瀬政男	田島義造	機械學會編
電弧銲接の實際	電弧銲接法	はかり機械	實用渦卷ポンプ	アイセルエンジン	蒸気	蒸気	近蒸気機	蒸気罐之設計	水車	齒車	精密機械工具使用法	機械工學便覽
洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判
325	315	241	288	285	192	200	133	396	236	302	124	683
二、八〇〇	三、二〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	三、〇〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、七〇〇	八〇〇	八〇〇	特一、五〇〇	二、五〇〇
出版部	信友堂	吉田工務部	出工版政	工業評論社	澁屋書店	澁屋書店	バロイ社	出工版政	岩波書店	岩波書店	信友堂	島根家
一月	七月	三月	一月	二月二十	三月	三月	九月	四月	二月二十	九月	十月	二月
▲電弧銲接に關する一般基礎知識を記述せるもの、電弧銲接の原理、銲接棒外五章。	▲主として手動金屬電弧銲接法に關して述べた手引書で、概論、電弧現象外十三章。	▲質量測定に關する諸機械を記述し、秤の主要な紹介したもので、度量衡概説外一篇。	▲工業上、農業上に廣く使用せられてゐる渦卷ポンプの計畫、設計、取扱等に關し説述する。	▲アイセル機關は如何にして動くかを外五章。	▲緒論、温度及熱、蒸氣の性質と發達、蒸氣罐の能力、燃料及燃料、罐の分類外十章。	▲概論、基礎單位と定義、熱力學概要、蒸氣の性質、蒸氣機關の理論、多段膨脹機關外六章。	▲蒸氣罐の設計に必要なことを述べたもので、蒸氣罐の概説、水蒸氣、強さの計算外十章。	▲製圖規格を掲げ、之を解説し尙機械設計に必要な各種の標準規格を収録す。	▲水車に關する理論に就て述べた書で、總説、バルトン水車、フランシス水車外三章。	▲齒車の基礎的理論を詳述して後個々の齒車を説いた書で、切線座標外七章。	▲精密機械に於ける工具の使用法を述べたもので、尺度、キアリス、ゲイヂス外二章。	▲メートル度量衡法により記述せる機械工學に關するポケットブックで數學外九篇。

久保且治	澤青鳥	白石襄治	北尾龜男	高松均	荒木鶴雄	小野正三	高橋逸夫	宮村秀一	中村一	齋藤哲夫	日立製作所	船舶工學
飛行機設計及計算法實例	グライダーの研究	グライダーの作り方	昭和九年・航空年鑑	航空用語辭典	航空機の材料及化學	應用航空力學	銲接構造物計算法	電弧銲接構造	電弧銲接構造	實用電氣銲接法	實用電氣銲接法	船舶工學
洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判	洋菊布入判
266	301	202	33	554	326	426	537	83	128	325	83	128
一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	二、八〇〇	四、三〇〇	特五、五〇〇	三、〇〇〇	一、八〇〇	一、四〇〇	三、〇〇〇	一、八〇〇	一、四〇〇
大倉書店	共立社	東學社	行帝協國會	行帝協國會	興學館	式丸會社	修教社	澁屋書店	俱樂部	日本工部	出版部	出版部
七月	十月	五月	十一月	七月	五月	一月	五月	二月	七月	六月	六月	六月
▲モーターボートに關する理工的知識實際的採用法及小型船舶の運用航海の知識を述ぶ。	▲グライダーに關する知識を述べたもので、空への憧憬、グライダーの沿革外廿一章。	▲設計に關する基礎知識、飛行機の受ける荷重、各種の飛行状態に於ける荷重外十三章。	▲グライダーの製作法並其の費用等に就き記述す。	▲世界航空界の現勢を知悉せしむる目的を以て編纂す。	▲航空用語のみ一萬二千有餘語集録、機械電氣、軍事、操縱、力學、氣象等各關係語を含む。	▲航空機の廣範圍に互て材料を分類詳記し更に化學的處理其他を記載す。	▲航空機の諸概念、空氣と大氣、空氣抵抗の測定と其の結果の表示法外九章にて論述。	▲銲接構造改良の遂行に依つて得た電弧銲接の經驗を紹介せる書で、設計外三章。	▲緒論、銲接の種類、銲接手の強度、銲接手の設計、設計例題、外四章。	▲電弧銲接法を説いた書で、總論、電弧銲接應用電源並に銲接機、金屬電弧銲接法其他。	▲鐵道橋改良の遂行に依つて得た電弧銲接の經驗を紹介せる書で、設計外三章。	▲電弧銲接に關する一般基礎知識を記述せるもの、電弧銲接の原理、銲接棒外五章。

工業(船舶・航海・自動車・探鑛・金屬・冶金)

六〇四

田中岩吉	位置の線に依る航法	洋南菊	洋南菊	二、〇〇	海文堂	月八	▲最新の航海術として位置の線に依る航海術の計算法を説明す。
荒木勲	航海力学	洋南菊	洋南菊	五、三〇	巖松堂	月三	▲初等数学を基調として力学を説明せる書で前篇は運動の基本概念、初等数学概論の二編
赤坂正喜	自動車新精解	洋南菊	洋南菊	特三、四、五〇〇	藤谷崇文館	月七	▲自動車の原理、原動機の構造、傳動装置及操縦装置、自動車取締並に操縦法其他を説く
重森文彦	最新自動車寶典	洋南菊	洋南菊	二、五〇	文友堂	月三	▲自動車に關する一切の知識を網羅し、是が職に從事する者のために便す。
岡宏隆	自動三輪車修繕の仕方	上四六	上四六	一、八〇	文英堂	月一	▲自動三輪車に起り易い故障に對する修理法と調整法を平易に説述せる書。
池内伸次	自動車操縦の合理的練習法	上四六	上四六	一、〇〇	三省堂	月六	▲自動車の機構を述べ、操縦の練習過程を一般的基礎的知識から解説す。
中久木潔	探鑛・金屬・冶金	洋南菊	洋南菊	特三、四、五〇〇	修教社	月七	▲機械探炭、切羽、片磐運搬に用ひられる機械の構造、性能、使用法其他に就て記述。
渡邊辯三編著	朝鮮の金鑛と重要鑛物	洋南菊	洋南菊	三、五〇	松山房	月九	▲朝鮮の産金及び重要鑛物、關係法規、出願手續心得を述べ鑛床分布圖、實物標本を附す
内田義信	工業鑛物岩石學	洋南菊	洋南菊	二、七〇	昭晃堂	月三	▲岩石、鑛物の性質、成因、用途、産額、輸出入、市價等及應用、經濟に關して述べ。
原田三夫	金の知識	上四六	上四六	一、〇〇	公人書房	月三	▲金の知識全般に互り平易に述べたもので、序編、金鑛編、産金編、曳揚編外三編。
小西勝次郎	國産金物發達誌	洋南菊	洋南菊	二、三〇	文書堂	月十	▲我國に於ける金屬工業の興亡盛衰に就て述べたもので、古代篇、近世篇、現代篇の三篇

工業(探鑛・金屬・冶金・化學工業・織物工業)

六〇五

加瀬勉	工業と金屬	洋南菊	洋南菊	三、〇〇	内田老鶴園	月九	▲工業及び工業に關する所説を述べたもので日本刀物語、指環の話、電解鍍外七章。
齋藤大吉	金屬材料及其加工法	洋南菊	洋南菊	三、〇〇	式會善社株	月二十	▲金屬材料及其加工法に關して叙述せる書で、金屬鑛は金屬各論、金屬價格の變動其他
小山貞知編	更生滿洲と鐵國策	並四六	並四六	二、三〇	滿洲評論社	月五	▲滿洲鐵業三題、直に實行すべき重工業、滿洲國の實業建設、一九三六年と鐵國策。
小浪博	金銀銅探鑛冶金學	洋南菊	洋南菊	四、五〇	興學館	月二十	▲金銀銅鑛業に關する鑛床の生成及發見、試掘、探鑛、分析、選鑛、運搬、製鍊、經營等
志村繁隆	應用X線工學概説	洋南菊	洋南菊	五、六〇	出版政部會	月四	▲X線スペクトルから始めてX線の原理、作用の概要を述べX線室の設計をも附加す。
南種康博	メタン瓦斯講話	洋南菊	洋南菊	二、八〇	成美堂	月二十	▲メタン瓦斯の性質、工業的製造法、我國に於ける發明品、發生装置、用途其他を考察す
藤澤信	寫眞科學	洋南菊	洋南菊	八〇	岩波書店	月九	▲寫眞科學の廣汎なる分野を概説した書で、科學研究手段としての寫眞外九章。
上田廣太郎	硝子製造法	洋南菊	洋南菊	四、八〇	出版政部會	月二十	▲硝子及び硝子製造に關する研究又は發明の大要を紹介せる書で、汎論、硝子製造法。
石橋正樹	塗料	洋南菊	洋南菊	三、五〇	共立社	月十	▲塗料の全般に就て述べたもので、序説、塗料原料、塗料の製造、塗料の性状外四章。
杉山旭	綿料	洋南菊	洋南菊	一、二〇	出版政部會	月六	▲石綿を地質鑛物學的に説き、工業的にその品質に應じて製法、用途を詳述す。
財政經濟時報編	日本纖維工業總覽	並四六倍割	並四六倍割	一、五〇	財政經濟社	月二十	▲生絲、人絹、毛絲、麻等の纖維工業一般を網羅したもので、需給の研究、會社研究其他

工業(織物工業、實用製造工業)

Table with 12 columns: Author, Title, Binding, Pages, Price, Publisher, Date, and Description. Includes entries for '織物工業の知識' and '最新化学工業品製法'.

工業(實用製造工業・印刷工業)

Table with 12 columns: Author, Title, Binding, Pages, Price, Publisher, Date, and Description. Includes entries for '印刷美術' and '最新化学工業品製法'.

一三、農業

農業一般・農業經營

著者	書名	装釘體裁	頁數	送定料價	發行所	月行發	内容大意
エヌ・エス・ビー・クラウス著 菅 菊太郎譯	世界農業史	洋函四六 布入判	542	四、五〇 三、三〇	明文堂	月一	▲古今に亘り其農業沿革を敘述したもので、 ▲羅馬農業史、中世の莊園外十四章。 ▲佛蘭西の農村に關する物語を隨筆的に書いたもので、序曲、都會より田舎へ其他。 ▲アラジルの農業に就て述べたもので、アラジルの概略、アラジルの農作物外一編。
池本喜三夫	佛蘭西農村物語	洋函四六 布入判	659	二、八〇 一、四〇	刀江書院	月六	▲アラジルの農業に就て述べたもので、アラジルの概略、アラジルの農作物外一編。
今井修一	ブラジルの農業	洋函四六 布入判	186	一、三〇 〇、〇〇	海外植民 學校出版部	月四	▲アラジルの農業に就て述べたもので、アラジルの概略、アラジルの農作物外一編。
小野武夫	近代村落の研究	布函四六 裝入判	422	二、七〇 一、二〇	時潮社	月九	▲村落生活に關する研究、論文、古記録を収めた書で、近代部落有林野の研究外二篇。
田代善吉	通日本農業史	洋函四六 布入判	156	六、六〇	明文堂	月四	▲農業の起源並に發達の状態、農民の生活、土地、租税等の大意を通俗的に記述す。
小藤彦三郎	地圖と日本農産要覽	洋函四六 布入判	330	二、八〇 一、四〇	明文堂	月九	▲國內の農業状態を明かにし、生産物の需給及び輸出入状況を解説す。
富民協會編	日本農業年鑑	洋函四六 裝入判	632	一、〇〇 一、四〇	富民協會	月一十	▲昭和八年、冬から九年秋までの農界諸相と將來の見透を掲げ、各種の統計其他を收録。
日本農業研究會編	日本農業年報	洋函四六 裝入判	453	一、五〇 一、〇〇	改造社	月六	▲第四輯は蠶絲業問題に就て述べたもので、インフレイション下の農村外二部。

農業(農業一般・農業經營)

六〇九

最新實用農産加工叢書 菊地久一著

改訂版 二版 三版 二版 三版 三版 二版

特許を得たる農産物製造法
農産加工設備の實際
漬物加工と其の實習
蔬菜類の罐詰と燻詰
果實類の罐詰と燻詰
飲み物の簡易な製法
自家用化粧品製法
大豆利用食品加工法

菊版最上製本 五百七十八頁 價三圓五十錢 送料二十錢
菊版最上製本 二百〇八頁 價一圓五十錢 送料十四錢
並製美裝本 價七〇五錢 送料六錢
並製美裝本 價四十六錢 送料六錢
並製美裝本 價五十六錢 送料六錢
並製美裝本 價八十五錢 送料八錢
並製美裝本 價六十三錢 送料六錢
並製美裝本 價五十二錢 送料六錢

消費節約利用厚生機關委員が現代農産物製造加工上必要
な注目點となつてゐる。本書は明治十八年より昭和八年迄
四十九年間の心血を注いで得た特許製造法六百餘種につい
て、其の詳細を記述したもので、新発見の一大文庫。
新発見の著者が二十有餘年間農産加工の理論に貫
念して特に實用本位の實習上本年獨創で打ち立てた加
工年中行事を根柢として、原料の採擇努力配當、經費の節
約能率増進生産設備をモットーに設備の費を詳説す。
著者が數多い粗生産の農産物を、最も有利に始末し、作
業上何人にも最新の興味と實益を得るものは、農産物加
工だと感じ、これが實惠的強自製品を得るに於て、から
る費を一切公開詳説して世に裨益せんとした良書。
農産物の需要と實用化は最近の工業界一大驚異であ
る。そして最早これを工業家のみの手に委して置く時代で
ないことを著者は、特に強調し、實地農産物製造實益
用の製品を簡易に得られるその費を詳説した實用書。
農産加工の粗生産を加工して自給經濟の確立を計り一
面生産費をこれによつて高自製品の購入を助ぐと共に却
つて、各自製品の市場進出によつて經濟の潤滑を得るに
關して、簡易且實惠的有用加工法の費を公開。
著者は曰く本書一冊の購入代金は、本書によつて自家用
飲食物の一品を製作利用することによつて償ひ得る。
さ如何に本書が生活の實惠に實用適切有利であり消費節約
關係生活上實益大なるものあるかは已に世の定評。
本書は不自然な現代の化粧を高調せず、實に自然の美化
實踐による人間美化は人生の快く能はざるものだと叫び、
實惠して自家介在の材料を利用低化して、強弱を節由經濟
味覺の優良化粧品を各自製作し得る費を公開。
著者本年の研究による、大豆利用の如何に簡便實惠ある
ものかは本書を讀んで驚くべき中大豆利用人道製糖法の
製法一つでもこれを市場に流通し或は地産に用ふることに
よつて、著者は絶大な費を節することになるであらう。

●發賣所 東京市淀橋區下合 〇六一 東京公共民社

六〇八

農業(農業一般・農業經營)

(9-2)

日本農業研究會編	帝國農會編	教育資料編纂會	古瀬傳藏	松葉熊市	長野朗	農民社編	猪俣津南雄	助川啓四郎	廣瀬次郎	プリンクマン著 永友繁雄譯	ハンズリー著 石川武彦譯	協調會編												
日本農業年報 第五輯	農業年鑑 昭和九年版	農村精神講話 資料	農民への大號令	農村讀本 松の巻	農民讀本	農村問題座談會 第二回	報告 窮乏の農村	農村問題對策	農業經營及副業畜産	農業經營方式の原理	青果價格の構成	農村生活改善の話												
並四六 製判	上菊	洋四六 布入判	洋四六 布入判	上菊	並菊	並四六 製判	洋四六 布入判	上四六 製判	洋四六 布入判	並菊	並菊	並三六 製判												
515	611	361	409	96	213	152	293	435	308	70	104	112												
一、〇七	一、三〇	二、五〇	一、八〇	四、五〇	一、〇八	四、五〇	一、〇三	二、〇〇	二、〇〇	六、五〇	六、五〇	二、〇〇												
改造社	帝國農會	版第一協出	泰文館	輝文堂	平凡社	農民社	改造社	出版部	泰明堂	刊行會原	刊行會原	協調會												
月二十	月三	月四	月九	月二	月十	月十	月十	月十	月四	月二十	月二十	月九												
▲第五輯は農業政策批判を取扱つた書で、農業政策批判、第六十五議會と農村問題外一部	▲農業界概観、農業生産要素、農家生産物の生産需給並消費外十章より成る年鑑。	▲農村精神講話の演習資料を述べたもので農業思想篇、農村經濟篇、老農篤農傳篇の三篇	▲農民への警告をなしたもので、農民への大號令、農村問題の再認識を要す外冊四篇。	▲實業補習學校・公民學校用教科書。	▲我國三千年來の歴史上の事實に基き農本自治の大道を説き實際建設の具體的方法を述べた九月廿六日日本工業俱樂部で肥料問題に就て開かれた座談會の速記録。	▲群馬、長野、大阪等二府十六縣に互り農村を實地踏査し、その實狀を報告す。	▲農、山、漁村問題に對する方策を述べたもので、緒論、國民負擔均等に關する方策其他	▲全部を三編に分ち農業經營と副業的畜産とについて詳述せるもの。	▲概念及本質、農業經營の多面性への強制、農業經營の生産條件への適應、其他。	▲價格構成の段階、價格の構成要素、口錢、要約、其他。	▲各地の農村生活改善の事例を録せるもので、日常生活、社交儀禮、娯樂の改善外二篇	▲農家の借金は如何程か、農家の借金した原因、農家の負債整理に關する要點外六章。	▲農村に於ける副業の工業化に就て述べたもので、工業を起すに必要な條件外六章。	▲農村工業化に關する諸家の主張を一瞥し農林省の計畫内容を紹介し對農業に就て考察す	▲小作爭議地として有名な山形縣小田島村外四ヶ村の農村事情及び爭議の影響を調査す。	▲漁業組合制度の改正の根據を明かにし、その精神を説き漁村の經營及び指導に就て述ぶ	▲二宮尊徳翁の報徳仕法と報徳教義による農村更生の道を説いたもの。	▲農村の自力更生及び農村振興の爲めに説いた書で、農は國の本である外五章。	▲實験による新養蠶法と農村更生に就て述べた書で、一齡一回給桑簡易經濟新養蠶法其他	▲農事實行組合の使命と其運用に就て講述せるもので、緒言、農事組合の經營外二編。	▲總論(緒論、農家組合外二章)各論(一組合機關編、耕種編、自給肥料増産計畫編)其他	▲家族的獨立小農法に就て述べた書で、家族的獨立小農基本案、理想部落建設案外一篇。	▲セドルマイアの「小農業經營經濟」學を譯せるもので、小農經營の本質外五章。	▲著者の體験より農家經營、農耕技術に就て述べたもので、世相、農業經營の要素外十章

農業(農業一般・農業經營)

(9-3)

協調會編	協調會編	朝日新聞社編	協調會編	村田字一郎	白神正吉	石田傳吉	香月秀雄	田中定吉	今井千代吉夫	橋孝三郎	セドルマイア著 山田武彦譯	松本喜作
農村問題整理の話	農村工業化の話	農村工業化の話	小作爭議地に於ける農村事情	漁村の更生と漁村の指導	農村振興根本方策	農村更生講話	農事組合講話	農家組合の實際經營	家族的獨立小農法	小農經營學	小農經營學	農家經營法
並三六 製判	並三六 製判	並四六 製判	並菊	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判	洋四六 布入判
156	159	64	173	450	321	339	410	346	878	239	240	422
二、〇〇	四、〇〇	二、〇〇	六、五〇	二、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	三、五〇
協調會	協調會	朝日新聞社	協調會	政經書院	泰文館	泰文館	泰文館	泰文館	泰陽堂	建設社	西行會原	樂浪書院
月九	月二十	月二十	月二十	月十	月六	月七	月一十	月一十	月二十	月四	月二十	月四
▲農家の借金は如何程か、農家の借金した原因、農家の負債整理に關する要點外六章。	▲農村に於ける副業の工業化に就て述べたもので、工業を起すに必要な條件外六章。	▲農村工業化に關する諸家の主張を一瞥し農林省の計畫内容を紹介し對農業に就て考察す	▲小作爭議地として有名な山形縣小田島村外四ヶ村の農村事情及び爭議の影響を調査す。	▲漁業組合制度の改正の根據を明かにし、その精神を説き漁村の經營及び指導に就て述ぶ	▲二宮尊徳翁の報徳仕法と報徳教義による農村更生の道を説いたもの。	▲農村の自力更生及び農村振興の爲めに説いた書で、農は國の本である外五章。	▲實験による新養蠶法と農村更生に就て述べた書で、一齡一回給桑簡易經濟新養蠶法其他	▲農事實行組合の使命と其運用に就て講述せるもので、緒言、農事組合の經營外二編。	▲總論(緒論、農家組合外二章)各論(一組合機關編、耕種編、自給肥料増産計畫編)其他	▲家族的獨立小農法に就て述べた書で、家族的獨立小農基本案、理想部落建設案外一篇。	▲セドルマイアの「小農業經營經濟」學を譯せるもので、小農經營の本質外五章。	▲著者の體験より農家經營、農耕技術に就て述べたもので、世相、農業經營の要素外十章

農業(農業一般・農業經營・農産製造・副業)

木下通敏	米倉茂俊	島田錦藏	向後白圓	高岡好廉編著	梅野明二郎	古市誠	小林大隅	佐々木林治郎	齊藤道雄	佐々木林治郎	菊地久一郎	衣川義雄
滿洲に農業經營の實際と移民問題	農家簿記決算の仕方	林業簿記及収益評定論	農事	實用農産製造法	新醬油釀造指南	實用園藝食品加工法	簡易一年間の農産加工	畜産製造學	養鶏生産物の利用及加工法	養鶏生産物の利用及加工法	大豆利用食品加工法	有利鶏肉の製産法
洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函三六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判
362	99	247	180	328	152	459	199	140	231	110	109	109
三、五〇	二、五〇	三、五〇	六、五〇	一、〇〇	一、〇〇	四、五〇	七、〇〇	一、五〇	一、八〇	六、五〇	六、五〇	六、五〇
斯文書院	明文堂	刊行ケ會原	博文館	泰文館	明文堂	養賢堂	實益農業社	刊行ケ會原	刊行ケ會原	教育研究會	教育研究會	教育研究會
月七	月八	月一十	月六	月四	月七	月十	月五	月二十	月二十	月五	月五	月五
▲農業經營(大豆作の將來觀其他)農業移民問題(移住地としての滿洲の概觀其他)	▲農家經濟更生に必要な農家經濟簿の決算方法を示せる書で、農家經濟決算方法事例其他	▲林業簿記及び収益評定に就て論述した書で、林業の財産、資本及損益、複式簿記外八章で、著者の田園生活に於ける感想雜記を併の順に排列し農家の行事を差入る。		▲農産物の加工製造法を述べた書で、總論、食用農産物加工、園藝農産物加工外二篇。	▲醬油釀造法一般に就て述べたもので、醬油はどのようにして出来るか、製麴、醬油諸味其他	▲本邦に於ける園藝食品の加工製造に就て述べた書で、セリ製造法外七篇。	▲農産加工に於ける簡易罐詰、罐詰法に就て農家の自家用、副業としての題材を記述す。	▲原料肉論、ソーセイジ製造室並に器具外十章にてソーセイジの製造法を説述す。	▲養鶏生産物の利用と加工法に就て述べたもので、鶏卵、滋養品製造法、鶏羽及鶏糞其他	▲大豆を利用して製造する食品加工法を述べた書で、黒大豆利用加工飲み物の製法其他。	▲食鶏の格付、食鶏の出荷法、屠殺、拔羽、洗滌及び冷却、解體、去勢法外三篇にて説く	

農業(農産製造・副業・農學一般・農藝化學)

古谷謙	水野義雄	齋藤鏡一	見坊兼光	太田嘉作	松浦亘	東京朝日新聞	農藝文獻集成會編	宮崎高等農林學校	荒原祐太也	佐藤源太也	大川金作	川村一	川村一
薄荷及除蟲菊の製法	山葵の栽培と加工	簡易に罐詰と罐詰の製造法	實際農家副業大典	有利副業と農家窮狀打開	農業相談	農業相談	本邦農藝文獻解説	學術報	自來農藝便覽	化學定性分析	土壤學講話	土壤膠質化學	土壤膠質化學
洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函四六布入判	洋函三三製判	洋函四六製判	洋函四六製判	洋函四六製判	洋函四六製判	洋函四六製判	洋函四六製判
92	57	86	586	119	403	403	190	110	362	212	324	218	218
六〇	二〇	四〇	一、六〇	六〇	一、五〇	一、五〇	二、三〇	八〇	一、五〇	一、八〇	三、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
教育聯盟	明文堂	明文堂	弘道閣	愛媛農藝村	問題研究所	明文堂	養賢堂	文華堂	四國教育會	明文堂	養賢堂	岩波書店	岩波書店
月五	月九	月九	月三	月八	月一	月一	月三	月九	月八	月九	月一十	月三	月三
▲薄荷及び除蟲菊の製法を述べたもので、薄荷の用途、効力及び産額其他。	▲信州穂高町外二ヶ村に互る平地山葵の栽培に就て廢地利用の生産状況を記述せる書。	▲罐詰と罐詰の製造原理、沿革、機械器具の取扱、需要の多い物の製造法等を説明す。	▲農、山、漁村に適する副業八十六種を選び生産方法、收支計算、取引關係等を述ぶ。	▲農村問題と副業、副業と甘藷、ひがし甘藷製法、結論の四章にて説述。	▲農、山、漁村に於ける新しい有利な副業に對する調査と計畫とを述べたもの。		▲昭和五年度中の雜誌、報告書、單行本等に掲載された文獻の主旨を解説す。	▲宮崎高等農林學校教授宮澤文吾氏の「稻ノ突然變異ニ關スル研究」の全論文。	▲教科書として補習學校、農學校に於ける兒童用書。	▲陽イオンの反應及檢出、未知イオンの定性分析法外三編にて説述。	▲緒論、岩石の風化、土壤の理學性一般、土壤の反應外十五章にて土壤學を解説す。	▲最近に於ける土壤膠質化學の趨勢を紹介した書で、無機土壤膠質化學の分離法外十五章。	

高橋隆道	松岡喜徳治	松岡喜徳治	松岡喜徳治	松岡喜徳治	中田覺五郎	藏梅之丞	原梅之丞	鶴田萬平	吉田諒藏	是澤政一編	齊藤道雄	小西龜太郎
農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士
庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法	庭木の病蟲害防除法
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
420	70	68	57	90	603	772	703	773	324	236	404	112
三、五〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四〇〇	七、八〇	七、五〇	二、九〇	二、九〇	八〇	八〇	三、五〇	四、三〇
明文堂	明文堂	明文堂	明文堂	明文堂	養賢堂	刊西行會原	養賢堂	養賢堂	非凡閣	明文堂	明文堂	西東社
月六	月九	月九	月九	月九	月九	月二十	月一十	月五	月五	月七	月八	月六
▲中等以上の農學校に於ける實習指導法を叙述せるもので、緒論、農場の設備外六編を叙	▲種々な植物の病蟲害を挙げその防除法を述べたもので、庭木の病蟲害外十九章。	▲花卉の病蟲害防除法に就て述べたもので、花卉の病蟲害汎論其他。	▲蔬菜の主要な病蟲害を記して防除の要點を述べた書で、蔬菜の病蟲害其他。	▲果樹の病蟲害各論、果樹の病蟲害と薬剤施用、果樹の病蟲害各論、果樹の病蟲害各論外二章。	▲園版を基として作物病理學を述べたもので普通作物の病蟲害、特用作物の病蟲害外二篇。	▲總論、殺菌劑及防除用器具機械、病蟲防除法、各論等に分けて説く。	▲作物の凡ゆる病蟲害に亘り其病微病原驅除法を述べ有益菌及益蟲の保護も講ず。	▲肥料と土壌、肥料附録に大別し前版を増訂せる最新版。	▲肥料と稲の栽培、米の性質、米の貯蔵、米の生産地と其耕地面積外二章にて説述。	▲肥料の買方と鑑定を説いた書で、買入肥料の鑑定はどうしたらよいか外八篇。	▲肥料の買方と鑑定を説いた書で、買入肥料の鑑定はどうしたらよいか外八篇。	▲緑肥の原理を論じ、本邦緑肥の一般性質及び肥効等の試験成績を記述して實際を説く。

武田總七郎	鶴田定平	廣瀬次郎	三木昇二	並池功雄	菊池功雄	齋藤道雄	村田喜一	中江利郎	池田錫	高屋銳	宮路憲二	松浦勇
農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士	農學士
輪實畑作新説	輪實桑樹品種論	作物蔬菜栽培法	滿洲高粱研究	園藝學研究集録	園藝學研究集録	乳と乳製品の物理學	乳汁の化學及試験法	牛乳及乳製品	搾乳衛生	酪農細菌學	應用細菌學	應用菌學
洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊	洋函菊
布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
570	568	522	82	293	293	454	470	693	187	307	488	1289
四、八〇	五、〇〇	三、〇〇	一、〇〇	二、五〇	二、五〇	四、八〇	四、五〇	六、五〇	一、〇〇	三、〇〇	四、〇〇	三、〇〇
明文堂	明文堂	泰明堂	化滿洲會文	養賢堂	養賢堂	刊西行會原	明文堂	養賢堂	有誠堂	長隆會	岩波書店	太陽堂
月四	月八	月四	月一十	月二	月二	月二十	月二	月八	月二十	月五	月九	月一
▲北朝鮮及び滿洲國の農業を考慮して畑作に就て述べた書で、畑地論、畑作物論の二編に	▲桑品種の改善、原種及系統、性状、改良の方法並採苗方法其他に就き論述す。	▲尤も合理的な作物蔬菜の栽培について著者長年の實際と研究とを纏めた書。	▲高粱の栽培、性状、利用、需給、取引の全般に亘りて説明す。	▲果實、蔬菜、花卉及園藝生産物の處理に関する研究と調査を収録。	▲園藝學研究集録	▲物理と化學の見地から取扱つた乳製品製造學で、牛乳比重論と其の應用外十一章。	▲乳汁の化學、乳汁の試験法に就ての記述で、乳汁の化學、乳汁の試験法外一編。	▲牛乳及乳製品検査法、乳製品加工法、市乳供給に大別し試験法と製法を詳述した改訂版。	▲搾乳衛生の實際上必要な點を解説したもので、我國乳業の社會的地位外三編。	▲乳業に關する細菌學的統制を説いたもので、微生物と其活用、微生物の検査の二篇。	▲應用細菌學に就て説述した書で、菌學の來歴、細菌の形態及生理、酵母單用製品其他。	▲菌學に關する事項を廣く詳細に記述せるもので、應用菌學汎論、菌學栽培學外四篇。

吉村 巖	渡邊 藤村	石井 勇義	佐々木 鐵夫	小原 榮次郎	尾崎 智之助	遠藤 保太郎	近藤 紫雲	大橋 昌夫	淺川 英一	森口 潔	松崎 直枝	
四季趣味の風流園藝	萬年青の種類と培養	原色萬年青圖譜	蘭菊の接木栽培法	蘭の種類と培養	大輪朝顔の行燈作法	大輪朝顔栽培考	培養大輪咲朝顔	年中花壇と宿根草花の作り方	草花フレーム園藝	趣味の温室園藝	近世渡來園藝植物	
洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	
250	206	255	272	149	312	128	256	134	260	265	360	
一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	
明文堂	誠文堂	誠文堂	成美堂	有誠堂	誠文堂	四條書房	明文堂	博文館	資文堂	資文堂	博文館	
月一	月五	月二十	月九	月七	月五	月五	月四	月五	月三	月一	月八	
▲庶民の爲の風流園藝即ち小物作りの園藝書で、鈴蘭の水苔植、風蘭の吊物外六十八篇。	▲萬年青の種類と培養に就て述べたもので、萬年青の類別、萬年青の品種外八篇。	▲萬年青を原色にて収め解説を附し、更に最近の萬年青界、萬年青の培養外八篇を説く。	▲東洋蘭の栽培と鑑賞に就て述べた書で、總説、培養上特に入門者の注意すべき點其他。	▲素山流栽培法に就て説けるもので、素山流栽培法の効果、準備、菊の接木法外九章。	▲蘭を春蘭、夏蘭其他に分類し、實際と歴史を記述し且つ培養法を述べたもの。	▲大輪朝顔栽培法としての行燈作法に就て實地栽培の経験談を記述したものである。	▲大輪朝顔の栽培法を記述したもので、總説性狀、栽培の準備、播種及び子苗の養成其他。	▲年中花壇と宿根草花の栽培法を述べた書で、絶えず美しい眺めを保つには外九章。	▲大輪咲朝顔の栽培に關して述べた書で、朝顔の歴史、大輪咲培養五大要件其他。	▲花物の露地栽培から温室栽培に達するまでの準備書で、フレーム、シクラメント其他。	▲温室を安易に建設する方法、暖房装置、温室の管理と準備、温室植物の培養法等を叙述の準備書で、フレーム、シクラメント其他。	▲最近渡來した外國の園藝植物の寫眞を収め解説を施す。

垣本 勇	永田 治郎	吉村 巖	若林 榮四郎	劉米 達夫	石田 文三	河野 節藏	長岡 行夫	田邊 貢	野呂 癸巳次郎	大石 俊雄	幡原 隆治	福島縣内務部編	米内山 泰介
園藝花	パノラマ式家庭蔬菜園	四季・食用茸の培養	藥用植物栽培法	高山植物と山草の培養	高山植物と山草の培養	高山植物の培養	多肉植物の培養	茶樹栽培及製茶法	柿栽培の實際	櫻桃栽培の實際	日本棉花栽培法	儲かる野菜の作り方	木位蔬菜栽培精義
洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判	洋四六布入判
412	179	262	458	271	167	284	471	311	280	331	104	856	
一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇	一、二、三〇
鷄明社	創元社	文書堂	養賢堂	三省堂	朋文堂	文書堂	刊西行會原	養賢堂	泰文館	丸山會	古今堂	明文章	
月四	月三	月五	月九	月五	月六	月九	月三	月一十	月九	月一十	月五	月四	
▲園藝植物の栽培其他に關する書で、土に就て、草花の一般的栽培法、繁殖法其他。	▲家庭園を如何なる仕組にすればその能率を發揮し得るかを述べた書。	▲趣味と實益より一般に培養し得られる食用茸七種を記述した書で、椎茸篇外六篇。	▲藥用植物栽培生産上の指導書で、總論(藥用植物の生産外八篇)各論(ベニバナ其他)。	▲主として山草の培養に關して述べたもので、總論(鉢植栽培外七篇)細説(キク科其他)。	▲高山植物の培養及研究の歴史、高山植物の培養外五章にて高山植物の培養法を述べた。	▲各種の多肉植物の栽培法を述べた書で、多肉植物各種の記載とその培養法外一篇。	▲茶樹の栽培及び製茶法を述べたもので、總説、茶樹栽培法、製茶法、茶業經營法の四編法を述べた書で、品種、接木法外十章。	▲各種失敗の實例を引用して柿の實際的栽培法を述べた書で、品種、接木法外十章。	▲櫻桃の栽培法を述べたもので、果樹園開設經營上の注意、繁殖、苗木の栽植と移植其他。	▲日本内地に於ける棉花栽培の指針を述べたもので、棉作と自然要素との關係外十一編。	▲蔬菜栽培上の要點を列記したもので、蔬菜栽培の經營方針、各論(胡瓜其他)外五篇。	▲蔬菜に關する耕種、用途、調製、貯藏、荷造、出荷、販賣、加工、調理等を説述す。	▲木位蔬菜栽培精義

丸山信治	此君園主人	盆栽	流行史	附:各種培養繁殖法	上四六 製入判	243	一、五〇	出版部	江戸時代より現存に至るまでの盆裁の流行を述べ、且つ各種植物の培養繁殖法を説く。樹の巻、花の巻、観葉樹の巻外三篇。
日本森林協會編	最新林學講義	最新林學講義	最新林學講義	上巻	洋四六 布入判	642	三、五〇	政經書院	▲造林學(本多静六)造園學(田村剛)林産製造學(三浦伊八郎)外三篇より成る。
日本森林協會編	最新林學講義	最新林學講義	最新林學講義	下巻	洋四六 布入判	671	三、五〇	政經書院	▲下巻は、測樹學(諸戸北郎)林價算法學(吉田義季)林政學(田中由十郎)外六篇。
近藤萬太郎	日本農林種子學	日本農林種子學	日本農林種子學	後篇	洋四六 布入判	835	九、〇〇	養賢堂	▲後篇は種子學各論で、禾本科、百合科、樺木科、穀斗科、榆科、桑科、蓴麻科其他。
日比野貫三	解木肌と實用木材銘鑑	解木肌と實用木材銘鑑	解木肌と實用木材銘鑑	特六八、 三〇〇〇	布四六 製入判	75	六、八〇	明文堂	▲内外國木材中の重要な材種百二十餘種の木肌標本に實地の解説を加へたもの。
上原敬二	芝・芝生・芝庭	芝・芝生・芝庭	芝・芝生・芝庭	一、八〇	洋四六 布入判	266	一、八〇	明文堂	▲芝、芝生、芝庭等の庭園的方面を解説した書で、芝の總説、芝の栽培、芝庭外五章。
赤沼治男	最新天蠶及作蠶論	最新天蠶及作蠶論	最新天蠶及作蠶論	四、〇〇	洋四六 布入判	340	四、〇〇	蠶業新報社	▲天蠶及び作蠶の飼育より産繭處理に至る各般の要項に亘り敘述す。
高瀬軍治	改良箱飼と箱濕布育	改良箱飼と箱濕布育	改良箱飼と箱濕布育	一、八〇	上四六 製入判	184	一、八〇	蠶業新報社	▲稚蠶の箱飼と箱濕布育に關して説ける書で總説、春蠶の箱飼、初秋蠶の箱濕布育外一編
野崎清	繭の生産と其消費	繭の生産と其消費	繭の生産と其消費	六〇	並四六 製判	108	六〇	明文堂	▲繭の生産と消費との状態及び關係を述べた書で、繭取引を課題とせる根據外二章。

星井輝一	組合製絲論	製絲問題研究(3)	附:古名馬考	洋四六 布入判	446	三、八〇	明文堂	▲製絲産業組合運動の諸問題の解説を中心に製絲業の統制を論ぜるもの。
福本福三	生絲と人絹の知識	生絲と人絹の知識	生絲と人絹の知識	洋四六 布入判	312	八〇	非凡閣	▲生絲及び人造絹絲に就ての全般的知識を述べたもの。附録人造絹絲試験方法基準。
福本福三	生絲と人絹の知識	生絲と人絹の知識	生絲と人絹の知識	並四六 製判	43	二、五〇	育社協會	▲生絲に關する諸知識を述べた書で、蠶の一生と其品種、生絲の仕上外三篇。
萩原清治	養繭論	養繭論	養繭論	洋四六 布入判	348	三、〇〇	明文堂	▲養繭工程に就ての研究で、養繭に必要な諸項目、養繭前處理法外六章。
芝田清吾	畜産學原論	畜産學原論	畜産學原論	洋四六 布入判	628	五、〇〇	明文堂	▲家畜家禽を材料とした遺傳と生殖生理に就て述べた書で、家畜、種畜遺傳外三編。
日本畜産學會編	畜産學年報	畜産學年報	畜産學年報	布製	280	二、八〇	養賢堂	▲實驗生理學、解剖生理、遺傳繁殖外、家畜飼養、生産物衛生統計に分つ。
境野惠佐	家畜去勢法	家畜去勢法	家畜去勢法	洋四六 布入判	294	二、五〇	成美堂	▲鶏、馬、牛其他の家畜の去勢術を述べたもので、牝畜去勢、隱睾去勢外十四章。
橋本教示	有畜農蠶必利經營法	有畜農蠶必利經營法	有畜農蠶必利經營法	上四六 製入判	209	一、三〇	丸山舎	▲一般の農業經營を説き、更に養蠶、養牛、養羊、養鶏、養豚其他の經營をも叙す。
下野靖二	家禽畜圖譜	家禽畜圖譜	家禽畜圖譜	洋四六 布判	219	二、五〇	三省堂	▲雁鴨目、鷓鴣目、鷄目、食肉目、偶蹄目其他の家畜家禽を寫眞に收め解説す。
中西水之丞	馬種略説	馬種略説	馬種略説	洋三六 布判	186	一、三〇	長隆舎	▲我馬産に貢獻せる馬種に就て説き、且つ我國馬産改良上の名馬の本源たる名馬種を述べ
鎌田澤一郎	羊の飼育と羊毛加工	羊の飼育と羊毛加工	羊の飼育と羊毛加工	洋四六 布入判	434	五、〇〇	大阪屋號	▲綿羊に就ての研究で、綿羊の起原、人間生活と綿羊、滿洲國と綿羊問題外三章。
田口教一	綿羊の飼育と羊毛加工	綿羊の飼育と羊毛加工	綿羊の飼育と羊毛加工	並四六 製判	91	四、〇〇	明文堂	▲總説、飼育管理、生産物の處理、衛生、政府の獎勵施設の五章。

瀬尾肇	丈下重義	北村榮次	日本愛犬俱樂部編	碓氷元	大浦豊	磯貝晴雄	田嶋寸台	米田富	吉井信	伊藤帷吉	板垣四郎	綾部虎治郎
有利な鬼の飼ひ方と賣り方	狸とその飼ひ方	狸養	新犬の飼ひ方と訓練法	犬の出産と飼育法	日本犬の研究	日本犬の活きた訓練	軍犬點描	養蜂の葉	吉井式採卵バタリ養鶏法	養鶏大成	鶏の疾病と其の治療法	鶏多産鶏の飼養法
上四六	洋三五	洋四六	上四六	洋四六	布四六	布四六	布四六	布四六	上四六	洋四六	洋四六	洋四六
製入判	布判	布判	製入判	布判	製入判	製入判	製入判	製入判	製判	製判	製判	製判
154	50	125	273	464	208	150	400	34	80	464	222	162
一、八〇	二、八〇	一、〇〇	一、〇〇	二、五〇	一、〇〇	一、五〇	二、八〇	二、五〇	一、八〇	二、〇〇	一、八〇	一、八〇
康業社	古今堂	綜合科學	岡村書店	狼吟莊	三省堂	日本犬研究所	狼吟莊	明文堂	鶏の研究社	養賢堂	西行會原	成美堂
月一十	月五	月二十	月七	月七	月九	月四	月五	月九	月八	月四	月一十	月七
▲鬼の飼育法、販賣法、用途を實際的に説ける書で、家鬼の種類、養鬼の目的各種其他。	▲狸の人工養殖に就て初心者の實際指導上の指針を述べたもので、畜舎の建設其他。	▲総論、狸の外観論、狸の飼養論、狸の管理法、毛皮論外二編にて、養狸の實際を説く。	▲経験と飼育上の理論とを述べた書で、犬の種類、犬の飼ひ方、犬の訓練法外二篇。	▲生殖生理、乳線の生理、交配の時期及び時刻、仔犬の育て方、傳染病其他より成る。	▲日本犬の疾病の治療法及び飼育上の参考として遺傳の概念を説明す。	▲各地の日本犬の性質、本能、訓練法及び日本犬に關する全ての知識心得を述べた書。	▲一姫二郎、仔犬の名、道場、犬ホイイ、訓練、軍用犬展覽會評判記其他の愛犬隨筆集	▲本邦に於ける養蜂業の現況、蜂群、種蜂の選擇と購入、給餌法、養蜂の收入外十二篇。	▲理想的な新養鶏法、採卵バタリ1の構造、採卵バタリ1鶏舎、飼料、管理其他數十項。	▲養鶏に於ける經營法の實際的事項並に技術上の問題に對して説述せる書。	▲鶏に關する衛生知識を説いたもので、一般衛生、傳染病、寄生蟲病外九章。	▲結論、母鶏孵化と育雛、人工孵化と育雛、産卵能力の鑑定、設備、飼養外十章。

雨宮育作	日暮忠	農林省水産局編	德久三種	宮崎治太郎	吉津良恭	森周六
日本水産學	日本水産養殖大成	日本水産物罐詰製造業要覽	養	養	熱帯魚の飼育と鑑賞	農業用揚水器
洋四六	洋四六	布四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布判	布判	製判	製判	製判	製判	製判
312	438	402	92	76	278	210
三、三〇	三、八〇	四、三〇	三、〇〇	六、五〇	三、八〇	二、五〇
西行會原	養賢堂	農業社	明文堂	水産社	アールス	西行會原
月二十	月九	月十	月九	月四	月六	月二十
▲水産學と水産學、海の形態、海水の運動、其他理學方面及實際的方面より全般を記す。	▲水産養殖技術の全般に亘り要綱を記述したもので、淡水養殖、鹹水養殖外二編。	▲事務参考用としての要覽で、各道府縣及殖民地當局の調査の結果を集録す。	▲緒論、養鰻法、止水養法、流水養鰻法、稻田養鰻法、溜池養鰻法外一章。	▲副業としての養鰻、鰻とその價值、池塘及飼養法、捕獲及運搬、著養、其他。	▲淡水産熱帯魚の飼育法と鑑賞に就て説述したもので、熱帯魚に就て、準備のページ其他	▲農業用揚水器、唧筒と原動機との連結方法農業用揚水器の原動機の撰擇其他。

圖書雜誌專門店



東京堂書店
電話 四二七

六二二

一四、理科學

著者	書名	裝形	頁數	定價	發行所	月行發	內容大意
竹内時男	科學精神講話	新裝	187	一、〇〇	章華社	九月	▲科學精神、科學思想の發達變遷をアリストテレスの昔から代表的な人々に就て説く。
中賀川村川	科學の新背景	四六裝入	382	二、〇〇	恒星社	六月	▲唯心的科學觀を背景とする科學を説いたもので、外界への接近、科學の諸方式外六章。
哲學研究會譯	科學と技術の問題	並裝	652	一、〇〇	白揚社	六月	▲アルジョア自然科學の反技術主義と危機(リフシント)外四篇。
唯物論研究會譯	岐路に立つ自然科學	並四六裝	420	一、六〇	大畑書店	五月	▲第二回國際科學史及び技術學史會議にソヴエト科學者が提出した論文を集録したもの
田中義徳・久保清之吉 大谷村太郎・江崎柳三	科學論文の書き方	洋装	470	四、七〇	養賢堂	九月	▲研究業績發表の仕方的一般に就て必要な事項を述べた書で、總論、文獻其他。増訂五版
中瀬古六郎	自然科學要論	上編	67	八〇	カニヤ書店	五月	▲自然科學の何たるかを概説せるもの。
白井光太郎	改訂日本博物學年表	洋装	451	四、三〇	大岡山書店	九月	▲養に刊行した「日本博物學年表」を改訂増補せるもの。
永井潜	科學の今昔	洋三六布判	234	一、〇〇	春秋社	二月	▲科學と哲學、古代に於ける科學、中世紀、化學の革新外三章、附化學及び文化年代史。

理科學 (科學一般・日常科學)

六二三

(9-1)

西澤 勇志智	橋爪 檳榔子	丸山 勉	岩田 良吉	大アキ 榮	大アキ 榮	察 佐吉	竹内 時男	田中 清之編	新帝國大社編	東京科學博物館編	三本 重長
邊 學	神人體の化學百話	支那草木蟲魚記	確子細工法	種々の起	種々の起	近代科學の驚異	科學の尖端を語る	科學と人間生活	科學研究と世間	江戸時代の科學	小學校理科世界科學史
洋函六	上四六	洋函六	上四六	並函六	並函六	布函六	布函六	上四六	上四六	布函六	布函六
製入判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判
524	366	81	78	248	356	334	508	217	397	222	394
二、四〇	一、〇〇	二、三五	一、〇〇	四、〇〇	四、五〇	六、五〇	一、六〇	一、〇〇	一、三〇	四、三〇	三、九〇
東學社	日本公論社	東亞研究會	カニヤ書店	岩波書店	新潮社	新潮社	中央公論社	時潮社	章華社	帝國大學新	博文館
月十	月二	月十	月五	月二	月三	月三	月五	月三	月九	月六	月一
▲花火見たまゝ、人絹其他の化學的隨筆。	▲茶・江南竹・南京冬芽柿・石榴・玫瑰・白松・垂槐・枇杷・楊梅其他。	▲自然科學的角度から生的科學を見たもので、戰陣の外科醫學對話、生命の糸其他。	▲古典の一つに數へられてゐるハドソンの「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲化學實驗室に於けるガラス器具の種類及び造り方を圖解説明したものである。	▲下巻は、本能、間種、地質學的記錄の不完全、地理的分布外四章より成る。	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲最新科學の驚異を述べた書で、宇宙膨脹の最新世記、電子の世界を語る外廿七篇。	▲最新科學の驚異を述べた書で、宇宙膨脹の外七篇の科學說話集。一普及版。	▲二三四のヘソッド(長岡半太郎)居候の郭公(石川千代松)外三十三篇の科學隨想集。	▲江戸時代に於ける科學者の研究の跡を紹介した文獻で、桑木或雄外數十氏執筆。

小 山 憲 次	相 澤 次 郎	藤 木 源 吾	三省堂編輯所	川野 内 重 雄	守 屋 磐 村	竹 内 時 男	中 村 喜 伴 内 吉	加 藤 美 侖 原	京都帝國大學物理化學研究室編	弓 場 重 泰	カ 戸 直 蔵
發明讀本	發明家になれる科學讀本	理科實驗の基礎と應用	分り易い一般理科の研究	現代一般科學	現代家事化學	新しい日常科學	日常生活の科學	日常科學是丈は心得おくべし	物理化學の進歩	物理學史	物理學史講義
並函六	洋函六	洋函六	上三六	上四六	布函六	洋函六	洋函六	上函六	並函六	洋函六	並函六
製判	布入判	布判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判	製判
114	222	221	259	244	340	462	365	282	128	262	531
四、〇〇	一、〇〇	一、八〇	六、〇〇	一、三〇	二、三〇	二、八〇	一、八〇	六、五〇	一、三〇	二、五〇	二、五〇
特許法施行五十年記念會	康業社	同文館	三省堂	成美堂	崇文堂	東京開成館	上田泰文堂	誠文堂	至文堂	前野書店	中文館
月十	月九	月五	月五	月四	月四	月四	月九	月四	月二	月五	月一十
▲發明の意義、發明の種類、發明は誰にも出来る、發明完成の順序外二十四課。	▲現在及び將來の科學を述べたもので、五十年後の科學都市、ロケットの解剖外十章。	▲理化實驗の基礎と應用に就て説述したもの、總説、基本的製作、應用的製作と實驗。	▲中等學校低年者の爲め植物、動物、礦物化學、物理を平易に解説せる參考書。	▲中學生の一般科學に對する參考書で、質疑を發し之に應答する形式にて叙述す。	▲空氣に關する化學、燃焼に關する化學、燃料に關する化學、水に關する化學其他八項。	▲日常生活上の百種の事項を科學的に詳細解説したものである。	▲中學校一般理科の教授要目に據り日常生活に關係ある科學一般を記述す。	▲電氣の知識是丈は心得おくべし、鐵植物の科學談是丈は心得おくべし外二篇。	▲鹽化水素及びアマモニアの反應に關する研究(第一報)(岡山義雄)外六篇。	▲古代ギリシヤ時代より現代までの物理學發達順序に従つて述べ自然現象を説く。	▲十九世紀までの物理學の發達史を譯せるもので、ギリシヤ時代、ローマ時代外七篇。

西澤 勇志智	橋爪 核椰子	澤村 幸夫	丸山 勉	岩田 良吉	大アキ	大アキ	察 佐吉	竹内 時男	田中 清之編	新開 大社編	東京 科學博物館編	三本 重長
邊 化學	神人體の化學	支那草木蟲魚記	硝子細工法	ラ・プラタの博物學者	種々の起	種々の起	近代科學の驚異	科學の尖端を語る	科學と人間生活	科學研究と世間	江戸時代の科學	小學教科書としての世界科學史
洋四六	上四六	並四六	上四六	並四六	並四六	並四六	布四六	布四六	上四六	上四六	布四六	布四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
524	366	81	78	248	356	334	508	217	397	222	394	435
二、三〇	一、五〇	二、三〇	一、〇〇	四、〇〇	六、五〇	六、五〇	一、六〇	一、〇〇	一、五〇	一、〇〇	四、五〇	二、九〇
東學社	日本公論社	東亞研究會	カニヤ書店	岩波書店	新潮社	新潮社	中央公論社	時潮社	章華社	帝國大學新	博文館	有文書院
月十	月二	月十	月五	月二	月三	月三	月五	月三	月九	月六	月一	月十
▲花火見たまま、人絹其他の化學的隨筆。	▲チヨウカン、鐵ビンの音楽、梅干とガラス	▲自然科學的對話、生命の糸其他。	▲茶・江竹・南京冬芽柿・石榴・玫瑰・白	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。	▲「ラ・プラタの博物學者」の翻譯。

理科學 (科學一般・日常科學)

小山 憲次	相澤 次郎	藤木 源吾	三省堂編輯所	川野 内國雄	守屋 磐村	竹内 時男	中村 喜内吉	加藤 美侖原	
發明讀本	發明家なる科學讀本	理科實驗の基礎と應用	分り易く一般理科の研究	現代家事化學	新しい日常科學	日常生活の科學	日常生活の科學	日常生活の科學	
並四六	洋四六	洋四六	上三六	上四六	布四六	洋四六	洋四六	上四六	
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	
114	222	221	259	244	340	462	365	282	
二、〇〇	一、〇〇	一、二〇	六、〇〇	一、八〇	三、三〇	三、八〇	一、八〇	六、五〇	
特許法施行	康業社	同文館	三省堂	成美堂	崇文堂	東京開成館	上田泰文堂	誠文堂	
月十	月九	月五	月五	月四	月四	月二十	月九	月四	
▲發明の意義、發明の種類、發明は誰にも出	▲現在及び將來の科學を述べたもので、五十	▲化學實驗の基礎と應用に就て説述したもの	▲中等學校低學年者の爲め植物、動物、礦物	▲中學生の一般理科に對する參考書で、質疑	▲空氣に關する化學、燃焼に關する化學、燃	▲日常生活上の百種の事項を科學的に詳細解	▲中學校一般理科の教授要目に據り日常生活	▲電氣の知識は心を得おくべし、鐵植物の	▲電氣の知識は心を得おくべし、鐵植物の

理科學 (科學一般・日常科學・物理・化學)

額田	山名	松本	富永	竹内	首藤	小幡	早川	渡邊	庄司	中村	一瀬
敏雄	名雄	高徳	永齊	内時	藤基	幡重	川康	邊慧	司彦	村清	正巳
無機化學概論	無機化學要論	新無機化學	化學總論	新物理學夜話	新物理學の自然像	聞える音・聞えぬ音	初等量子力学	波動力学	波動論・音響学・光学	應用物理學實驗	物理學要論
洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判
510	276	356	291	152	590	313	195	165	749	176	356
二、一〇〇	二、一〇〇	三、一〇〇	三、一〇〇	一、一〇〇	三、一〇〇	三、一〇〇	三、一〇〇	三、一〇〇	三、一〇〇	三、一〇〇	三、一〇〇
文修堂	大倉廣文堂	培風館	培風館	共立社	養賢堂	養賢堂	岩波書店	岩波書店	山海堂	金原商店	太陽堂
月九	月五	月一十	月二十	月四	月五	月三	月五	月九	月五	月十	月九
▲物理學の第一歩	▲最新化學の第一歩	▲物理學の第一歩	▲物理學の第一歩	▲物理學の第一歩	▲物理學の第一歩	▲物理學の第一歩	▲物理學の第一歩	▲物理學の第一歩	▲物理學の第一歩	▲物理學の第一歩	▲物理學の第一歩

山岡	山名	額田	四方	武原	漆原	有馬	角倉	角倉	松野	橋本	石川	櫻井	藤村
望雄	寧雄	敏雄	敬一	義之	純三	邦彦	邦彦	吉松	吉郎	吉郎	清一	武平	與市
有機化學構造論	有機化學要論	有機化學概論	有機化學	有機化學	有機化合物分析法	分析化學	分析化學	無機定量分析	高等化學總括	高等化學	必修高等化學	高等實驗化學	最新化學の第一歩
洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判	洋四六 布判
558	356	176	749	165	195	313	590	152	291	356	276	510	
七、五〇〇	三、一〇〇	三、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	六、一〇〇	六、一〇〇	三、一〇〇	一、一〇〇	三、一〇〇	三、一〇〇	三、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
内田老鶴園	太陽堂	金原商店	山海堂	岩波書店	岩波書店	岩波書店	養賢堂	養賢堂	共立社	培風館	培風館	大倉廣文堂	文修堂
月九	月九	月十	月五	月五	月九	月五	月三	月五	月四	月二十	月一十	月五	月九
▲下巻は電氣及び磁氣、輻射波、物質と空間の本質の三篇。	▲測定實驗に關する書で、總序、最小二乗法と誤差、器械、計算、基礎的實驗外廿四章。	▲物理學實驗に就ての原理を具體的に説述せる書で、度盛圓盤の離心度、摩擦係數其他。	▲單振動、波動・音・發音體の振動・振動數の測定・光の直進・光の反射其他。	▲古い質點力学、Lorentzノ定理、波動力学ノ基礎ノ考へ、粒子ノ聯合波ノ傳播方程式其他。	▲量子力学の基礎的事項を判り易く説明せるもので、ド・ブローイ波動説其他。	▲音響に關する基礎的知識を述べた書で、聞える音聞えぬ音、音の分析外十四篇。	▲新物理學の自然像を述べたもので、光の電磁論、分子統計論、電子論、量子論其他。	▲時間史話、アインシュタインの相對性、光の本質と時空の結構外五十篇。	▲原子の構造、分子の存在状態、分子の構造物質の變化又は化學反應外一章より成る。	▲無機化學に就て述べた書で、緒論、酸素、水素、ハロゲン、硫黄及び其の化合物其他。	▲無機化合物の性質並に無機化學反應の種類を記し同族元素間の關係及化學反應等を説くもので、醫學的方面の應用を記述す。	▲物理學の第一歩	▲最新化學の第一歩

(9-6)

理科學 (物理・化學・天文・地文・氣象)

竹村貞二	變化學 思想と實驗	洋四六 布判	428	三、五〇	中 文 館	月四	▲一切の化學變化を如何に思索すべきかを主として鹽基成分や酸成分の檢出より説く。
塚本義之	光化學	洋四六 布判	271	二、八〇	共 立 社	月二	▲光化學に關して論述せる書で、總論、測定の方法、スペクトル、化學發光外三篇。
田所哲太郎	榮養化學概論	洋四六 布判	201	一、五〇	丸 善 社	月五	▲榮養化學に關する基礎的知識を述べたもので、榮養の科學的意義、炭水化合物外十五章。
高本隆二	新藥合成化學	洋四六 布判	367	五、三〇	前 野 書 店	月三	▲新藥合成化學に關して説ける書で、脂肪列化合物、芳香列化合物、脂環狀化合物外四篇。
遠藤實三郎	膠質	洋四六 布判	341	三、八〇	章 華 社	月一	▲膠質學に於ける歐米人及び日本人の業績を紹介せるもの、上巻で、表面張力外十章。
根本六郎	脂質	洋四六 布判	248	三、八〇	裳 華 房	月五	▲脂質に對する一般の事項を叙述したもので、脂質の化學、脂質化學實驗法其他。
千谷利三	重水素と重水	洋四六 布判	153	二、五〇	裳 華 房	月九	▲一九三二年米國に發見された重水素及び重水の問題に關して叙述す。
東亞天文協會編	天文	並細長 製形	160	一、三〇	恒 星 社	月一	▲星座一覽表、月の位置と運行、一九三四年中の天象一覽表、流星其他。
東亞天文協會編	天文	並細長 製形	152	一、三〇	恒 星 社	月二十	▲太陽、月の位相と運行、日食と月食、遊星の運行、地球其他を網羅せる天文年鑑。
村上忠敬	全天星圖	並細長 製形	40	三、五〇	恒 星 社	月十	▲全天の肉眼星全部及主要なる星圖、星雲、新星、銀河等の位置、光度を示し解説を附す。
中村左衛門太郎	天體寫眞術	布四六 裝入判	215	一、八〇	恒 星 社	月二	▲天體寫眞術のあらゆる方面を網羅せる書で、天體寫眞術、天體寫眞用レンズ外六章。
田中宗爲	星と人	布四六 布判	159	一、三〇	恒 星 社	月七	▲天體に關して述べたもので、太陽の地球に及ぼす影響、地球の運動、月、慧星外八章。

六二八

(9-7)

理科學 (天文・地文・氣象・生物學)

山本一清	登山者の天文學	布四六 裝入判	150	一、〇〇	恒 星 社	月五	▲登山者の爲めの天文に關する手引書で、趣味としての天空觀察其他。一普及版。
野尻抱影	天女星座春秋	布四六 布判	293	一、五〇	恒 星 社	月四	▲天女星座外廿六篇の天文に關する隨筆集。
近藤芳一	曆の天文記事の見方	並四六 製判	154	一、八〇	大 日 社	月九	▲新舊兩曆の天文記事の見方を説明し、舊曆の天文記事が新曆より優れてゐる事を叙す。
小倉伸吉	潮	洋四六 布判	292	一、八〇	岩 波 書 店	月一十	▲海洋の潮汐一般に就ての叙述で、總論、潮汐、潮汐力と静力學的潮汐論外七章。
中村左衛門太郎	一般地震學	布四六 裝入判	314	二、三〇	恒 星 社	月二	▲地震學に就ての論究で、地震學發達の概觀、地震史、潮汐地震の地理的分布外十章。
藤原咲平	室戸颯風と其の教訓	並四六 製判	31	二、〇〇	育 社	月一十	▲世界記録を破つた室戸颯風、室戸颯風の經過、甚大な被害と區域外六篇。
岡田武松	氣象學	洋四六 布判	494	三、五〇	岩 波 書 店	月二十	▲氣象學の學理を説いた書で、上巻は大氣、空氣の溫度、地中溫度、氣壓、濕度外十六章。
室田宇吉	分り易い氣象學講話	洋四六 布判	220	一、八〇	三 友 社	月一十	▲氣象に關する知識を一般的に説いたもので、大氣の溫度と濕度、氣壓、風、天氣外四篇。
藤原咲平	大氣の成層	並四六 製判	56	二、七〇	新 信 濃 每 日	月十	▲大氣の成層の如何を詳細に解説す。
戸田半平	漁船用天測航海表	洋四六 布判	82	一、三〇	海 文 堂	月二	▲天測航海法のテイーブルにして漁船船員に適する解説を附す。
大阪朝日新聞社編	氣象講話	並四六 製判	91	二、〇〇	朝 日 新 聞 社	月十	▲判り易い氣象のお話(芝野疆)地震と津浪のお話(大橋龍太郎)外一篇。
中村左衛門太郎	素人天氣豫報術	布四六 布判	151	一、三〇	恒 星 社	月十	▲大衆がラデオに依り氣象通報を聴くに必要なる知識を解説した書。

六二九

理科學 (生物學)

山羽儀兵	小松春三	寺尾新	田中義廣	松浦一	駒井卓	湯淺明	吉野光秀	千野茂男	志佐誠	坂村徹	大飼哲夫	山羽儀兵	寺尾新
細胞學實驗法	生物學精講	生物と人生	遺傳學	遺傳學原理	日本人の遺傳	羊齒植物の細胞學及遺傳學	猩猩の遺傳と實驗法	植物の不稔性	植物細胞の滲透生理	植物細胞滲透生理	動物生殖生理學	透過性と生體染色	海生物
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三	洋三三
布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判
32	224	158	156	133	213	180	148	606	799	229	516	218	
二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
育社	養賢堂	養賢堂	養賢堂	養賢堂	養賢堂	養賢堂	養賢堂	中文館	裳華房	時潮社	三省堂	地人書館	
九月	九月	九月	九月	九月	九月	九月	九月	九月	九月	九月	九月	九月	
▲顯微鏡を用ふる植物學の觀察、實驗法に關する研究方法を説述せるもの。	▲高等學校及中等學校上級程度により生物學に就て説明せる書で、生物及び生物體其他顯微鏡と試験管の間からの三篇。	▲生長と増殖の生物學、海と陸の生物を探る顯微鏡と試験管の間からの三篇。	▲遺傳に關して説述したもので、總論、遺傳と細胞、變異と應用遺傳學の三篇。	▲遺傳學の歴史の觀察、交配、獲得形質の遺傳性外九章にて遺傳學を叙述す。	▲日本人を材料とする遺傳學に關して述べたもので、人類遺傳學研究法外三章。	▲緒言、細胞遺傳學的研究、遺傳學的研究、文獻集、文獻集の文獻に大別して論述す。	▲遺傳の研究材料としての猩猩の遺傳學の指導書に互に猩猩の中心とした遺傳學の指導書。	▲不稔性の意義、性的缺陷による不稔性、其他四章に分ち其機構及研究法を論述せるもの。	▲植物細胞の滲透現象の基本知識を述べ、滲透作用が關係する細胞生理等を叙述す。	▲有脊椎動物の精蟲及び卵の生理、受精現象等の生理學的方面を論述す。	▲原形質の透過性の理論學説及び主眼染色の物理化學的解釋學説應用を論ず。	▲弱肉強食の世界、浮游生物の種類、海藻と效用、海動物の毒、怪奇な海蟹の五篇。	

理科學 (動物學)

石川千代松	石川千代松	石川千代松	小林順一郎	飯塚啓	大谷武游夫	日本文學會編	加藤正世	加藤正世	加藤正世	加藤正世	平瀬信太郎	山川默編
動物學講義	動物學講義	動物學講義	動物生態學	高等動物學	水産軟體動物の化學	新全集動物圖鑑	分類原色日本昆蟲圖鑑	分類原色日本昆蟲圖鑑	分類原色日本昆蟲圖鑑	分類原色日本昆蟲圖鑑	天然色寫真日本貝類圖譜	色原貝類圖
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判
540	541	613	498	606	208	827	113	173	119	346	140	
五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	二、〇〇	四、八〇	二、六〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	三、八〇	二、〇〇	三、〇〇
金刺芳流堂	金刺芳流堂	金刺芳流堂	中文館	裳華房	厚生閣	泰明堂	厚生閣	厚生閣	厚生閣	松邑三松堂	三省堂	
月六	月六	月六	月十	月二十	月三	月五	月十一	月三	月九	月五	月五	月五
▲動物學に就て述べたもので、上巻は生活物質、細胞、メンデル遺傳法則其他。新訂版一冊より成る。	▲下巻は軟體動物、觸手動物、喉鰓類、棘皮動物、毛類動物、被囊動物、有頭動物其他。	▲動物生態學に就ての講話的な記述で、總論と生活細胞外二編より成る本論を收む。	▲高等學校程度動物學に就て述べたもので緒論、發生編、分類編、生理編外二編。	▲水産軟體動物の化學的研究で、筋肉、エキ成分、筋肉の灰分、血液、肝臓外七章。	▲凡そ三千の動物を収録し高等のものより下等のもの順に排列解説す。	▲鱗翅目蝶の一部及び蛾を原色版にて収録し解説を施せるもの。	▲微翅目、雙翅目、膜翅目の三種の原色版を収録し解説をなす。	▲第十二輯はシヤチホコガ、ツマキシヤチホコ其他の蛾類を原色で收め解説す。	▲日本の貝類を天然色寫真にて収録し、英和兩文にて解説す。	▲貝類二百八十六種を原色にて收め産地を記載せるもの。		

理科學 (動物學)

和田邦男	野外動物習性叢話	洋四六	布入判	238	一、五〇	成美堂	三月三	▲野外の代表的動物若干を選び、山林、河沼、田、野、河沼の三篇に分けその習性を述ぶ。
和田長禮	鳥類原色大圖説 (全三巻)	洋四六	布入判	262	二、〇〇	興學館	三月三	▲一千九十二種の全鳥類悉く原色版にて収め、内地産我が領土及び外来種を網羅す。
山階芳麿	日本の鳥類と其生態 (第一巻)	洋四六	布入判	524	一、〇〇	梓書房	三月七	▲日本産の鳥類及び其生態の研究で、第一巻は總論、各論に別け鳥類の形態其他を論述す。
東京日日新聞社編	傳書鳩の話	並四六	製判	112	四、五〇	東京日日新聞社 大阪毎日新聞社	三月九	▲傳書鳩の種類、飼ひ方、訓練の理論と實際其他に就て述べたもの。
石井重美	動物の社會生活	洋四六	布入判	246	一、五〇	古今書院	三月三	▲動物の社會生活に關して述べた書で、序説偶發的動物集團、原始的社會、超個體的社會
黒川義太郎	動物と暮して四十年	洋四六	布入判	472	一、七〇	改造社	三月三	▲動物に關する種々の事を記述したもので、干支に因める雑話、誌上動物園外五篇。
黒川義太郎	動物と暮して四十年	洋四六	布入判	432	一、七〇	改造社	三月七	▲明治二十五年以來四十餘年間上野動物園に暮せる著者の記録で、動物園生活の回顧其他
松村松年	昆蟲學語	洋四六	布入判	333	二、三〇	東京堂	三月五	▲昆蟲のロイマンスやアネックドットを書いたもので、賽銭泥棒の兜蟲外七十六篇。
山田達彦	昆蟲學語	並四六	製載	206	四、〇〇	岩波書店	三月九	▲第廿分冊には、きんいろなまむし、肉のくろばへ、はへ組の一寄生蟲外四篇を譯載。
山田達彦	昆蟲學語	並四六	製載	198	四、〇〇	岩波書店	三月二十	▲第五分冊は、はちいろいろで、つちばち、危い食物、はなむぐりの幼蟲外七篇。
加藤正世	改題味の昆蟲採集	布四六	裝判	240	一、五〇	三省堂	三月四	▲昆蟲の採集から標本の作方、保存法、分類参考書まで一切を詳述す。
松本下眞	蟻と人類	洋四六	布入判	170	一、三〇	樂園書房	三月五	▲生物の進化と遺傳、生物の集團生活、蟻の社會生活、人類文化の足跡外二篇にて説く。
田中茂穂	魚の研究	洋四六	布入判	356	二、八〇	一誠堂	三月一	▲魚類の研究から動物學一般を考察し、更に魚類に關する理學的考察及應用方面を説述す。

理科學 (動物學・植物學)

加藤宮邦	熱帯魚と淡水魚	並四六	製載	80	二、五〇	アルス	三月三	▲數多の奇魚珍魚の中で、學問上興味あるものを抜き出したもので、形の奇なる魚外八篇
田中茂穂	魚と人生	洋四六	布入判	461	二、八〇	樂浪書院	三月五	▲魚の理論と應用とに關して研究した書で、魚、郷土研究資料としての魚類外廿七篇。
田中茂穂	奇魚珍魚	洋四六	布入判	710	一、八〇	出興版學會	三月七	▲沼の産物、すじえび、ふな、たなご、極樂魚、開魚外五十四種の寫眞を収め解説す。
石川光春	植物學通論	洋四六	布入判	467	四、五〇	内田老鶴圃	三月九	▲植物學の一般に就ての説述で、緒論、形態通論、生理通論、生殖通論外二篇。一増訂改題版
小倉謙	植物形態學	洋四六	布入判	629	七、五〇	養賢堂	三月九	▲多數の圖版を挿入して植物形態學の一般概念を説けるもので、細胞學、組織學外二篇。
濱健夫	植物形態學	並四六	製入判	411	二、〇〇	中文館	三月十	▲植物外部形態學及び内部形態學の全般に互つて記述せる書で、細胞、組織外二篇。
北海道帝國大學助教授	植物榮養化學	洋四六	布入判	323	三、八〇	養賢堂	三月三	▲植物體水分の物理化學現象、植物無機成分の含量、無機成分の生理作用其他にて説く。
田所哲太郎	植物生理學大要	洋四六	布入判	118	一、六〇	西行會原	三月五	▲植物生理學の大要を叙述せるもので、植物と水、植物の生長外二十章。
末松直次	植物の生活	洋四六	布入判	312	二、八〇	出興版學會	三月四	▲植物の生活を説いた書で、科學と社會、植物の外部及び内部構造、細胞、種子外八章。
石井友幸	植物社會學語彙	並四六	製判	66	二、三〇	刀江書院	三月五	▲植物社會學上の諸用語を分類し解説した専門研究家の參考書。
竹中要	日本高山植物概論	布四六	裝入判	288	三、五〇	春陽堂	三月一十	▲多年の實地調査に基づき専ら高山植物の生態に就て觀察されたる梗概を叙述せる書。
神谷辰三郎	羊齒の檢索と鑑定	洋四六	布入判	511	五、三〇	成美堂	三月五	▲千島、樺太、内地、臺灣、小笠原等に互る羊齒植物三百八十餘種を圖示し解説す。

理科學 (植物學)

白井光太郎	白井光太郎	末松直次	佐藤敏雄	伊藤武夫	上村六郎	刈米達夫	工藤彌九郎	工藤彌九郎	工藤彌九郎	佐藤功太郎	本田正次	本田正次
本草學論	本草學論	植物病理學大要	綱要藥用植物學	三重縣植物誌	日本上代染草考	藥用植物	熱帶植物寫真集	熱帶植物寫真集	熱帶植物寫真集	最新内外植物誌	夏の野外植物	秋の野外植物
第二册	第二册	第三册	全二册	全二册	全二册	全二册	第一卷	第二卷	第三卷	第一卷	第二卷	第三卷
496	518	124	220	1300	340	83	60	60	64	2005	234	237
四、五〇	四、五〇	一、六〇	一、五〇	五、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇
春陽堂	春陽堂	刊行會	文版堂	弘道閣	大同山書店	アルス	明文堂	明文堂	明文堂	大日本圖書株式會社	三省堂	三省堂
三月	二月二十	五月	九月	四月	六月	五月	三月	三月	九月	十一月	七月	十月
▲第二册に、苔蘚發生實檢記、ニレモミの説、日本産落葉繭標屬の説松の説其他。 ▲第三册は日本國藝史、お正月の植物の話、紅梅、櫻の來歴、桃葉珊瑚其他。 ▲疾病の原因、非傳染性疾病、傳染性疾病、視外生物病、顯花寄生植物、細菌、菌類其他。 ▲藥用植物を平易に書いたもの。 ▲郷土植物の状況を二冊に分けて紹介したもので、上代植物、特に染草に關する化學的研究で、圖版三四。 ▲まわう、かんあふひ、やまごぼう、はなめうが其他の藥用植物の寫真を收め解説を附す。 ▲熱帯植物の開花、結實等を寫真に收め、之をABC順に配列し説明と形態を記述す。 ▲第四卷は、あらかびやごむもどき、アゲト、ダ、きくくわ、ぼく外廿七圖の寫真集。 ▲ABC順に熱帯植物を排列し解説を附せる寫真帖で、第五卷はダンマルじゆ其他。 ▲中等及び初等程度に於ける教科書所載の植物及び内外の植物の圖を收め説明す。 ▲夏の雜草を主として集め、それを原色にて收録し解説せるもの。 ▲秋の野外植物を原色にて收め、之に解説を施せるもの。												

理科學 (植物學・礦物學・航空兵器)

三宅喜孝	岡田喜一	東道太郎	佐賀高等學校教授	青山信雄	第一高等學校教授	坂谷幸六	東京文理科大學教授	藤本義治	日本石油株式會社地質部長	大村一藏	理學博士	渡邊萬次郎	理學博士	渡邊萬次郎	理學博士	資源整備調査局
新地質物概論	地質礦物學概要	地質礦物學概要	地質礦物學概要	石油地質學通論	テルル金銀鑛の研究	金銀鑛	金銀鑛	金銀鑛	金銀鑛	金銀鑛	金銀鑛	金銀鑛	金銀鑛	金銀鑛	金銀鑛	金銀鑛
洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六	洋四六
208	232	169	260	435	286	329	221	278	278	221	329	221	278	278	221	278
二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
三省堂	三省堂	誠文堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂
六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月	六月
▲朝顔の原色圖譜を多數收めて解説し後編に朝顔の栽培法を述べ、圖版索引。 ▲本邦所産の普通海藻類約三〇〇種の原色圖版を收め解説を施す。 ▲ひとへぐさ、あらかび、まこんぶ其他の海藻類を原色版にて收録し解説す。 ▲地質學中、自然地質學に關する部分を書いた書で、風化作用と土壤外十四章。 ▲地質學、礦物學の二學科を併述したもので、地質學、礦物學の二篇より成る。 ▲小學校教材中地質礦物に關する事項はもとより其他の事項をも學術的に配列し記述す。 ▲石油地質學の一般に關する事項を取纏めたもので、石油及び石油類の性質外三篇。 ▲テルル金銀鑛は勿論、テルルの性質、他のテルル化學屬に就いての研究。 ▲金銀鑛の關する常識を述べたもので、金の魅力、金銀の特性、金銀の集中外九篇。 ▲一九三三年度に於て列國の新製せる軍用機非軍用機寫眞八百餘と其要目性能を細説す。 ▲陸軍裝備趨勢、將來戰準備、化學工業の國防準備、各國化學戰施設、毒瓦斯所製原料表。																

理科學 (航空兵器・模型製作・理科參考書)

藤田龍藏	大澤由雄編	模 型 製 作	最新機關車・船舶・航空機寫眞帖	最新航空兵器・模型製作・理科參考書
佐藤清勝	友近晉編	理 科 參 考 書	航空戰の知識	航空兵器の知識
生田乃木次	友近晉編		最新機關車・船舶・航空機寫眞帖	最新航空兵器・模型製作・理科參考書
子供の科學部編	友近晉編		最新機關車・船舶・航空機寫眞帖	最新航空兵器・模型製作・理科參考書
編者部編	友近晉編		最新機關車・船舶・航空機寫眞帖	最新航空兵器・模型製作・理科參考書
編者部編	友近晉編		最新機關車・船舶・航空機寫眞帖	最新航空兵器・模型製作・理科參考書
藤田龍藏	友近晉編	物理學問題集	物理學問題集	物理學問題集
友近晉編	友近晉編	物理學問題集	物理學問題集	物理學問題集
友近晉編	友近晉編	物理學問題集	物理學問題集	物理學問題集
友近晉編	友近晉編	物理學問題集	物理學問題集	物理學問題集
友近晉編	友近晉編	物理學問題集	物理學問題集	物理學問題集
三省堂編輯所編	友近晉編	物理學問題集	物理學問題集	物理學問題集
松野木俊雄	友近晉編	物理學問題集	物理學問題集	物理學問題集

理科學 (理科參考書)

河野通匡	橋本吉郎	友友會編	友友會編	友友會編	友友會編	川島源司	川島源司	川島源司	小山寅寅	小山寅寅	高田德佐	中等理學會編	中等理學會編	中等理學會編	中等理學會編	一瀬雷信
修練物理學精義	最近物理學の根柢	大學入試解答(1)	大學入試解答(2)	大學入試解答(3)	大學入試解答(4)	物理學の克服	物理學の克服	物理學の克服	新制化學問題集	新制化學問題集	甲表乙物	新化學問題詳解	新化學問題詳解	新化學問題詳解	新化學問題詳解	高等化學綱要並問題
洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判	洋四六布判
268	116	166	440	417	210	123	580	461	334	398	190					
一、二〇〇	一、八〇〇	一、六〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	八〇〇	六〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇					
修文館	研修書院	友友會	友友會	三省堂	三省堂	三省堂	川村書店	川村書店	川村書店	慶文堂	光世館	光世館	光世館	光世館	裳華房	
五月七	五月二	五月一	五月六	五月六	五月四	五月三	五月十	五月二	五月二	五月一	五月十					
▲新制中等教科としての物理學に對し、その整理法と修練法との兩方向を指示す。新制版抄錄整理せる受驗準備書。	▲昭和七八年度各帝大醫、工、理、農の諸學部、官公立醫科大學其他の入試問題解答集	▲昭和七八年度各帝大醫、工、理、農の諸學部其他の化學入試問題に解答を施せる書。	▲一般物理、物理の二部に内容を分けて説明せる物理の受驗學習書。	▲最近制定された新要目によつて材料を配列し、最近の受驗學習書。	▲最近三十ヶ年の入試問題中より廣汎圍に互る問題を集め解答を附す。	▲過去三十個年の入試問題より精選し、解答をなせる化學の受驗參考書。	▲新要目に準據した物理學の中學生の參考書。	▲教科書中の問題及び其他の重要問題を収録して解答を施せるもの。	▲中學二三年用の化學豫習用、復習用及び受驗問題として編纂せるもの。	▲中等學校教科書中の問題全部及び其他の重要問題を網羅し解答す。	▲有機化學を解説し、問題を附したもので、脂肪族化合物、環式化合物の二部。					

著者	題名	種別	冊数	頁数	発行所	発行日	備考
眞作新六	等新化學講義	洋四六	布判	495	東京開成館	月九	▲中等程度の化学参考書で、非金属元素とその化合物外一篇。その化学の要点を述べたもの。
戸川正長	化学試験問題の研究	洋四六	製判	197	東京開成館	月一	▲各種専門学校入學試験問題を批判し、その解法の要点を述べたもの。
戸川正智	化学重要問題及解答	洋四六	製判	100	弘文社	月一十	▲高等学校、専門学校の化学の入試問題を収め、之に解答を施す。
吉田編書所出	式記入 化学	洋三六	布判	148	吉田書店	月三	▲記入欄を設けた化学の参考書で上巻は、理論、無機非金属元素の二章より成る。
吉田編書所出	式記入 化学	洋三六	布判	159	吉田書店	月三	▲下巻は、無機金属化合物、有機化合物の二章で、上部に記入欄を設く。
山川如英	参考分 類 化 学	上四六	製判	299	學朋社	月一十	▲中等学校の諸教科書の殆ど全ての項目を説明せる書で、非金属、金属、有機化合物。
木原市郎	最も理解 化学要點の研究	洋四六	布判	328	受験研究社	月三	▲最近の傾向を集め、方程式及び理論的部分な説き答案式にせる化学の参考書。
石川光春	生物學問題集	洋四六	布判	229	内田老鶴圃	月四	▲各大學入學試験に於ける生物學の問題を集めた書で、生物の特性に關する問題其他。
三省堂編輯所編	動物學	洋三六	布判	444	三省堂	月一十	▲高等諸学校の入學試験及び専檢、小學校教員檢定試験、文檢受験者等の動物學参考書。
吉田編書所出	式記入 動物	洋三六	布判	183	吉田書店	月三	▲記入欄を設けた動物學の参考書で、動物の分類、脊椎動物、節足動物、軟體動物其他。
吉田編書所出	式記入 動物	洋三六	布判	155	三省堂	月二十	▲植物の分類、植物學通説、植物の利用の三編より成る記入式植物學の参考書。
三省堂編輯所編	植物の總仕上げ	洋三六	布判	158	三省堂	月二十	▲中等学校の動物に就て解説せるもので、過去の入試問題をも記入す。

著者	題名	種別	冊数	頁数	発行所	発行日	備考
中川純吉	最も理解 動物學要點の研究	洋三六	布判	328	受験研究社	月四	▲動物學の要点を述べた参考書で、脊椎動物節足動物、軟體動物、棘皮動物外五篇。
杉崎浪江	最も理解 植物學要點の研究	洋三六	布判	218	受験研究社	月三	▲現代中等植物學の要点を述べ、入試問題及び練習問題を掲げた植物學の参考書。
水野彌作	完全動物學	洋三六	布判	390	大修館	月二十	▲動物學の基礎的知識を講義し、入試問題其他の重要問題を附す。
山家鐵五郎	一、二年生の植物學	洋四六	布判	359	大修館	月六	▲教科書を準據として中等諸學校一、二年生の爲め植物學を平易に説いた参考書。
山家鐵五郎	植物學精義	洋四六	布判	558	大修館	月五	▲普通顯花植物の觀察、植物の分類、物質の形態其他にて述べた植物學の講義書。
三省堂編輯所編	植物學の鑛物	洋三六	布判	299	三省堂	月九	▲鑛物總論、造岩鑛物、火成岩其他にて鑛物學の一般を説明せる参考書。
三省堂編輯所編	新制學生の生理衛生	洋三六	布判	558	三省堂	月九	▲中等程度の生理衛生教科書を基礎として述べた参考書で、骨格系統、筋肉系統其他。
小野竹三郎	最も理解 生理衛生要點の研究	洋三六	布判	297	受験研究社	月三	▲最新制度の生理衛生教科書に基づき要點を網羅し答案様式にて記述せる参考書。
吉田編書所出	式記入 生理衛生	洋三六	布判	179	吉田書店	月三	▲骨格系、筋肉系、消化系、循環系外五章より成る生理衛生の参考書で記入欄を設く。

明治文學研究

殘部愈僅少

(上卷) 混沌期より胎生期まで
(下卷) 興隆期より自然主義まで

今日の文學を正當に理解する爲には我々は何よりも先づ明治文學の研究を怠ることは出来ない。何故なら今日の文學は、我が古典文學に發生してゐるといふよりも、寧ろ明治時代の新興文學をその母體として生長し發展して來てゐるからである。本書は、曩に早稻田文學の特別號として發行して江湖の歡迎を受けた「明治文學號」全七巻の合本で、執筆者は當代文壇の諸權威を網羅し總頁數一二〇〇頁に及ぶところの一大文獻である。今や殘部愈僅少となつた。買切れれば永久に絶版とする。日本文學研究家よ！速かに注文を發せられよ。

早稻田文學社編 萬葉・紀記研究 菊判六〇〇頁 定價二・五〇
 早稻田文學社編 近松・南北・默阿彌 菊判六〇〇頁 定價二・五〇
 早稻田文學社編 芭蕉・一茶研究 品切絶版 菊判六〇〇頁 定價二・五〇

早稻田文學社編

(全二冊)
 各冊菊判六百頁
 函入布裝美本
 特價各二圓五十錢
 送料各二十錢

六四〇

東 京 堂

東 京 神 田 錦 町 東 京 神 田 錦 町 東 京 神 田 錦 町
 東 京 神 田 錦 町 東 京 神 田 錦 町 東 京 神 田 錦 町
 東 京 神 田 錦 町 東 京 神 田 錦 町 東 京 神 田 錦 町

一五、數 學

著 者	書 名	装 形	釘 數	頁 數	定 價	發 行 所	月 行 發	內 容 大 意
一カ戸直藏著	數 學 史 講 義	並函菊	製入判	675	二、五〇	中 文 館	月一十	▲カジヨリの數學史を譯せるもので、古代の數學、中世紀、近世歐洲の數學外一篇。
小田信夫著	數 の 起 原 と 發 達	洋函四六	布入判	254	一、八〇	寶 文 館	月 六	▲數一方、數域、數詞の起原外四章より成るコナン博士の著の譯。
藤原安治郎著	趣味の日本算術歴史物語	洋函四六	布入判	276	一、五〇	同 文 社	月 五	▲我國の古代より江戸時代に至る所謂和算の歴史を平易に述べた書。
カールマルクス著 山中幸三譯	微分學の基礎と辨證法	洋函菊	布入判	185	一、八〇	橋 書 店	月 七	▲マルクスの數學に關する手記を收めたもので、ヤノフスカの解説を併載。
田中館愛橘	メートル法の歴史と現在の問題	並菊	製判	28	二〇	岩 波 書 店	月 六	▲メートル法の由來と本旨を説けるもので、メートル法の起り、日の尺其他。
井出彌門	續 數 學 讀 本	洋四六	布判	205	一、三〇	古 今 書 院	月二十	▲ピラミッド、相似形、函數關係等より微分積分までの數學を説明す。
太田榮三編	初等數學基本と練習	並四六	製判	60	三〇	有 精 堂	月 六	▲初等數學の基本事項を説き、基本問題を掲げ解答を附す。

數學(數學一般・高等數學)

六四一

佐久武雄	藤原松三郎	今野武雄	高須鶴三郎	加藤平左工門	渡邊秀雄	森本清吾	野村武衛	桑田敬治	福田武雄	後藤宇太郎	後藤宇太郎	伊藤徳之助
微積分(1)	初等微分幾何學	補習微分幾何學	高等代數	高等平面三角法	高等解析幾何學	高等數學總括	工業用高等數學教科書	工業用高等數學教科書	工業用高等數學教科書	工業用高等數學教科書	工業用高等數學教科書	應用テンソル解析
洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判
667	256	222	290	241	391	215	140	501	13	32	334	239
八〇	八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
岩波書店	岩波書店	岩波書店	裳華房	共立社	高岡本店	培風館	淀屋書店	山海堂	鐵道技術社	鐵道技術社	鐵道技術社	裳華房
月二	月十	月二十	月一	月七	月七	月十	月一	月六	月七	月七	月七	月七
▲代數函数より超越函数に至る順序に従つて詳述した書で、極限値外九章。	▲基本概念、微分、積分、二變数の函数の四章にて説述せる微分積分の第一巻。	▲ユークリッド空間に於ける微分幾何學即ち古典微分幾何學の概要を平易簡單に説述す。	▲最近十數年間に於ける大學入試問題に解答して微分幾何學を説明す。	▲高等代數の講義で、有理函数、確率、實係數方程式外十一章。	▲高等學校程度の平面三角法を述べたもので角及び角の測り方、三角函数外七章。	▲平面解析幾何學、立體解析幾何學の二篇にて解説す。	▲高等學校程度の數學を總括し最近五箇年の官立大學の入試問題を収め解説す。	▲座標、函数、方程式と軌跡、幾何學問題、極限、微分係數、微分係數及び微分の應用外五章。	▲數値計算から微積分に至るまで數學の各部門に就て基礎的理論と工業上の應用を講述す。	▲車輛重心の畫く曲線の曲線半径との關係を求めて説述したものである。	▲列車の牽引力をカント算式の中に取入れたもの。	▲量子力學に於ける行列式、行列及び無限行列を論述す。

吉田書店	大貫理喜之助	室由之編	東京開編	宮田正彦	石上録之助	豊崎鐵彌	清水清	田一鳥義造	坂元左馬太	山崎喜重郎	伊藤徳之助	
式入算術	算術解法根抵表	算術問題精選	算術問題精選	算術解法の研究	算術問題の正しき解き方	算術問題の正しき解き方	算術問題の正しき解き方	算術問題の正しき解き方	算術問題の正しき解き方	算術問題の正しき解き方	算術問題の正しき解き方	
洋三六判	洋三六判	洋三六判	洋三六判	洋三六判	洋三六判	洋三六判	洋三六判	洋三六判	洋三六判	洋三六判	洋三六判	
218	32	192	308	374	482	438	520	144	334	157	239	
四〇	四〇	六〇	六〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
吉田書店	開隆堂	正文館	東京開	西東社	岡村書店	駿々堂	高岡本店	信友堂	鐵道圖書局	鐵道圖書局	裳華房	
月三	月九	月一十	月五	月十	月二	月五	月四	月十	月一十	月一十	月七	
▲教科書の教材及び入試問題に解答を施し上部に記入欄を設けたる算術参考書。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。	▲算術の重要問題に着眼点及び解答を示し、最近に於ける各種試験問題を収め解説す。

(9-4)

青戸一 山	石橋梅吉	石上録之助	藤田直彌	竹内乙彦	宮本軍次	吉岡斗松	門田傳三	仲谷正巳	白岡斗朝	
初めて算術の最も力をつく かり算術と代數	珠算教本	珠算及暗算教科書	新式珠算法講義	商店珠算	最新珠算の詳解	代數の精粹	代數の研究	代數六十日	代數精說	
並四六 製判	上四六 製入判	洋編 布判	洋編 布判	上四六 製判	上四六 製入判	並四六 製判	並四六 製判	洋四六 布判	洋四六 布判	
338	258	198	165	142	352	430	150	250	596	
一、〇〇 八〇〇	一、〇〇 〇〇〇	一、〇〇 三〇〇	一、〇〇 〇〇〇	一、〇〇 六〇〇	一、〇〇 〇〇〇	一、〇〇 八〇〇	一、〇〇 八〇〇	一、〇〇 八〇〇	一、〇〇 一、八〇〇	
三精堂	文進堂	珠算學院	帝國事務	淡海堂	同文館	文盛堂	外語研究社	三省堂	三省堂	
月二	月一十	月四	月一	月一	月九	月一	月二	月二十	月一十	
▲最も難解視せる算術及代數問題を總ゆる教科書より網羅して解説せる書。	▲四則の基本例題を圖示し解説を加へ、簡便算法、暗算法を挿入し、練習問題を附す。	▲總論、加法減法、乗法、除法、乗除別法、暗算、練習問題。	▲珠算の初歩より應用までを數多の問題を設け、新式速算法、簡便法等を加味し併述す。	▲珠算の方法を述べた書で、算盤と其用ひ方加法、九々いらすの割算法外十篇。	▲商店員のため短期間に珠算が上達するやう適當な算法を圖解寫眞等を挿入して解説す。	▲代數の二次方程式より約數倍數までを解答或は解緒又は解方の途に就き説く。	▲類別により基礎事項を記載し各種範例を示し代數の重要問題難問題を網羅し解答す。	▲下巻は、不等式、方程式理論、ぐらふ及び極大極小、比及び比例、級數外三篇。	▲一日に一時間或は一時間半の學習により六日間代數を完成するやうに説ける参考書	▲代表的問題に着眼、解、注意を示し、類似問題を挙げ、練習問題を載せ解答を附す。

數學(算術・珠算・代數)

六四四

(9-5)

青戸一 山	山田常憲	山田常憲	笹部貞市郎	笹部貞市郎	帝國數學會編	帝國數學會編	中西榮作	中西榮作	東京開成館編輯所	三省堂編輯所編	三省堂編輯所編	
代數基本と練習	代數解法自由	代數解法自由	女學生の代數學	代數學根抵500題	代數の問題	代數の問題	中等補習代數學	中等補習代數學	級上代數問題集	新代數學問題集	短期代數の總仕上げ	
並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	上四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	並四六 製判	洋四六 布判	並四六 製判	上三六 製判	
62	510	319	323	329	68	110	87	232	145	147	147	
二〇〇	一、〇〇 〇〇〇	一、〇〇 八〇〇	一、〇〇 八〇〇	一、〇〇 八〇〇	二、三〇 二五〇	三、五〇 四〇〇	四、〇〇 六〇〇	一、〇〇 八〇〇	四、五〇 六〇〇	四、三〇 四〇〇	四、〇〇 四〇〇	
有精堂	芳文堂	芳文堂	培風館	培風館	西東社	西東社	厚生閣	厚生閣	東京開成館	三省堂	三省堂	
月六	月二	月二	月九	月二十	月六	月六	月六	月一	月二	月九	月一	
▲代數學に於ける基本事項及び問題を掲げ解答を施す。	▲二年の代數を教科書傍用にてわかりやすく説いた参考書。	▲二三年生の代數解法を學習本位に平易に述べた参考書。	▲學習本位に一年の代數の解法を平易に述べた参考書。	▲女學生の爲め代數學の初歩から全般に亘り學習の方法と問題の解き方を講述す。	▲代數の根抵となる重要問題五百題を選定し解法を説き、模擬試験問題を附す。	▲初級用の代數問題を収め、主體問題根抵事項及び補充問題の三つに分け解説す。	▲中等學校中級及び上級生の入學準備又は補習用とし、高等學校入試問題を収録し解説す。	▲中等補習用の代數學問題及び本年度の入試問題其他をも収めたもので、解答を附す。	▲代表的練習問題を網羅し解を施せる代數學の参考書。	▲高等學校入學準備に充てるため編纂された教科書傍用の問題集。	▲中學一三三年度の代數學問題を集めたもので、卷末に答を附す。	▲入試問題中より代表的なる問題を選び解き方を示し代數の短期完成を目標とせる参考書

數學(代數)

六四五

松室隆光	式現代數學問題選集	並四六製入判	163	六〇	歐文社	月四	▲因數分解より複利及年金までの代數問題を掲げたもの。
竺賢誠	最も理解しやすい受験代數要點の研究	洋三六布判	199	六五	受験研究社	月五	▲各種の問題を掲げて解答し代數の要點を説ける受験参考書で、數及式、方程式其他。
中等教育研究会編	受験代數問題練習法詳解	上四六製入判	312	一〇三	目黒書店	月二十	▲受験者に對し、自己の力を測定、補充、鍛錬する際の資料を掲げ問題練習法を説く。
紫村次雄	受明和時代數學	並四六製判	163	四〇	有朋堂	月一	▲昭和時代に適應する問題を撰擇し、その根拠事項を明示せる代數學の受験参考書。
古田信夫	幾何融合問題の研究	洋四六布判	208	四七	山海堂	月二十	▲重要なる代數、幾何の融合を中心に幾多の入試問題を挿入して解説す。
上總常雄	幾何學自由	洋四六布判	576	一、二八〇	培風館	月一	▲幾何學の標準的重要問題を網羅し、それに嚴正明確なる模範解答を附せる受験参考書。
瀧村良一	初等數學解析幾何の講義	洋四六布判	512	三、五〇	太陽堂	月十	▲初等數學の初歩から説いて解析幾何を講義せるもので、練習問題及び解答を附す。
中島秀次郎	幾何學初歩	上四六製判	322	一〇九	岡村書店	月六	▲幾何を初めて學ぶ人にもよくわかるやう根本定理、重要問題の解き方を説く。
受驗數學研究会	幾何學最重點の解き方	並四六製判	455	一、〇〇	研修書院	月五	▲幾何學に於て最も重要な點の解き方を示せる受験参考書。
青山勇	幾何早わかり	並四六製判	480	一、〇〇	三精堂	月十	▲平面幾何の種々の問題に考へ方、解き方を示せる参考書。
青山勇	早わかり一・二・三年の幾何	並四六製判	244	八〇	三精堂	月四	▲中學一・二・三年程度の幾何を教科書中より適當な問題を集め考へ方證明等を施す。
青山勇	教科書傍用版 早わかり三・四年の幾何と三角	並四六製判	480	八〇	三精堂	月六	▲種々な教科書から適當な問題を収め易より難に定理を基礎に分類解説す。

根本千代次	受驗のみこめる幾何學	上四六製判	361	一、〇六〇	學朋社	月九	▲幾何學を平易に説ける参考書で、緒論、角三角形、平行線、平行四邊形其他。
東京開成館編輯所	幾何問題集	洋四六布判	132	六四	東京開成館	月二十	▲高等學校入學準備に充てるため編纂された教科書傍用の問題集。
三省堂編輯所編	受驗平面幾何學問題集	並四六製判	140	二、五	三省堂	月六	▲重要問題五百題を定理の順に従つて六十項に分類せる受験準備書。
三省堂編輯所編	新平面幾何學問題集	並四六製判	184	二、五	三省堂	月六	▲中學二・三・四年の教科書傍用として編纂したものである。
根本千代次	受驗のみこめる立體幾何學	上四六製判	122	四〇	學朋社	月二	▲平面及び直線、多面體、曲面體の三編にて立體幾何を平易に述べた参考書。
中島西榮	中等平面幾何學	洋四六布判	224	一、四〇	厚生閣	月九	▲中等程度の平面幾何學を例を擧げて解説し練習問題には解答方針を附す。
室由之	學位習平面幾何解法自由	並四六製判	340	一、〇〇	芳文堂	月四	▲現行の有名な教科書中の問題を悉く收載し問題毎に解説をなす。
中島西榮	中等平面幾何學問題集	並四六製判	73	四〇	厚生閣	月九	▲中等學校程度の平面幾何學の問題を集めたもの。
吉田斗松	式記入幾何新指導	洋三六布判	460	四〇	吉田書店	月三	▲教科書の教材及び入試問題に解答をなせる平面幾何學の参考書で、上部に記入欄を設ける。
三省堂編輯所編	完結期平面幾何の總仕上げ	上三六製判	172	六〇	三省堂	月一	▲受験本位を目標とし幾何の問題を厳選し、方針又は指導の欄を設けて解法を要點を示す。
室由之	短期的幾何代數融合問題急所の整理	洋四六布判	149	六〇	三省堂	月二十	▲過去の入試問題中より問題を選定し、それに註解を施せる受験準備書。
佐久間豊謙	試験に幾何代數融合問題の正しき解き方	並四六製判	412	一、〇〇	大修館	月一	▲幾何代數の融合問題解法を述べたもので、純計算問題、證明問題外十一章。

數學(幾何・三角・數學問題集・數學要覽・數表)

六四八

帝國數學會編 丁字式 女子幾何問題新選	幾何學根抵500題	幾何問題集 註解 基本篇	三角 三 三 三	至文堂編輯部編	長門屋書房編 數學問題解義集	宮田正彦編 補習 算術標準問題集	森本清吾力 袖 數學公式要覽	太陽堂編輯部編 數學ハンドブック	鐵道圖書局 メートル法 換算早見表	豊澤昇 計算尺の 智識と練習
並四六判 87	並四六判 320	並四六判 151	並四六判 352	並四六判 73	並四六判 112	並四六判 217	並四六判 306	並四六判 195	並四六判 120	
三 西東社	一、八〇 培風館	二、五〇 至文堂	一、四〇 大修館	二、五〇 長門屋書房	三、〇〇 西東社	一、二〇 山海堂	二、〇〇 太陽堂	一、三〇 鐵道圖書局	二、九〇 淀屋書店	
月九	月一十	月六	月六	月九	月六	月十	月十	月十	月九	
▲最近數年間の入試問題其他の重要問題を丁字式に配列し根抵事項其他を施す。	▲幾何學問題中より重要なる根抵五百題を選定し、之に解法を添へ答案作製の要諦を示す。	▲重要な基本定理に註解をなし、基本問題を收め卷末に註解を附す。	▲三角法に於ける重要問題及び難問題を掲げその正しき解き方を説く。	▲昭和九年度各官立大學入試問題及五十二回中等教員檢定試験に於ける數學問題を解答す。	▲最近までの各種學校の入試問題を材料として之に基本問題を加へ解答を附せる問題集。	▲算術、代數、幾何學及三角法、平面解析幾何學、微分學其他の數學の公式を收む。	▲代數、幾何、微分其他の初等部門に於ける重要事項及び四桁の對數其他の數を表記す。	▲メートル法につき日常使用する計算單位の換算を徹底的單純化して表化せるもの。	▲對數及計算尺、計算尺の構造、乘法、除法混合乗除法、特殊乗除法外六章。	

數學(圖學・用器畫)

六四九

圖學・用器畫

理・農學博士 松村松年著

蟲の社會生活

定價一・八〇 送料一四 東京堂

東京高等工藝學校助教授 馬場秋次郎	圖學通論	四六判 布入判 415	五、八〇 三、三〇 二、五〇	太陽堂	月九	▲畫法を説き證明を附して圖學を解説したもので、緒論、平面圖學、立體圖學外二編。
宮本幸恵	新用器畫法演習	四六判 布入判 245	二、五〇 一、四〇	山海堂	月十	▲代表的問題及び應用問題八百題を集録し、之に解答圖を附し解説す。

虫の社會生活

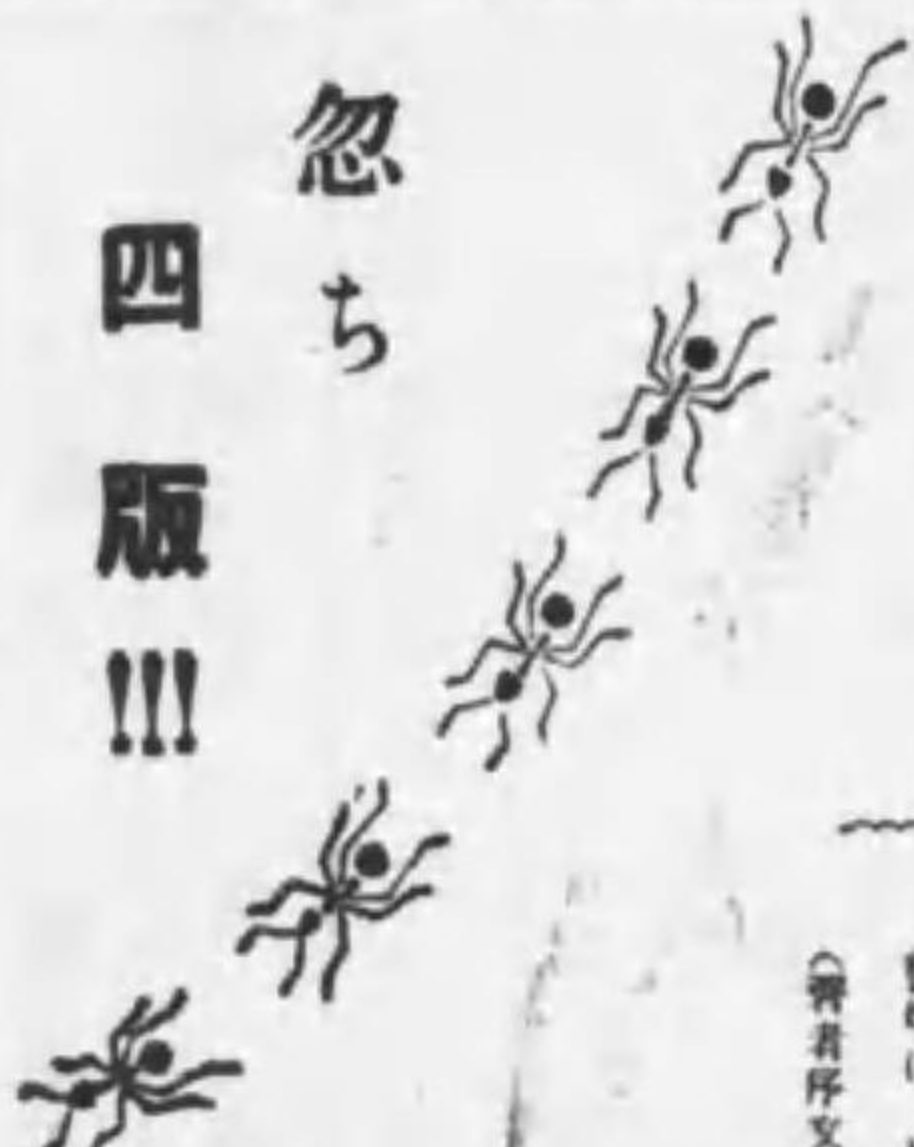
北島博士 農學博士

松村松年著

四六制上製 全一冊八十頁
挿繪數十種 送料十圓

讀書週間
選定圖書
として推薦
せらるる

忽ち
四版!!!



蟻や、白蟻や、蜂の巢は、正に數學者を驚かし建築家を驚嘆せしめる。巴里のエッフェル塔は其高さ一千呎で、其建築家の百八十七倍に當るが、白蟻の一丈六呎の塔は、正に其建築家の千倍に當る！

社會生活をなす昆蟲、殊に蟻の社會には相互扶助その他、色々の善徳が行はれてゐる代りに、無能なる蟻や白蟻の蟻蟻に對しては何等の殺害なく犠牲的の犠牲が加へられてゐる。社會の秩序を亂す蟻、例へば、蟻へたる仲間には食物を與へない、様な獲利者があれば、他の蟻によりて何の容赦なく殺されて仕舞ふ。蟻の一匹二匹の死はその社會の消長に何等の關係はなく、これが爲めに人道や慈善問題は蟻の社會にては餘り考慮せられてゐない。否、彼等は、世の蟻の爲めに活動する生きたロボットだ。其の生徳の能力を有するものは女王と王の外にはない。

(著者序文の一節)

- ◆ 蟲界の驚異 松村松年著
- ◆ 面白き蟲界の教材 松村松年著
- ◆ 有史以前の人類 成島重龍郎著

成島重龍郎著
ド・モルガン著
田重龍郎著
松村松年著
松村松年著
成島重龍郎著
成島重龍郎著
成島重龍郎著
成島重龍郎著
成島重龍郎著
成島重龍郎著

東京 東町 堂 七 番 二

一六、醫學・衛生

(9-1)

著者	書名	装釘	頁數	定價	發行所	月行發	内容大意
古屋芳雄	醫學統計法の理論と其應用	洋装	230	三、八〇	金原商店	九月	▲總論にて醫學統計的の一般的な方法論を説き各論にてこれの應用を説く。
磯部幸一	醫學の輪廓	洋装	185	一、八〇	金原商店	二月	▲初めて醫學を學ぶ人々に醫學用語及び醫學の輪廓を説いた書。
山田平太	日本齒科醫學史	上歯病 洋装	172	三、〇〇	齒苑社	四月	▲日本齒科醫學の發達を系統的に説述。
長尾藻城	醫學	並菊 洋装	250	一、七〇	鳳鳴堂	十月	▲今醫の觀察、古醫の觀察、綜合的觀察、吾人の醫學と醫學者に對する希望其他。
藤田富枝	醫學語原	布四六 洋装	700	五、〇〇	南江堂	十一月	▲醫學語の大部分を含めるギリシヤ、ラテン兩語に就き其語原を平易に解いたもの。
五十嵐省吾	獨・羅醫學辭典	洋装	383	一、三〇	南山堂	十月	▲醫學術語及關係語の總てを網羅し日本語約八〇〇〇を五十音順に配列し日本語を並列す。
南山堂編輯部	文病歴史文選	洋四六 洋装	336	三、五〇	南山堂	五月	▲日常遭遇す可き疾患を網羅しアルファベツト順に配列し既往症現在症等其他を記述。
大崎仲丸	往診ポケット型體溫表	洋装	100	八〇	金原商店	五月	▲從來の大型體溫表の不便を鑑み考案された縦三寸二分横五寸三分の小型表。

醫學・衛生(醫學・醫事一般)

六五一

六五〇

(9-4)

醫學博士 佐々木茂雄	醫學博士 緒方知三郎	醫學博士 佐藤清	醫學博士 緒方知三郎	醫學博士 緒方知三郎	醫學博士 緒方知三郎	醫學博士 緒方知三郎
近世細菌・病理・組織・營養・法醫學・犯罪科學	病理組織顯微鏡作り方 手ほどき	近世病理組織學檢査術式	病理學	病理學	病理學	病理學
布編 裝判 120	洋編 布珍 151	洋編 布判 307	上編三 製入判 528	上編三 製入判 544	洋編 布珍 304	洋編 裝判 120
二、三〇	一、八〇	一、〇〇	八、六〇	八、九〇	三、〇〇	二、三〇
南江堂	南山堂	南山堂	南山堂	南山堂	南山堂	南江堂
月一	月一	月一	月一	月一	月一	月一
▲嫌氣性細菌の發育要約、培養、製法、檢査分類、分離、性状其他。	▲病理學總論の中卷。	▲著者の創意により在來の類書に見る能はざる嶄新獨特の項目に分類してある。	▲緒言、食物の成分、ビタミン概説、營養學の應用、煉乳、パンの改良、蕎麥の製品。	▲食養篇、調理篇に二分して營養食と治病食の理論及び調理法を説く。	▲玄米食の効能と玄米炊きの壓力釜の性能を説いた書で、玄米食、自然物と加工物外二章の食餌療法(村山浩一)外廿八篇。	▲胃腸の食餌療法(村山浩一)外廿八篇。

醫學・衛生(細菌・病理・組織・營養・法醫學・犯罪科學)

六五四

(9-5)

醫學博士 乙葉辰三	文學士 山口雄治	文學士 中村古峽	京都帝國大學教授 小南又一郎	醫學博士 三田定則	醫學博士 石尾貞朝	醫學博士 宮崎三郎	醫學博士 栗原愛塔	醫學博士 家庭醫學會編	醫學博士 高本隆勝	醫學博士 山口壽	醫學博士 寺田文次郎
理化化學鑑識法	犯罪搜查法	變態心理と犯罪	實例犯罪心理講話 一、並に犯人の心理要領	法醫學	常用新藥と處方	藥の知識	對症容態と藥物	藥草栽培と藥草療法	新藥合成化學	臨床藥理學	學生の藥理學
上編四 製入判 364	上編四 製入判 406	上編四 製入判 506	洋編 布入判 231	洋編 布判 515	洋編 布入判 682	洋編 布入判 278	洋編 布判 496	洋編 布入判 147	洋編 布入判 370	洋編 布入判 622	洋編 布珍 244
一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、〇〇	五、三〇	三、五〇	六、〇〇	二、〇〇	四、〇〇	五、〇〇	五、五〇	二、五〇
書刊行會學	書刊行會學	書刊行會學	人文書院	金原商店	內田老鶴園	非凡閣	皇漢藥堂	崇文堂	前野書店	金原商店	金原商店
月一十	月二十	月二十	月四	月四	月二十	月五	月六	月十	月三	月三	月四
▲理化化學鑑識法(乙葉辰三)刑事寫眞賞(金澤重威)指紋法(山口信男)の三篇。	▲智能的犯罪搜查法(有松清治)強力的犯罪搜查法(出口雄康)の二篇。	▲夢、夢遊病、憑靈、狐靈、神隱し、催眠術各種の迷信等と犯罪との關係を述ぶ。	▲犯罪心理全般に亘つて實例を擧げて説述せる書で、緒論、總論、各論に分つ。	▲純法醫學に關することのみを扱つて説いた書。	▲解熱藥、結核藥、ロイマチス及神經痛藥、鎮靜催眠劑、止血劑、健胃劑、脚氣劑其他。	▲藥とはどんなものか、麻酔劑、解熱劑、健胃劑、瀉下劑、鎮咳劑と被痰劑外十二篇。	▲病氣を如何に追ひ拂ふべきかを敘述したもので、容態・症候・病氣發見の方式其他。	▲藥草による對症療法及び其の栽培に就て述べた書で、療法篇、栽培篇の二篇。	▲醫學藥學者製藥研究者の教科參考書としての好適書。	▲全藥物の構造式、主作用、副作用、體內に於ける分解其他を説述。	▲圖、表、處方學、臨牀處方例を添へて醫學生の爲平易に記述せられしもの。

醫學・衛生(法醫學・犯罪科學・藥物學・藥草)

六五五

(9-6)

河村敬吉	注射藥便覽	布三 裝判	1600	一、九〇〇	南山堂	月一十	▲内外製品十數百種を網羅せる便覽。
入澤達吉	內科讀本	並判	393	一、五〇〇	日本評論社	月九	▲內科學の概念を通俗的に記述した書で、傳染病、消化器疾患、呼吸器疾患外八編。
木下正中	産科婦人科讀本	並判	311	一、三〇〇	日本評論社	月九	▲産婦人科に就ての醫學を平易に述べた書で女子の性器、月經、妊娠、出産、婦人病其他
保坂考雄	婦人科夜話	布四 裝入判	302	一、八〇〇	東學社	月四	▲一般女性に對して醫學的批判と指導とを述べたもので、女性素描、女性診斷外二篇。
稻田内科同窓會編	稻田教授臨牀講義集	洋編	291	三、〇〇〇	金原商店	月九	▲東京帝國大學教授稻田龍吉博士の講義並に臨牀講義等數十編を蒐集編纂せるもの。
稻田内科同窓會編	稻田教授講義集	洋編	672	六、五〇〇	金原商店	月一十	▲東京帝國大學教授稻田龍吉博士の講義並に臨牀講義等三十編を蒐集編纂せるもの。
坂本恒雄	內科	洋編 三 布入判	793	一、〇〇〇	南山堂	月九	▲最近の學說を網羅折衷し批判的態度を以て執筆す、循環器疾患・神経系疾患等。
坂本恒雄	內科	洋編 三 布入判	580	七、五〇〇	南山堂	月三	▲中巻は傳染病、血液疾患、脾臟疾患、泌尿器疾患其他に就ての説述。
坂本恒雄	內科	洋編 三 布入判	820	一、〇〇〇	南山堂	月五	▲下巻は消化器、寄生蟲、呼吸器、運動器其他物理的原因による諸疾患其他數項を説く。
柴田經一郎	內科新治療の實際	洋編 三 布入判	448	四、五〇〇	克誠堂	月一十	▲第一篇急性傳染病第二篇循環器病第三編呼吸器病第四篇消化器病。
西川義方	內科診療の實際	革函 三 裝入判	996	六、五〇〇	南山堂	月一十	▲內科診療の實際に必要な知識と其進歩の大勢を捉へ更に之を採擇壓縮せる書。

臨床醫學

(9-7)

山田詩郎	內科醫治療の仕方	革函 三 裝判	476	三、五〇〇	金原商店	月七	▲過去に於ける歴史的治療法を除外して現行法を述べたもの。
宮澤孝	喉頭結核	洋編 三 布判	211	一、三〇〇	南江堂	月五	▲日常種々類ひ訴へて来る患者に對する醫者の心構に就て身自らの覺書を整理したもの。
中村登	自律神經系	洋編 三 布判	119	二、〇〇〇	金原商店	月一十	▲不治の病症と信ぜられし本病の原因より經過診斷治療後に互に説述。
吳建	消化器系レントゲン診斷學	洋編 三 布判	560	二、七〇〇	克誠堂	月六	▲ゲレンツクペイト誌上に連載されしもので自律神經系に就ての説述。
小川重一編	消化器系レントゲン診斷學	布四 六 裝判	277	五、〇〇〇	南江堂	月一	▲内容は醫學新報に連載されてゐたもので難解の該診斷學に就ての論述。
外浪十剛氏一	れんとげん學	洋編 三 布入判	935	一、五〇〇	南山堂	月一十	▲レ線診療界の發達をとらえ専門大家十一氏の筆に成るレントゲン學書。
伊藤嘉三太郎	局所免疫法	洋編 三 布判	140	二、〇〇〇	金原商店	月七	▲消化器病々原菌のエンテロトロピズム、組織免疫、アンチツイルス論に就ての論述。
中西政周	骨格筋の調節神經司配	洋編 六 布判	70	一、五〇〇	金原商店	月八	▲骨格筋の緊張と調節神經司配に就ての論述。
松岡文七	各科冠名症候集	洋編 三 布判	69	一、〇〇〇	金原商店	月一十	▲臨牀上必要な冠名症候のみを蒐集所載し各症候別に冠名術語を記載したるもの。
茂木藏之助	茂木外科各論	洋編 三 布入判	562	八、〇〇〇	南山堂	月六	▲邦語及原語の混合様式になる外科總論。
茂木藏之助	茂木外科各論	洋編 三 布入判	598	八、〇〇〇	南山堂	月五	▲茂木外科各論の上巻。
茂木藏之助	茂木外科各論	洋編 三 布入判	573	八、〇〇〇	南山堂	月一	▲茂木外科各論の中巻。
日野一郎	手術前準備及後療法	洋編 三 布判	330	五、〇〇〇	南山堂	月一	▲最も緊要なる前準備及後療法に就ての詳述

高崎博士	竹村博士	前田博士	原田博士	木下博士	長谷川博士	白石博士	立石博士	荻野博士	德永博士	岩崎博士	廣田博士	土肥博士	遠山博士	菅沼博士	山本博士				
佐太郎	文祥	正文	隆	正敏	正敏	正七郎	久作	久作	豊治	豊治	康	慶三	慶三	定男	守部				
示説小兒科	圖說小外科	表兒科藥物療法と乳兒榮養法	婦人泌尿器病學	不妊症診斷及療法	子宮頸癌ニ對スル放射線療法	婦人ノ受胎期	臨牀婦人花柳病學	性病科學概論	新皮膚科學	皮膚病圖	眼腫瘍	眼腫瘍	眼腫瘍	眼腫瘍	眼腫瘍				
洋三六	布菊	洋油	並菊	並菊	並菊	並菊	並菊	並菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊	洋菊				
布判	製判	布珍	製判	製判	製判	製判	製判	製判	布判	布判	布判	布判	布判	布判	布判				
281	250	128	358	201	123	161	464	709	498	186	885	24	76	812	103				
一、八〇〇	四、〇〇〇	一、三〇〇	一、七〇〇	二、〇〇〇	一、三〇〇	一、〇〇〇	九、〇〇〇	七、五〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	一、五〇〇				
克誠堂	南江堂	南山堂	南山堂	南山堂	南山堂	南山堂	金原商店	金原商店	金原商店	金原商店	南山堂	南山堂	南山堂	金原商店	金原商店				
月七	月三	月七	月一	月二	月三	月六	月十	月十	月十	月十	月四	月十	月十	月三	月七				
▲日獨混合文で主として學生の參考書として著述されたもの。	▲多くの圖を用ひ難解なる部分をも瞭然たらしめた外科學書。	▲兒科藥物年輪別用量、用法表、兒科外用藥、乳兒榮養法、兒科診療に關する諸表。	▲總論及各論を述べ附篇として膀胱鏡検査法及び尿道鏡検査法を述べ。	▲不妊症に關する一般的概念、男子不妊症、女子不妊症等に亘り詳述。	▲主として組織化學的の所見及びそれに隨伴するものを述べ。	▲婦人の受胎期に就て述べたもの。	▲皮膚及粘膜、運動器、淋巴系、消化器、内分泌系、副腎、新陳代謝血液及脾臟其他。	▲泌尿器の概要を述べ、診察法、治療法、豫後等に亘り詳細記述せるもの。	▲總論各論に分けて論述せる新皮膚科學書。	▲特異病型二百餘種を厳選し圖毎に病症と明確なる圖解を添へ病類はラテン名にて記載。	▲眼瞼結膜涙器、水晶體、硝子體、眼窩内障疾患、屈折異常眼の發育其他に就ての論述。	▲眼科領域に於ける腫瘍に就て詳述せる書。	▲調節の解剖及生理調節の病理調節と轉との關係に付き述べたもの。	▲眼疾患と呼吸器疾患、循環器、消化器疾患、生殖器疾患、内分秘機障其他。	▲鞏膜の解剖及び生理先天異常炎症、擴張、腫瘍、外傷に付き詳細に説明す。	▲一九〇九年第十一回國際眼科學會の協定に基いた視力表。	▲上巻は學校齒科醫の意義、任務を述べ検査を述べ。	▲齒槽膿漏の療法中、從來固定装置として述べられてゐた部門を負擔減輕療法として述べ。	▲金インレー調製法の手段を合理的に叙述せる書。

朝日新聞社編	久保田昭亮	渡邊房吉	原田良種	檜垣三	檜垣三	檜垣三	岡本將士	石原忍	山根浩	中村康	畑文平
新家庭醫學	最新救護醫典	家庭衛生と救急法	金インレーの合理的調製法	續所謂齒槽膿漏の療法	所謂齒槽膿漏の療法	齒髓診斷法の批判	學校齒科實務	簡明試視力表	鞏膜疾患	眼疾患ト他疾患トノ關係	眼機能學第七篇調節及其障礙
並菊	布菊	布菊	並菊	洋菊	洋菊	洋菊	並菊	編	洋菊	洋菊	洋菊
製裁	裝入判	布入判	製判	布入判	布入判	布入判	製入判	製	布判	布判	布判
292	436	441	34	79	76	74	219	1	103	812	76
三〇〇	一、八〇〇	二、〇〇〇	六〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、五〇〇	〇〇〇	二、五〇〇	八、五〇〇	一、五〇〇
朝日新聞社	誠文堂	東學社	齒苑社	齒苑社	齒苑社	齒苑社	齒苑社	金原商店	金原商店	金原商店	金原商店
月六	月二	月八	月九	月九	月十	月二	月七	月五	月九	月三	月七
▲内科、小兒科、外科、産婦人科、皮膚科、皇漢方其他醫で週刊朝日に記載せるを収録す	▲救護及び之に關係ある必要事項を悉く網羅した書で、救護用品、中毒外五十九章。	▲家庭衛生學、家庭看護の常識及び家庭救急法に就て記述せる書で、看病の常識外三篇、	▲金インレー調製法の手段を合理的に叙述せる書。	▲齒槽膿漏の療法中、從來固定装置として述べられてゐた部門を負擔減輕療法として述べ。	▲齒槽膿漏の病理及療法全般を説明す。	▲齒髓診斷法の全貌を述べ、これ等の批判をなす。	▲上巻は學校齒科醫の意義、任務を述べ検査を述べ。	▲一九〇九年第十一回國際眼科學會の協定に基いた視力表。	▲鞏膜の解剖及び生理先天異常炎症、擴張、腫瘍、外傷に付き詳細に説明す。	▲眼疾患と呼吸器疾患、循環器、消化器疾患、生殖器疾患、内分秘機障其他。	▲調節の解剖及生理調節の病理調節と轉との關係に付き述べたもの。

醫學・衛生(家庭醫學・治療法)

平野啓司	日野三郎	井上正賀	杉田平十郎	織島秀男	竹中繁次郎	井上正賀	永井秀太	茂野吉之助	藤井静雄	堀内信	高田重正	萩原良一郎
胃腸と療養	胃腸病の新療法	胃腹痛食養根治法	新らしい醫學療法	肺結核の豫防と療養	結核の最新食餌療法	肺病食養必治法	呼吸器病療養全書	結核征服	血脈療病の知識	胃腸療病の知識	結核療病の知識	家庭療病の知識
四六	二六	三六	四六	四六	四六	三六	四六	四六	四六	四六	四六	四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	布入判	布入判	布入判	布入判	布入判
350	432	121	217	103	278	111	519	292	311	296	296	370
二、五〇〇	一、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇
人文書院	日實本社	弘文館	朝日書房	素人社	東學社	弘文館	日實本社	新潮社	非凡閣	非凡閣	非凡閣	非凡閣
月一十	月三	月三	月五	月六	月三	月一	月一	月五	月七	月七	月七	月五
▲胃腸病に關する療養評議及随筆等を收めた書で、正月の食物の榮養的考察其他	▲胃腸病に關する療法で、胃腸病の一般的知識、食道疾患、胃疾患、腸疾患外六章	▲著者の體験によつて胃腸病の食養根治法を述べたもの	▲著者の創唱にかゝる電子醫學の電波療法に就て述べた書で、淋病と人生外七章	▲結核の療養法、結核の五篇にて述ぶ	▲結核に於ける食餌療法を叙述した書で、肺結核患者の新陳代謝、食養療法外七篇	▲著者の體験により肺病に對する食養治療法を公開せるもの	▲呼吸器病に對する療養法を説述せる書で、呼吸器病の概念、呼吸器病の診察外四篇	▲肺聖トルドの生涯を述べて肺結核の療養に就き説ける書で、轉地療養其他	▲血脈の歴史、血脈亢進の原因的事項、高血脈病の診察法、腦溢血外十九章	▲胃腸疾患の食餌療法、胃の疾患、腸の疾患、肝臓の疾患、腹膜の疾患外八章	▲肺結核は解り難い病氣である、肺結核の諸種の型、豫防、安靜に就て外廿八篇	▲家庭療病の要旨を説明せる書で、醫學の根本觀念と問病術其他

醫學・衛生(家庭醫學・治療法)

家庭醫學研究會編	家庭醫學會編	平田内蔵吉	増井龍惠	中井龍彦	朝岡稻太郎	雨宮保衛	杉田平十郎	佐々廉平	栗山謹造	原志免太郎	齋藤正好	狩野永治郎
家庭醫學研究會編	家庭醫學會編	補平田式心	蓄膿症はかくして治せ	神經痛とリウマチスの新療法	神經衰弱はこうすれば治る	神經衰弱に直面して	新しい慢性病の絶體療法	病人と食物	指壓療法と生理學	灸法の醫學的研究	流感の豫防と無藥療法	傳染病豫防の理論と實際
三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
133	116	352	202	308	370	279	282	78	334	254	58	224
三〇〇	二〇〇	一、八〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	八、〇〇〇
崇文堂	崇文堂	春陽堂	東明堂	日實本社	東明堂	橋書店	東明堂	克誠堂	慶文堂	春秋社	現實處	新光閣
月一十	月十	月二十	月二十	月三	月五	月二	月四	月五	月六	月三	月一十	月九
▲應急篇、常備篇に分けて應救手當と救急療法を説く	▲淋病の豫防と新療法に就て述べた書で、病法、心療の注意と實驗録の二部	▲平田式熱療法を解説した書で、原理と方法を述べたもので、鼻の解剖と生理外七章	▲蓄膿症と神經衰弱の關係を闡明し、治療法を述べたもので、鼻の解剖と生理外七章	▲神經痛とリウマチスの類似疾患の三編	▲神經衰弱の療養法を説述した書で、神經の生理、神經衰弱の主なる症狀外七篇	▲神經衰弱に悩む者への良き指導書で、原因、症狀、經過、診察、療法外十二篇	▲電波療法による各種慢性病の療法を述べた書で、電子醫學と電波療法外五章	▲病人と食物に就ての研究で、病人食物に關する一般事項、胃腸病者と食物外七篇	▲生理解剖の知識を得乍ら同時に治病保健法を會得出来る様述べた書	▲灸法の醫學的價值、灸法の本態に就て外四篇	▲無藥療法としての活氣療法、流感豫防としての活氣強健法、活氣自強運動の實行法其他	▲實務篇、理論篇、法令篇に分けて傳染病の豫防に於ける理論と實際に就て述ぶ

醫學・衛生 (家庭醫學・治療法・健康・衛生)

家庭醫學研究會編	家庭醫學研究會編	坂本貢	酒井谷平	杉田直樹	安達溫	上林豊明	織戸正滿	岡浪之助	高田義一郎	川合清丸	日下頼尙
多田良文氏(1)	多田良文氏(2)	家庭お灸とマツサーヂ療法	温泉療養	神經衰弱症	驚異G.F.綜合療法	皮膚科各科皮膚病大要(皮膚科九卷十)	國民保健讀本	齒牙と全身病	無醫無病健康法	仙家無病長生法	不老強精の秘訣
並六半製載	並六半製載	上四六製入判	洋四六製入判	洋四六製入判	並四六製入判	並三三製判	並四六製判	並四六製判	洋四六製入判	洋四六製入判	洋四六製入判
115	117	269	357	185	270	240	684	49	335	261	384
三〇	三〇	一、五〇	二、八〇	二、〇〇	一、二〇	三、五〇	五、〇〇	二、〇〇	一、五〇	一、八〇	二、五〇
崇文堂	崇文堂	東明堂	一葉社	金原商店	南山堂	南江堂	改造社	育社協會教	日東書院	川合清丸	二松堂
月一十	月一十	月四	月二十	月七	月七	月一十	月一	月四	月九	月一十	月二十
▲神經衰弱の療法を述べたもので、腦神經衰弱症、神經衰弱の病源其他。	▲灸療篇、マツサーヂ療法に大別して家庭で出来る灸點とマツサーヂ療法を述べた。	▲家庭に於て手軽に出来るお灸とマツサーヂ及び食養法を述べたもの。	▲入浴法、温泉の作用、分類と醫治効果、適應症、温泉と氣候外十四篇。	▲神經衰弱症に就て全般的知識を述べたものを總論より説き各論に於ては六十九の治療例を詳述せる研究書。	▲變遷、症候論、疾患の概念、病因、研究、問題の核心、治療論、原因的反對症的療法。	▲最新の榮養學、榮養化學、生理學等を基礎とせる人間一生の榮養と不老長壽の研究書。	▲齒牙の疾患と全身病、國民保健の捷徑、齒牙に關する一般心得、六歳白齒の話の四章。	▲營養健康法、健康運動法、環境健康法、疾病豫防の知識、家庭救急設備の五編。	▲直接間接に身體堅固、保健長壽に益する仙家秘訣無病長生法、養老百則外五篇を収録。	▲不老強精の秘訣として食養法を述べた書で生理的若返り法、骨質普及と體質改良其他。	▲總説、遺傳、疾病と遺傳、血脈、ホルモン、グイタミン、食物、酒、長壽の秘法外三章。

醫學・衛生 (健康・衛生・性・妊娠)

永井潜	廣島一郎	石崎仲三郎	杉本清治	長濱繁	石崎仲三郎	樋口榮	倉上由一	加藤美侖原	助川浩	岡田道一	内務省東京衛生試験所編纂
結婚讀本	結婚讀本	女子生殖器機能障害	性的回春法の要旨と根治法	性と性病の知識	妊娠と婦人病の知識	女學生に必要な醫學の知識	人間は若返る	保健康生是丈は心得おくべし	労働衛生講話	學校衛生概論	飲食物並日用品類分析表
上四六製入判	上四六製入判	布四六製入判	布四六製入判	洋四六製入判	洋四六製入判	洋四六製入判	洋四六製入判	上四六製入判	洋四六製入判	洋四六製入判	布四六製入判
382	167	273	232	306	340	107	232	295	451	391	215
一、八〇	一、〇〇	一、五〇	一、五〇	八〇	八〇	八〇	一、五〇	六、五	二、八〇	二、五〇	三、〇〇
春秋社	平野書房	東明堂	東明堂	非凡閣	非凡閣	人文書院	アルス	誠文堂	政經書院	事務和會	南江堂
月一	月八	月三	月一	月五	月五	月六	月九	月四	月七	月八	月三
▲優生學の立場から結婚の諸知識を述べた書で、性別の本義、婦人の體型と男子の體型其他	▲結婚生活に於て必ず心得居なければならぬ基礎的知識に就て述べた。	▲女子生殖器に關する一般的概念、解剖、生理、各種婦人病の症狀療法其他に就て説述す	▲性的神經衰弱の回春法の要旨を説き、その治療法を述べた書で、神經の神秘外廿六篇。	▲男子生殖器の解剖生理衛生、生殖器機能障害、花柳病の三篇にて説述。	▲妊娠及び分娩の際に起り易い偶發病の豫防と手當並に婦人病の概略を叙述す。	▲主として女性の生理現象たる月經の知識を述べたもので、月經、月經の惡性障礙外八章	▲總説、遺傳、疾病と遺傳、血脈、ホルモン、グイタミン、食物、酒、長壽の秘法外三章。	▲日常強健法に就て是丈は心得おくべし、及神經の衛生も是丈は心得おくべし外十五篇	▲労働衛生に關して述べたもので、工場一般的考察に關する事項、工場従業員と傷病其他	▲總論、設備衛生、教授衛生、運動衛生、身體検査、健康増進施設外二篇。	▲官廳及公衆の依頼に應じ或は調査必要と認めて蒐集せる試料に就き施行せる試験成績表

加藤美命原 性愛秘訣 男女衛生 是丈は心得おくべし	朝岡稻太郎 妊娠の早道	竹田津六二 性愛夫婦 結婚の本	津田博通 育兒と栄養の知識	安間公觀譯 幼兒身體保育の實際	長尾美知 乳幼兒の哺育と看護	内村良二 小兒傳染病の豫防	帝國看護婦學會編 看護婦志願寶典	平井文雄監修 新撰看護學全書	碓居龍太監修 新撰看護學全書	碓居龍太監修 新撰看護學全書
上菊牛製載 269	上菊三六製載 148	洋四六製載 134	洋四六製載 250	洋四六製載 194	洋四六製載 396	洋四六製載 69	並四六製載 151	洋菊布判 479	洋菊布判 656	洋菊布判 822
八五	七〇	五〇	八〇	一〇〇	一、八〇	一、〇〇	一、〇〇	三、九〇	四、〇〇	五、〇〇
誠文堂	健康日本社	曙書院	非凡閣	同文館	岩波書店	金原商店	帝國看護學會	鳳鳴堂	南山堂	南山堂
月四	月二	月二	月五	月五	月三	月一十	月一十	月五	月一十	月一十
▲性愛及び男女衛生に就て必要な知識を網羅した書で、人一代の性的生活外冊篇。	▲生殖生理、不妊の定義、攝生及治療法、人工妊娠法、不妊症治療實例の五章にて述ぶ。	▲性生活の重要性を高調し種々心得を説ける書。	▲育兒と栄養及び小兒の罹り易い病氣と其の手當法に就て述べた書。	▲幼兒の身體保育に就ての説述で、國醫による幼兒身體検査の概要外廿六章。	▲乳幼兒の育兒に關して述べた書で、乳幼兒の教育、乳幼兒の栄養、應急手當外三篇。	▲豫防に關する一切の學説及現在實施せられつゝある方法に就て述ぶ。	▲看護婦になる凡ゆる方法、手續、順序を判り易く解説した指導書。	▲解剖生理、細菌衛生、公衆衛生、營養學一般、看護法、患者運搬法其他を述ぶ。	▲看護學の精髓を解り易く至極平易に記述せしもの。―上巻―	▲看護學の精髓を解り易く極平易に記述せしもの。―下巻―

石崎仲三郎 美容と衛生の知識	林熊男 婦人と美容醫學	寒川陽光 産婆看護婦修身書	土肥衛 答案式産婆學精解	土肥衛 答案式看護學精解	白木正博 簡明助産婦學	古屋清 古屋助産婦學	古屋清 古屋助産婦學	山田屋清 古屋助産婦學	山田屋清 古屋助産婦學
洋菊布判 338	並四六製載 50	洋菊布判 194	洋四六布判 736	洋四六布判 194	洋菊布判 344	上菊三製載 244	上菊三製載 281	上菊三製載 244	上菊三製載 281
八〇	二五	一、四〇	二、〇〇	二、〇〇	三、九〇	三、七〇	三、七〇	三、七〇	三、七〇
非凡閣	育社協會	鳳鳴堂	文友社	文友社	南山堂	南山堂	南山堂	南山堂	南山堂
月五	月二十	月九	月八	月四	月一十	月六	月四	月六	月四
▲醫學的立場より述べた自然的美容法で、皮膚の美容に就て外五章。	▲美容の意義、美容整形學の歴史、隆鼻に就て、豐頰術に就て、眼の美容整形術外二篇。	▲前後編に分けて説ける産婆看護婦の修身書	▲平易に説いた答案式産婆學書。	▲試験官たる著者の答案式解説をなせる看護學書。	▲小學卒業を程度とし受験に際し適確なる答案を書き得るやう平易に記述されし書。	▲助産婦學に就て述べた書。―後編―	▲助産婦學に就て述べた書。	▲助産婦學に就て述べた書。	▲助産婦學に就て述べた書。

文學博士 鳥居龍藏 成田重郎 譯

ド・モルガン 著

菊判三七八頁
銅板入
定價金 圓 貳拾 錢
送料 金 廿 二 錢

有史以前の人類

(先史學概論)

先史考古學
總論として
専門學徒に
もアマチュ
アにも最も
参考となる
好著。

現今は考古學、殊に先史考古學は一大流行で、アマチュアの遺蹟・具塚の探査や石器・土器等を採集する人が中々多い。けれども、これ等の人の参考學用として、讀むべく學ぶべき適當の本が我が國に出版せられていない。これは新學發達上最も遺憾と云はねばならぬ。(中略)

本書は表題の如く有史以前總論として著はされたものであつて、最初に序言としてアンリ・ペール氏の「人類の手足道具」を記しそれから本文に入り、豫備考察として、第一部に工業の進化、第二部に有史以前人類の生活、第三部に人類の智力の發達と民族相互間の關係等に涉つて記し、最後に結論を付して居る。本書は先史考古學總論として最も有益なもので、而かも参考とするに最も適當なものである。されば本書は始めて先史考古學に入らんとする學徒も、また一般大衆もこれを讀まば、斯學上の知識を得るに頗る便利であり、大に参考とするに足る。(鳥居博士序文の一節)

西村眞次著 人類學 汎論
西村眞次著 世界古代文化史

定價 圓 三 五 〇
送料 圓 四 八 〇
合本 圓 八 三 〇

京東替振 堂 京 東 區町麴市京東 番〇七二 目丁一段九

一七、運動・趣味・娛樂

著者	書名	裝形	釘體	數頁	定價	發行所	月行發	內容大意
朝日新聞社編輯部	昭和九年運動年鑑	並四六	製入判	375	一、〇〇〇	朝日新聞社	四月	▲野球、庭球、陸上競技、水上競技、ラゲビ ▲其他昭和九年度のあらゆる運動記録を收載 ▲警て「サンデー」毎日等に連載されたものを 編めたもので、運動選手の生國其他を記載す
弓館小飼	スポーツ人國記	洋四六	布入判	510	三、〇〇〇	ポプラ書房	六月	▲陸上競技、水上競技、野球、庭球、ラゲビ ▲蹴球、スキー其他のスポーツを解説す。
講談社編輯	キング文庫 スポーツ常識	並三五	製判	196	四、〇〇〇	講談社	四月	▲スポーツマツサーの起原、スポーツマツ サーの方法、術者の心得外十五章。
佐々木等	スポーツマツサー	並四六	製判	38	二、五〇〇	目黒書店	九月	▲我が代表選手役員自らが語る楽しい體驗と正 確なる報告。
日本陸上競技聯盟	第十四回 オリズムピツク大會報告	並四六	製判	412	三、〇〇〇	三省堂	五月	▲四種の走法(加賀一郎)短距離競走(吉岡 隆徳)四百米競走(中島亥太郎)外九篇。 ▲フイールドに於ける第一線の競技者諸氏が その體驗よりの研究を發表せるもの。
日本陸上競技聯盟	陸上競走篇	布四六	裝判	309	一、〇〇〇	三省堂	五月	
日本陸上競技聯盟	陸上競走篇	布四六	裝判	315	一、五〇〇	三省堂	五月	

運動・趣味・娛樂(運動一般・陸上競技)

運動・趣味・娯樂(水泳・野球)

日本陸上競技聯盟編	陸上競技の補助運動	並袖 製珍	182	三 省 堂	月六	昭和九年修正された陸上競技規則を収録せるもの。
東京府立第五中學校教諭 高田通	陸上競技の補助運動	並袖 製珍	272	三 省 堂	月二十	摘し補助運動の必要を明かにす。重要點を指し補助運動の必要を明かにす。
陸上競技研究會編	短距離研究	洋函編 布入判	260	一、三 一、三 成社	月四	▲義に雜誌「陸上競技」臨時増刊短距離研究號として發行した書で、短距離に就て説く。
日本水泳指導要項	水泳指導要項	洋函 布判	390	二、四 二、四 日黒書店	月七	▲標準泳法、水泳教授法(原正一)競泳(杉本傳、松澤一鶴)水泳醫事(太田正隆)其他
日本水泳研究會編	水泳	洋函 布判	175	二、〇 二、〇 改造社	月七	▲著者の経験に徴して水泳の歴史、泳法、競泳に關する問題等を説述す。
高村象雷男	水泳	洋函 布判	336	一、五 一、五 三省堂	月六	▲水泳の歴史を述べたもので、古代の地中海を中心として、日本現代の水泳術外五篇。
齊藤洋	新日本水泳術	布函 裝判	94	二、〇 二、〇 育社協會教	月七	▲水泳の効能と海濱、水泳の諸注意、泳ぎの初步、基本泳法、競泳、跳込競技外一章。
京田武男	水泳の今昔	並四 裝判	220	二、五 二、五 三省堂	月七	▲日本水泳競技聯盟規約及競技規程の總べてを網羅した水上年鑑。
日本水泳研究會編	水泳	並三 裝判	324	一、五 一、五 中央公論社	月四	▲新青年に連載されたもので、早大野球部を中心し明治、大正、昭和の野球を物語つた書
日本水泳研究會編	水泳	並三 裝判	130	一、三 一、三 香風閣	月十	▲米國野球界の秘話及びベーパー・ルース、ア
日本水泳研究會編	水泳	並三 裝判	182	一、三 一、三 香風閣	月十	▲米國野球界の秘話及びベーパー・ルース、ア
日本水泳研究會編	水泳	並三 裝判	299	一、三 一、三 香風閣	月十	▲米國野球界の秘話及びベーパー・ルース、ア
飛田穂洲	熱球三十年	上函 裝判	390	一、三 一、三 香風閣	月十	▲米國野球界の秘話及びベーパー・ルース、ア
飛田穂洲	熱球三十年	上函 裝判	390	一、三 一、三 香風閣	月十	▲米國野球界の秘話及びベーパー・ルース、ア
飛田穂洲	熱球三十年	上函 裝判	390	一、三 一、三 香風閣	月十	▲米國野球界の秘話及びベーパー・ルース、ア

運動・趣味・娯樂(野球・蹴球・籠球・柔道・剣道・空手・相撲)

蹴球	蹴球大集	洋函 布判	1131	三、八 三、八 一成社	月五	▲我が國に適當と思はれる蹴球を輯録した書で上巻は、フットボール、軟式蹴球外廿一篇。
蹴球	蹴球大集	洋函 布判	1088	三、八 三、八 一成社	月六	▲下巻は、硬式蹴球、キヤプテンボール、バスケットボール、準硬式蹴球、キヤプテンボール其他。
蹴球	蹴球大集	洋函 布判	269	一、〇 一、〇 一成社	月二	▲蹴球の良き指導書で、蹴球規則、個人的基礎技術、攻撃、防禦、身體の操走其他。
蹴球	蹴球大集	洋函 布判	254	一、八 一、八 出版洋行	月五	▲幼い子供達に如何にして蹴球を仕込むべきかを説ける指導書で、ゲームの話外十篇。
蹴球	蹴球大集	洋函 布判	196	六、〇 六、〇 三省堂	月十	▲ラゲビーとして合名を編はれた宇野氏の貴き経験より出づる新道の新指導書。改訂版。
蹴球	蹴球大集	洋函 布判	186	五、〇 五、〇 三省堂	月十	▲ラゲビーの妙味を未知の人にも充分わかるやう詳しく説いたもの。修正版。
蹴球	蹴球大集	洋函 布判	542	二、三 二、三 三省堂	月九	▲ラゲビーに關する凡ゆる戦術と理論とを各項目に分けて詳細精密に説述してある。
蹴球	蹴球大集	洋函 布判	1681	四、八 四、八 講談社	月一十	▲皇太子殿下御誕生奉祝紀念として舉行された天覽試合の實況を収む、別冊武道實鑑。
蹴球	蹴球大集	洋函 布判	1681	四、八 四、八 講談社	月一十	▲皇太子殿下御誕生奉祝紀念として舉行された天覽試合の實況を収む、別冊武道實鑑。
蹴球	蹴球大集	洋函 布判	1681	四、八 四、八 講談社	月一十	▲皇太子殿下御誕生奉祝紀念として舉行された天覽試合の實況を収む、別冊武道實鑑。

運動・趣味・娯楽(柔道・剣道・空手・相撲・弓道・スキー)

古賀 残星	柔道史 講道館今昔物語	洋四六 布判	240	一、五〇	三	元	▲講道館の格闘時代より現在までの状況を述べ、過去に於ける大試合の記録を収む。
村上 邦夫	柔道審判規程解説	洋四六 布判	69	二〇〇	一	成	▲柔道に於ける審判の規程を解説したもので、柔道の本義と修業の目的、審判者の資格其他、體育運動としての柔道に相關心理學的方法其他にて柔道を科學的に研究したものの、
中 邑 幾太	柔道の心理的研究	洋四六 布判	216	二、五〇	中	文	▲剣道本質の面目解剖と剣道初心者の心得を描いた書で、剣道概論、剣道初心者の心得其他、
堀田 拾次郎	剣道講話	洋四六 布判	378	一、三〇	三	笠	▲護身術としての空手拳法を述べた書で、總論、空手術の豫備運動、空手の補助運動其他、
摩文 仁賢和	空防自在 十八の研究	洋四六 布判	176	一、五〇	興	武	▲空手豫備運動、空手の受け方と組手、開手型十八の型外一章。附録秘書武備誌。
彦山 光三	相撲道精鑑	洋四六 布判	346	二、五〇	國	技	▲國技相撲の眞諦を實證的に解明し、次で相撲の發生成長の過程を簡叙せるもの。
星崎 治名	新柔道	洋四六 布判	120	一、三〇	秋	豐	▲元帝大主將たる著者が自ら體驗した試合に有功な技のみを活動寫眞入りで説明したものに、
竹内 尉	弓道・新射法	洋四六 布判	232	一、五〇	健	文	▲新興射道、眞射の觀方、射の形態的方面、弓道軌範射禮、弓道試験檢定問題答案集其他、
春 陽 堂編	スキー術解説	洋四六 布判	260	二、〇〇	春	陽	▲スキー用具の選定及びその手入(西岡一雄)▲スキー技術(栗谷川平五郎)外六篇。
阿部 謙太郎譯	スキー術解説	洋四六 布判	266	一、五〇	平	原	▲スキー術の解説書で、器具、アップヒルとストリート・ランニング外六章。

運動・趣味・娯楽(スキー・ゴルフ)

酒本 麟吾譯	モダン・スキー術	洋四六 布判	266	一、三〇	歐	亞	▲スキー術を初心者を對照として記述したもので、基本的原理、廻轉外二部。一普及版、
春日 俊吉	三日スキー術	洋四六 布判	236	一、〇〇	朋	文	▲三日間の練習で一通りのスキー技術が會得出来るやうに述べたスキーの技術案内書。
鈴木 六郎男	増わがり易いスキー術	洋四六 布判	393	一、〇〇	朋	文	▲用具と準備、雪・ソックス、スキー技術、スキー競技、スキー登山、スキー醫學外一篇、
高橋 健治	最新のスキー術	洋四六 布判	212	一、五〇	三	省	▲山スキーに就ても解説せる手引書。
宮川 恒夫	スキー・コンチヤー・ブック	洋四六 布判	274	一、五〇	三	省	▲初等編(スキーの沿革、スキーの裝備、平地・登行及滑降法其他) 高等編(廻轉法其他)。
長 田 進	スキー・コンチヤー・ブック	洋四六 布判	177	一、〇〇	隆	章	▲スキー技術の指導法を説明したもので、スキー指導要項、スキー技術の指導方法外一篇、
全日本スキー連盟編	スキー一年鑑	洋四六 布判	278	一、〇〇	全	日	▲萬國學生スキー大會出場記、選手權大會、昭和九年度のスキー界を顧みて其他を網羅す、
町野 久作	新スキー教本	洋四六 布判	192	一、五〇	北	海	▲スキー術の解説及指導法、スキー體操、學校體育としてのスキー指導等について詳述。
ボビー・ジョーンズ著	フェアウェイの彼方へ	洋四六 布判	361	二、五〇	黎	明	▲ゴルフの世界選手權獲得者たりしジョーンズの自傳「フェアウェイの彼方へ」の譯。
近藤 彌一譯	スイングの革命	洋四六 布判	181	一、七〇	三	省	▲著者が二十年の體驗を基としてスイングのデイトイルを解剖したゴルフの指導書。
近藤 彌一譯	スイングの革命	洋四六 布判	178	一、三〇	三	省	▲ゴルフの心理に就て述べたもので、キッドハット恐怖病、ゴルフの心的方面外七篇。
小寺 西二譯	ゴルフ規則解説	洋四六 布判	142	一、〇〇	日	本	▲一九三四年度の改正ゴルフ規則を翻譯し、初心者爲め註を附す。

(9-10)

著者		書名		裝形	釘體	數頁	送定	料價	發行所	月行發	内容大意	
加藤美命原	講談社編	落語	コソト集	上六	半製	284	六五	三〇	誠文堂	四月	▲種々なかくし藝の心得等を述べた書で、主人側も客人も是丈は心得おくべし其他。	
講談社編	食卓漫談	並三	五製	192	三〇	三〇	講談社	三月	▲一流の食通の食卓に於ける談話を収めた書で、お茶紅茶珈琲、お蕎麥の語外廿二篇。			
講談社編	漫畫傑作集	並三	五製	188	三〇	三〇	講談社	十月	▲雑誌「キング」に収載された漫畫を収めたもの。			
麻生豊	勉人生	只野凡	第三卷	上四	新製	93	一〇〇	新潮社	八月	▲第三卷は會社員の卷、トウサン入來の卷、レヂューの卷、スポーツの卷、見合の卷。		
麻生豊	勉人生	只野凡	第二卷	上四	新製	103	一〇〇	新潮社	四月	▲第二卷は、社員入門の卷、同僚の卷、非常時の卷の三篇よりなる長篇漫畫。		
麻生豊	勉人生	只野凡	第一卷	上四	新製	121	一〇〇	新潮社	二月	▲朝日新聞連載の長篇漫畫で、第一卷は就職運動の卷、サンマ、ハウスの卷、家庭教師の卷。		
谷口健治	最新麻雀	雀競技法		上四	新製	100	六〇	松榮堂	十一月	▲麻雀の沿革、牌の組織、麻雀の用語、競技の方法、競技作戦其他にて解説す。		
安井笛二	動物の扱ひ方	動物の扱ひ方		上四	新製	341	一、三〇	丸之内社	八月	▲天ぶら、大炊大食物語、熊の掌と冬虫夏草(木下謙次郎)川魚禮讚(和田萬吉)其他。		
黒澤敬一	動物の扱ひ方	動物の扱ひ方		上三	五製	47	二五	日本人道會	六月	▲犬、猫、山羊、モルモット、鳩、金魚其他諸動物の取扱上の注意を述べた書。		

一八、婦人・家庭

(9-1)

著者		書名		裝形	釘體	數頁	送定	料價	發行所	月行發	内容大意	
文學士 雀部顯宜	文化學院教	河崎なつ	明日に生きる女性	洋四	六製	490	二、五〇	八、四〇	北文館	九月	▲女性の心理に就て講述せる女子教育の参考書で、知識篇、感情篇其他。	
日本女子大學教授 渡邊英一	婦人講座(46)	夫の道		並四	六製	54	二五	二五	育社	一月	▲長き人生の明日を待つ若き女性の爲めに種の知識を述べた書で、序文、準備時代其他格、夫婦としての道を述べたもので、貞操と人格、夫婦生活の意義、結びの三篇よりなる。	
友松圓諦	婦人講座(56)	新女性性道講話		並四	六製	53	二五	二五	育社	十一月	▲はしがき、永遠の女性、女性の美點、宗教の世界、昨日から明日へ外四篇。	
婦人常識普及會編	讀本	現代結婚學		布四	六製	340	二、〇〇	一、四〇	文華堂	十月	▲結婚期にある女性の爲に實生活に於ける世相を基礎として其心得べき事柄を詳述せる書	
伊藤貫一編	讀本	新女性手紙讀本		上四	六製	436	一、五〇	一、二〇	南光社	十二月	▲諸種の文例を収めて女性の爲めの手紙の書き方を述べたもの。	
石井滿	小學校卒業の女子就職の手引	悩みに答へる		上四	六製	382	一、五〇	一、二〇	平凡社	六月	▲身上相談に解答を與へたもので、家庭悲劇は何故起る、戀愛に憂ひ多し外十一篇。	
婦人職業會編	小學校卒業の女子就職の手引	悩みに答へる		並四	六製	144	六〇	三〇	三友堂	三月	▲小學校を卒業した女性の爲の就職の手引書で、仕事を決める前に、店員、速記者其他。	

婦人・家庭(婦人一般)

女子青年教育會編	山下榮藏	越智キヨ	藤田逸男	小澤省三	中澤辨次郎	大山松次郎	木槍想一	朝日新聞社	井上秀子	柏木龜三	
母性愛讀本	衣類整理の十二月	家事新講	家庭と購買組合	室内裝飾の話	お米の科学	家庭と電気	臺所の改良と設計	すぐれた家庭商品學	家政新論	古今濃飛婦女鑑	
並四六判	洋四六判	洋四六判	並四六判	並四六判	並四六判	並四六判	並四六判	上四六判	洋四六判	並四六判	
105	330	570	49	50	51	46	46	242	446	150	
三三	一、八〇	三、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	二、五〇	六〇	三、〇〇	三、〇〇	
雄文社	創文社	星野書店	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	育社協會	朝日新聞社	文光社	大衆書房	
月二十	月一	月五	月十	月八	月七	月六	月四	月十	月五	月六	
敬愛の他の母性に關する讀物を收む。	▲追憶、秋晴の輝かしい朝、坊やが大きい、	▲家庭管理、養老及び看護、育兒、衣服、住	▲買組の道理、家庭の無駄、家庭と小賣制度	▲床と壁と天井、窓と窓掛及び出入口、金具	▲米の全般的知識、米の科学的知識、御飯の	▲電気治療機、御飯炊き、洋髪アイロン、其他。	▲改良の目標、室の廣さ、給水と燃料、家具	▲日常の生活に關する深い商品約百點を選び、	▲家庭の消費、家庭の被服、家庭の食物外四章	▲家庭の消費、家庭の被服、家庭の食物外四章	▲古今濃飛孝女節婦義婦其の他百名近き婦女

婦人・家庭(婦人一般・家事・家政・育兒・お産)

青木誠四郎	土肥衛	佐藤瑞彦	三田啓	三田啓	高田義一郎	青木誠四郎	青木誠四郎	今田惠	吉田章信	佐藤瑞彦	海輪利光
新生兒より青年期へ	妊娠と育兒のしるべ	母に捧ぐ	コドモの相談	新育兒の心得	例育てのこころ	子供は如何に育てらるべきか	子供の教育相談	學齡期の子供の心理	虚弱兒童より健康兒童へ	子供の生活の導き方	母の讀本
並四六判	洋四六判	並四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	洋四六判	並三六判	並三六判	並三六判	洋四六判
130	434	211	372	274	360	137	206	514	102	78	102
四六〇	一、九〇	六〇	一、五〇	一、五〇	一、八〇	一、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	二、五〇	二、五〇	一、五〇
教子養供社の	文友堂	教子養供社の	婦女界社	同文館	人文書院	成美堂	東治書院	主婦之友社	新生堂	新生堂	中央公論社
月二十	月一十	月五	月九	月九	月九	月十	月一	月一	月十	月八	月十
▲心身の生活、青年の性的傾向等十一篇。	▲如何に安産し、又産後母子健康にすべき	▲母に答へての姉妹篇で母四題、家庭、父、	▲子供の育て方、躾け方を説いた書で、母性	▲育兒に關する一切の事項を妊娠・出産・産	▲胎児、初生兒及び哺乳兒の養育外四章にて説	▲多數の實例を列挙して幼児の育て方を説	▲胎児の育て方を科学的な見方によつて説	▲胎児の育て方を科学的な見方によつて説	▲胎児の育て方を科学的な見方によつて説	▲胎児の育て方を科学的な見方によつて説	▲胎児の育て方を科学的な見方によつて説

婦人・家庭(育兒・お産)

他の追隨を許さぬ近代洋装研究會編纂

最新刊 伊藤武子著

内容見本進呈

洋裁子供服

お子さんの爲めに其の日から重寶する家庭必備書！

著者は多年歐洲にて研究せる權威者。「家庭で作る子供服は簡單でなくてはならない」と言ふ信念で工夫された驚く程簡易な裁断法、美麗に上がる仕立の骨は、本社獨特の懇切丁寧なる挿畫圖解を以つて一々示してあれば一見して初心者にも理解出來、全種類に涉る豊富なスタイルはその日より役立つ。本書の誇る處。各家庭に必備を奨む。

東京市 囑託 杉野芳子著
ドレス・メーカー女學院々々長

洋裁讀本 婦人服篇

ドレス・メーカー女學院 筒井光康著
婦人帽の製作 附 男女兒帽
女學生帽

菊判五七〇頁
豪華クローズ装
挿畫二六〇面
定價七・〇〇
送料市內六錢
地方十二錢

十數年の苦心の結晶とも言ふべき秘訣を女史に親しく就いて學ぶと等しく、洋裁獨習者より感謝賞識を受く。

菊判三百六十頁
クローズ装美本函入
挿畫圖解・二百餘面
欄外原語入質問券付
定價三圓八十錢
送料市內六錢
地方十四錢

發行所 東京市本區川町一 近代社發賣 東京市本區川町一 近代社發賣 東京市本區川町一 近代社發賣

一九、兒童書類

(A) 兒童讀物

少年少女小説・物語

著者	書名	裝形	頁數	送料	定價	發行所	月行發	内容大意
吉田 絃二郎	白き雲なつかし	上四六 製入判	334	一、三〇	改造社	八月	▲牧場の子、白き雲なつかし、梅の花の咲く頃、鐘が鳴る外十七篇の少年少女小説集。	
北川 千代	春やいづこ	布四六 裝判	217	〇・八	講談社	四月	▲病氣になつてまで働く愛の母を助ける少女と山村より上京し苦學する少年との物語。	
横山 美智子	紅薔薇 白薔薇	布四六 裝判	319	〇・七	講談社	四月	▲山の牧場で働く妙子、飛行家を志す竹三、科學者美奈子の父等立志と友情と冒険の物語	
深水 正策	小さい花東	上四六 製判	305	一、三〇	少女畫報社	十一月	▲少女の友、少女畫報の兩誌に發表した兄弟姉妹を主人公にせる物語廿六篇に加筆訂正す	
水守 龜之助	處女の心	布四六 裝入判	306	一、三〇	樂園書房	二月	▲青春の女性を主人公とした短篇集で、贈られた肖像畫、青春の一挿話外十五篇。	
佐藤 加壽輔	少年少女小説・物語	上四六 製入判	186	一、三〇	啓文社	九月	▲ルナールの名作「にんじん」を少年の爲めやさしく書き直したものの。	

兒童書類(少年少女小説・物語)

六八三

六八二

(9-3)

児童書類 (少年少女小説・物語・少年文庫・童話)

児童書類 (少年少女小説・物語・少年文庫・童話)		少年文庫	
高瀬嘉男	少年キリス	少年キリス	少年キリス
櫻井忠温	鐵かぶと	鐵かぶと	鐵かぶと
中村佐喜子	少女文庫(14)	少女文庫(14)	少女文庫(14)
中西大三郎	少年探偵團	少年探偵團	少年探偵團
エリツヒ・ケストネル	少年探偵	少年探偵	少年探偵
セギユール	可憐	可憐	可憐
八木さわ子	鐵靴	鐵靴	鐵靴
山村暮鳥	ニールンゲン	ニールンゲン	ニールンゲン
田村俊夫	少年會	少年會	少年會
森本治吉	少年會	少年會	少年會

六八五

(9-2)

児童書類 (少年少女小説・物語)

児童書類 (少年少女小説・物語)	
野上彌生子	アルプスの山の娘
エリツヒ・ケストネル	少年探偵エミール
山中峯太郎	大東の鐵人
森下雨村	探偵謎の暗號
土師清二	萬歳栗毛
野村青村	魔獸(ライオン)
平賀晟豪	東海道與太者征伐
野邊地天馬	通俗聖書物語
アイキンス	主イエス様の御生涯
益本重雄	イエスさま物語讀本
小出正吾	新聖フランシス物語
宮脇信敬	少年お釋迦様のお話
前澤潤月	茶句話

六八八

酒井朝彦	酒井朝彦	酒井朝彦	金の星社編集部	金の星社編集部	金の星社編集部	金の星社編集部	金の星社編集部	金の星社編集部	三宅房子	三宅房子	三宅房子	三宅房子																
世界童話と畫の本	世界童話と畫の本	世界童話と畫の本	笑いと面白讀本	笑いと面白讀本	笑いと面白讀本	笑いと面白讀本	笑いと面白讀本	笑いと面白讀本	面白い童話	面白い童話	面白い童話	面白い童話																
二年の巻	一年の巻	幼年の巻	六年生	五年生	四年生	三年生	二年生	一年生	四年生	三年生	二年生	一年生																
存新洋菊布入判	存新洋菊布入判	存新洋菊布入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判																
131	132	125	202	195	194	197	191	198	197	194	193	191																
一七〇	一七〇	一七〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇																
出版日本圖書社	出版日本圖書社	出版日本圖書社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社																
月一	月一	月一	月二	月二	月一	月一	月一	月一	月二十	月二十	月二十	月二十																
▲かへるのさうだん、炭やきとせんたく屋、しかの水かきみ外十七篇のイソツブ物語。	▲キノシツトキツネ、イソツブカゲ、キタカセトオ日サマ外十四篇のイソツブ物語。	▲選んだもので、カニノヨコバヒ外十九篇をイソツブ物語の中より面白さうな動物の話	▲真夜中の賊、山彦の宿、忠犬ダニール、宮本武蔵と少年外十篇のお話集。	▲運轉手の涙外十一篇のお話集。	▲棒と柿の實、たぬき峠外八篇の童話集。	▲十三里・八里半・五里・オヤノ息子、泥	▲底なしのつるべ、勇敢な百姓、ちりとてちん、梵鐘大和尚、まねどろ外七篇の童話集。	▲も、外八篇よりなる童話集。	▲かへらぬエス、海にしずんだ鳥、話のうり	▲ツトコウドン外十四篇の童話集。	▲うそくらべ、どつちがつか、風で大金もち、一びきで八ひき外九篇の童話集。	▲入な名前の恩がへし、てんぐの鼻、山うば、へ	▲ぎな犬、きつねのする助外十四篇の童話集。	▲クヒシンのボウノオサル外十二篇の童話集。	▲パカサレギツネ、月カラ火ガテマ、ちゆう	▲な名前の恩がへし、てんぐの鼻、山うば、へ	▲うそくらべ、どつちがつか、風で大金もち、一びきで八ひき外九篇の童話集。	▲ツトコウドン外十四篇の童話集。	▲かへらぬエス、海にしずんだ鳥、話のうり	▲も、外八篇よりなる童話集。	▲底なしのつるべ、勇敢な百姓、ちりとてちん、梵鐘大和尚、まねどろ外七篇の童話集。	▲棒と柿の實、たぬき峠外八篇の童話集。	▲十三里・八里半・五里・オヤノ息子、泥	▲運轉手の涙外十一篇のお話集。	▲真夜中の賊、山彦の宿、忠犬ダニール、宮本武蔵と少年外十篇のお話集。	▲選んだもので、カニノヨコバヒ外十九篇をイソツブ物語の中より面白さうな動物の話	▲キノシツトキツネ、イソツブカゲ、キタカセトオ日サマ外十四篇のイソツブ物語。	▲かへるのさうだん、炭やきとせんたく屋、しかの水かきみ外十七篇のイソツブ物語。

松原至大	澁澤青花	村岡花子	尾關岩二	尾關岩二	尾關岩二	尾關岩二	金の星社編集部	金の星社編集部	金の星社編集部	金の星社編集部	金の星社編集部	金の星社編集部
新しい童話	新しい童話	新しい童話	家庭童話	家庭童話	家庭童話	家庭童話	世界童話	世界童話	世界童話	世界童話	世界童話	世界童話
三年生	二年生	一年生	四年生	三年生	二年生	一年生	六年生	五年生	四年生	三年生	二年生	一年生
上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	存新洋菊布入判	存新洋菊布入判	存新洋菊布入判	存新洋菊布入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判	上四六製入判
201	201	198	212	208	208	208	164	153	148	154	148	160
一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇
金の星社	金の星社	金の星社	岡田文祥堂	岡田文祥堂	岡田文祥堂	岡田文祥堂	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社
月一十	月九	月八	月二十	月二十	月二十	月二十	月七	月七	月六	月六	月六	月六
▲不思議な燭臺、粉屋と鷺鳥、ゆうちゃん軍歌、ある夜のお嬢さま其他の童話集。	▲おつきさま、こいぬのくる其他の童話集。	▲オクラーノネズミ、トムノビヤウキ其他。	▲歴史、消えて行く橋外十三篇の童話集。	▲花と大將、蟲巻外十三篇の童話集。	▲花と大將、蟲巻外十三篇の童話集。	▲花と大將、蟲巻外十三篇の童話集。	▲夜の密使、少年斥候外二篇の童話集。	▲夜の密使、少年斥候外二篇の童話集。	▲夜の密使、少年斥候外二篇の童話集。	▲夜の密使、少年斥候外二篇の童話集。	▲夜の密使、少年斥候外二篇の童話集。	▲夜の密使、少年斥候外二篇の童話集。

酒井朝彦	世界童話と畫の本 三年の巻	葛原しげる	眞面白い童話讀本 四年の巻	小野政方	愛兒 讀本 カタカナノ巻	小野政方	愛兒 讀本 ひらかなの巻	水谷まさる	二年生 あがり目さがり目	水谷まさる	三年生 金のメタル	水谷まさる	四年生 村の英雄	水谷まさる	五年生 少年駭者	水谷まさる	六年生 涙の拍手	長尾七郎	兒童笑話 尋常三年生	長尾七郎	兒童笑話 尋常四年生	岡邊白夜編	おもしろい鼻の小人	岡邊白夜編	おもしろい絹糸姫
新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布
133	148	125	120	252	254	252	252	250	250	252	254	252	252	250	250	252	165	167	172	172	172	172	172	172	172
一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
日本圖書	明治圖書	厚生閣	厚生閣	金蘭社	金蘭社	金蘭社	金蘭社	金蘭社	金蘭社	金蘭社	金蘭社	金蘭社	金蘭社	金蘭社	金蘭社	金蘭社	創元社	創元社	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂
一月	六月	十月	十月	二月	五月	七月	七月	十月	十月	十一月	十一月	十一月	十一月	十一月	十一月	十一月	十二月	十二月	七月	七月	七月	七月	七月	七月	七月
▲鳥と鳩、獅子の假病、慾ばりとれたみ、雲雀の親子、河と海外十二篇のイソップ物語。 ▲野中の驛で、小使知の猫柳、クレヨン畫、カナリヤのころ、つくしん坊其他。 ▲尋常一年程度を標準に春から一年の季節順を追って書いた課外讀本。 ▲花が咲いたら其他春から始め一年の季節順を追って書いた尋常二年程度の課外讀本。 ▲あがり目さがりめ、強い名、とらになつたれずみ、あかいくつ外十八篇の童話集。 ▲おしくらまんぢゅう、金のメタル、ガラスびんのかげら、シーソー外九篇の童話集。 ▲雪どけ、子とろ、大きな編蝠傘、あれむり王さま、村の英雄外六篇の童話集。 ▲ほんとしにしないけれど、月少年駭者、九官鳥の歌、眠りを盗む外九篇の童話集。 ▲涙の拍手、仙人の道、幸福になつた少女、美しい食卓、長者の萩外六篇の童話集。 ▲三年生程度の兒童の爲め滑稽な童話を收めたもので、おつかび、鉛筆ものがたり其他。 ▲四年生程度の兒童に表す爲の笑の童話を集めた書で、笑のいろ／＼、梯子外十八篇。 ▲絹糸姫、薄の馬、馬鹿の功徳、大食左衛門割れた茶碗、金の白外二篇の童話を收む。 ▲鼻の小人、狼問答、鳩姫、虹色の豆、三つの望、魔法の鏡外二篇の童話を收載す。																									

岡邊白夜編	おもしろい黒い龍赤い龍	岡邊白夜編	おもしろい魂の壺	岡邊白夜編	おもしろい空行く船	岡邊白夜編	おもしろい小さい騎士	山野虎市編	少年少女世界名作物語(9)	山野虎市編	少年少女世界名作物語(10)	山野虎市編	少年少女世界名作物語(11)	山野虎市編	少年少女世界名作物語(12)	山野虎市編	少年少女世界名作物語(13)	山野虎市編	少年少女世界名作物語(14)	山野虎市編	少年少女世界名作物語(15)	久米元一編	竹取物語	三井信衛編	少年少女世界名作物語(16)	少年少女世界名作物語(17)	少年少女世界名作物語(18)
新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布	新編洋布
172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172
一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂	宏文堂
四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月	四月
▲黒い龍赤い龍、臆病王子、馬鹿者探し、三つの寶、水晶姫、王様萬歳外二篇の童話集。 ▲魂の壺、白鳥王子、七頭一撃、古井戸の鬼、和蘭陀行、森の兄弟外二篇の童話集。 ▲空行く船、橋姫、カレムノ靴、黄金の角、村の界、小指姫外二篇の童話集。 ▲小さい騎士、鶏のお客、睡蓮の唄、青い花、天地の環、犬の果し合外二篇のお伽噺集。 ▲絶海の無人島に漂着したロビンソンがあらゆる智慧と力を盡して遂に助かる世界的名作。 ▲アラビヤン・ナイトの中よりアリババと四十人の泥棒、商人と魔の話外二篇を收む。 ▲有名なストリの「奴隷トム物語」で、金貸ハレー、エリザの決心、次の朝外十八篇。 ▲アリスと云ふ少女が白兎を追つて兎の穴へ落ち種々不思議な目にあふといふ物語。 ▲ドン・キホーテが騎士の位を授けられた断主従の公爵訪問、サンチヨの總督任命外六篇。 ▲ウイツスの「スキス家庭ロビンソン」の譯で、家族六人が南洋の無人島へ漂流する童話。 ▲かぐや姫で有名な「竹取物語」を少年少女の爲めやさしく書き改めたもの。 ▲暗夜の密使、四頭馬車、青い信號燈、少年鼓手、霧を突いての五篇より成る物語集。 ▲アンデルセンの童話を集めたもので、親指姫、大クラウスと小クラウス外六篇。																											

徳永壽美子	高橋マリヤ	森川アヲ	カテレーエフ	谷崎伸	山田健二	大島正満	三浦藤作	安倍季雄	天野雄彦	童話作家協會編	童話作家協會編	三浦藤作
お母さんのお話	生命の樹の葉	牢獄の花	金時	彌次喜多満洲見物	高梁の花環	母戀し	少年日本昔噺讀本	實演日本よい國	波のをどり	山の彦いづこ	少年日本お伽噺讀本	
存四六 洋六 布入判	並四六 製判	並四六 製判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	洋四六 布入判	上四六 製入判	洋四六 布入判	布四六 製入判	布四六 製入判	洋四六 布入判
211	190	168	219	202	200	244	452	383	379	297	289	486
〇七	六七	六六	一〇〇	〇七	〇七	一、五〇	二、〇〇	一、二〇	一、二〇	一、六〇	一、六〇	二、〇〇
金の星社	文書堂	文書堂	樂浪書院	金蘭社	新生堂	隆章閣	大同館	協會出版部	新興出版社	四條書房	四條書房	大同館
月七	月一十	月一十	月一十	月一	月九	月十	月十	月二十	月五	月三	月二	月十
▲つばめごっこ、ねずみのいろはかるた、大將のお馬、きいろい子鳥外十四篇の童話集。	▲神の愛と美と義を取り入れた童話を集めたもので、赤いバラの實、生命の樹の葉其他。	▲統領とお母様、金五十七錢也、牢獄の花、大統領とお母様、教會堂の鐘其他の童話説教集。	▲有名な童話「金時計」の譯。	▲彌次喜多の満洲見物で、ヒカウキテシユツバツ外十三篇よりなる童話。	▲本當に強い兵隊さん、涙の嘘つき、高梁の花環、氷の記念篇外六篇の満洲童話集。	▲やさしく書いた動物童話集で、カンガルーの森、オツトセイの鳥の二篇。	▲日本の昔噺を書きなほしたもので、桃太郎鼠の嫁入り、天の浮橋、痛取り外廿四篇。	▲涙の君が代、満洲豚と驢馬、霞ヶ城の花吹雪、お猿の航空兵其他の實演童話集。	▲夢の龍宮(巖谷小波)森の初雪(小野浩)鶏の卵(豊島與志雄)外廿四篇の童話集。	▲傳記篇、實話篇、童話篇に分け十六篇を収めたお話集。	▲浦島太郎、姨捨山、夢殿、田原藤太、ばまぐり姫、田村將軍外廿六篇。	▲盲目の白馬(中村白葉)馬駈け(前田晃)春ほがら(三浦藤作)外廿四篇の童話集。

齋藤公一	水谷まさる	三井信衛	齋藤公一	齋藤公一	立石美和	内田百間	相馬御風	平澤克巳	平澤克巳	平澤克巳	平澤克巳	遊澤青花	遊澤青花	遊澤青花	兒童文學研究會編	
ガリ旅行記	若草物語	少年少女世界名作物語(20)	少年少女世界名作物語(21)	少年少女世界名作物語(22)	少年少女世界名作物語(23)	王様の背の中	日のさす方へ	紅い舟	創作童話集	アシカの曲藝師	太陽征伐	仙術修業	現代童話集			
存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	存四六 洋六 布入判	
150	250	194	176	171	129	68	233	205	214	202	211	381				
八〇	一〇〇	〇六	〇六	八〇	八〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	八〇	八〇	一、二〇				
金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	金の星社	樂浪書院	日實業社	新生堂	新生堂	協一會出	協一會出	耕進社				
月八	月二十	月九	月十	月二十	月九	月八	月二十	月二十	月六	月二十	月二十	月七				
▲ガリ旅行記の中から面白い部分を選んだもので、少人國旅行、大人國旅行の二篇。	▲オルコット女史の書いた二つの小説を一つにした物語「若草物語」を児童に列る様譯す主として少年少女の爲め平易に述ぶ。	▲ルナアルの名作「にんじん」の映畫物語を主として少年少女の爲め平易に述ぶ。	▲悟空、悟淨、八戒の三人が三蔵法師の供をして天竺へ行く途中の奇怪な物語。	▲アラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ、モセの五人をあげて児童に説ける聖書物語。	▲いつまでも子供で居られるフェアリーの國に住むといふヒーターパンの空想を描く。	▲王様の背の中、影法師、狸の勘違ひ、お爺さんの玩具外五篇の繪入お伽噺集。一普及版。	▲学校のたから、カヘルトニラメツコ、なくしたボール其他の童話、童話を集む。	▲氷山と若者、蟻の橋、残されたお辨當、雪女、もつと自由、紅い舟其他の童話集。	▲銀貨と蟬、星を拾った子供、古いピアノと子供達、電球と巡禮の子外九篇の童話集。	▲生蕃人の童話、臺灣人の童話の二部より成る童話集で、太陽征伐、乞食の仙人其他。	▲罪のさばき、朱爛鼻、石が裁かれた話、八哥鳥、仙術修業外二十篇の支那兒童集。	▲草原のきりぎりす(水谷まさる)黒奴の子シミイの話(秋田雨雀)外廿九篇。				

児童書類(童話・児童劇)

長尾 豊	森本 吉治	村上 寛	久留島 武彦	教文館編	教文館編	小出 正吾	朝日新聞社編	小川 未明	杜 修之助	文 群 堂編	大戸 喜一郎
一年の劇・対話・お話し	使へる、こどもの劇 曲譜・振付つき	家庭並 低学年童話	童話久留島名話集	こどものすくひぬし	やさしいエスマ	りんご	童話あさひ童話集	コドモエバナシ	イサマシイハナシ カタカナひらがな二年生文庫(11)	エトドウワ	西遊記 孫 悟 空
上四六 製入判	洋四六 布入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判
210	260	544	323	22	22	190	114	125	193	165	210
一、四〇〇	一、三〇〇	二、五〇〇	二、五〇〇	三〇〇	三〇〇	八五〇	一、四〇〇	一、三〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
新生閣	小島文開堂	文化書房	東洋圖書株式 式合資會社	教文館	教文館	警 醒 社	朝日新聞社	ノコダニモ	金の星社	文 群 堂	金 蘭 社
月二十	月二十	月九	月一	月一十	月一十	月二十	月四	月二十	月三	月九	月三
▲雪ちゃんの人形、獨立守備隊外二十篇の實用寸劇児童劇で、曲譜、振付を附す。	▲小學一年の國語讀本と聯絡のある對話劇並に話を収録し、演じ方の指示と注意を附す。	▲主イエスの愛と守りを主題とした幼稚園の子供にもわかる總カメカメの繪物語。	▲救主、助主としての主イエスを主題とした小學二三年程度の愛らしい繪物語。	▲神祕の角笛、眼を弾かれた鶴、軍馬の魂、牛肉屋大地震其他の童話集。	▲小さい骨、屋裏の大騒、草刈男、鴉と鼻、四五六の自慢、蛙と鳥其他。	▲童話集「るばの子」以後七年間の作品の中から十三篇を収めたもの。	▲懸賞募集に當選せる全国の少年少女及び父兄の童話童話を収録せるもの。	▲タノシイ蝶タイ、ハナビノオト、オレンジノ實、五月ノ川ノ中其他の繪物集。	▲カタカナで書いた勇ましいお話集で、イサマシイ日本少年、フブキノナカノ少年其他マシイ日本少年、フブキノナカノ少年其他	▲きれいな色刷りにしたエトドウワの本で、オマツリ、チコちゃんノテマリ外三十六篇。	▲カタカナで書いたもので、ヒトトビ十萬八千里、フシギナテツボウ外十一篇。

児童書類(児童劇・児童詩・児童藝術)

山田 義郎	葛原 しげる	友納 友次郎	久保田 青二	日本児童劇協會	日本児童劇協會	日本児童劇協會	日本児童劇協會	日本児童劇協會	日本児童劇協會	鬼 頭 昭	日本児童劇協會編	日本児童劇協會編	長 尾 豊
キヤラメル 衛子供テキスト	面白 い童話 讀本 三年の巻	小童 話新 讀本 卷二 尋常 一年 後期 用	一年生 新讀 本の 學校 劇	五六年 の兒 童劇	一年生 新讀 本の 兒 童劇	四五年 の兒 童劇	併女 學用 校上 級生 の學 校劇	或る 小 さな 天才	學校 と家 庭の 兒 童劇 四五年 用	學校 と家 庭の 兒 童劇 一二年 用	學校 と家 庭の 兒 童劇 一二年 用	二年 の劇 ・對 話・ お 話	
上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	
109	147	165	80	70	80	70	70	123	248	230	184		
三〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	六〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、四〇〇		
クオカニ 社ノ	株式 會社 明治 圖書	株式 會社 明治 圖書	祐 文 堂	祐 文 堂	祐 文 堂	祐 文 堂	祐 文 堂	平野 書房	春 江 堂	春 江 堂	新 生 閣		
月五	月六	月二	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月二十	月一	月一	月二十		
▲キヤラメル の空箱を 利用して 種々の 藝術品 を作る 方法を 児童の 爲めに 説いた もの。	▲瀬戸の ボツボ 船、つ くしん ぼ、一 本蕨、 ひよこ の卵、 小犬を つれて かくれ ん坊其 他。	▲アサカ ホ、一 ネン セイ等 久保田 青二氏 の作 品四十 篇を選 んで解 説を施 せる書。	▲日かげ の花、 自力更 生、人 間はい くつ、 選 舉の日、 本譜及 伴奏付、 舞踊振 付、畫 面付。	▲ネズミ ノヨメ イリ、 コブト リ、サ ルトカ ニ シタキ リスズ メ、本 譜及伴 奏付、 舞踊振 付。	▲ニギハ ヤウノ ビヤウ キ、花 サカサ イ、ウ サギト カメ、 モモタ ラウ、 本譜及 伴奏付。	▲びつこ の松虫、 仰げ日 の丸、 鉢の木、 唯れ にも云 ふな、 本譜及 伴奏付、 舞踊、 畫面付。	▲養老、 隅田川、 袖ケ浦、 千鳥の 曲、本 譜及 伴奏付、 舞踊振 付、畫 面、電 氣照 明入。	▲或る小 さな天 才(一 幕三場) 狐と獵 師(一 幕二場) 外四篇 の童話 劇を収 む。	▲尋常四 五六年 の兒 童劇集 で、安 倍川の 義夫 水兵の 母、ウ エリ ント 少年外 十二篇。	▲尋常一 二三年 の兒 童劇集 で、サ ルカニ カッ セン、 白うさ ぎ、虎 と蟻外 十三篇。	▲小學二 年の國 語讀本 と聯絡 のある 兒童劇 並に 話を 収め、 演じ方 の指示 と注意 を附す。		

兒童書類(漫畫・滑稽)

作者	書名	種類	冊数	発行	社名	時期	内容
田河水泡	凸凹黒兵衛	滑稽	第一集	月九	講談社	二、三	婦人倶楽部の附録として毎月添付された漫画で、第一集はぼうふらより葛蒲の笛まで、
田河水泡	のらくろ軍曹	滑稽	第一集	月二十	講談社	一、〇〇	忠臣蔵、雪合戦、豚饅頭、白いのらくろ、ガス覆面、炊事軍曹、軍旗祭外五篇。
井元野水	無敵三銃士	滑稽	三銃士	月三	講談社	一、三〇	長靴を頭に冠つたデン子、トン吉、サル君の三銃士の冒険を綴つた連続漫画。
中田千畝	キチキチ小僧漫遊記	滑稽	キチキチ	月五	講談社	一、〇〇	幼年俱樂部に連載された智慧のあるキチキチ小僧の物語で、西國の巻、東國の巻外三篇。
島田啓三	冒険ダン吉	滑稽	冒険ダン吉	月八	講談社	一、〇〇	ふとした失敗から野蠻島に流れつき蠻公の王様となつて活躍するダン吉の漫画物語。
南達彦	面白モ漫畫三年生	滑稽	面白モ漫畫三年生	月八	金の星社	〇、〇〇	チュウ太とチュウ吉、きやうだい馬、オヤオヤ四人、まんまる仇討外二篇。
南達彦	面白モ漫畫四年生	滑稽	面白モ漫畫四年生	月九	金の星社	〇、〇〇	おじぎ長助、進め！止め！、わんわんレコード、動物製造會社外其他の漫画集。
平賀晟豪	モン吉の拳闘王	滑稽	モン吉の拳闘王	月一	金の星社	〇、〇〇	モン吉の拳闘王、ギヤンゲの殘黨、トン助とポール、コンコン退治外十二篇の漫画集。
久米元一	漫畫スタコラ熊さん	滑稽	漫畫スタコラ熊さん	月三	金の星社	〇、〇〇	ボクハクマハテス、エラクナリタイ、イヨイヨトウキヤウヘ外廿一篇の漫画童話。
南達彦	凸茶目ニコニコ大會	滑稽	凸茶目ニコニコ大會	月五	金の星社	〇、〇〇	まちがひ電話、てんつくてんつく、牛ばぎうにうが好き、お殿様のすもも其他の漫画集。
南達彦	面白モ漫畫	滑稽	面白モ漫畫	月六	金の星社	〇、〇〇	コロカリアンマ、コブノオミヤゲ、オツパイ、トリトケモノノセンサウ其他の漫画集。
南達彦	面白モ漫畫	滑稽	面白モ漫畫	月六	金の星社	〇、〇〇	なまけぶかいかい、ちんどんや、かみなりせいばつ、ちかめのかたきうち其他の漫画集。
南達彦	面白モ漫畫	滑稽	面白モ漫畫	月六	金の星社	〇、〇〇	なまけぶかいかい、ちんどんや、かみなりせいばつ、ちかめのかたきうち其他の漫画集。

兒童書類(漫畫・滑稽)

作者	書名	種類	冊数	発行	社名	時期	内容
南達彦	滑稽あべこべ讀本	滑稽	あべこべ讀本	月一十	金の星社	〇、〇〇	あべこべ讀本、おぢいさんのヒゲ、左様でござる、ものしり大先生其他の滑稽童話集。
平井房人	魔法の巻	滑稽	魔法の巻	月五	創元社	一、〇〇	トシちゃん、海賊の巻、シタ、カウスレバヨロシイ、戦友其他の漫画
大戸喜一郎	カタカナモダン忠臣蔵	滑稽	カタカナモダン忠臣蔵	月六	金の蘭社	〇、〇〇	ヨルノマチ、アルキツサテン、ヤクシヨノラウカ、ヒカウキニツテ外八段。
芳賀マサチ	チビクロ少尉	滑稽	チビクロ少尉	月二	全甲社	二、五〇	元氣で陽気で勇敢なチビクロ少尉の活動を描いた漫画集。
泉ツネチ	ベテイサン	滑稽	ベテイサン	月四	全甲社	二、五〇	サーカス團、魔法の家の二篇より成る漫画物語。
芳賀マサチ	チビクロ中隊長	滑稽	チビクロ中隊長	月五	全甲社	二、五〇	メツボウ強イオ小姓、珍海チヤツケル、ブラ／＼漫遊、エラ／＼連發外六篇。
ハガ・マサチ	チビクロ大隊長	滑稽	チビクロ大隊長	月二十	全甲社	二、五〇	キザリノ木ノボリ、ドロ足袋ソウドウ、咳の妙薬、達磨のサンボ其他より成る漫画。
廣瀬しん平	ミツキー忠助	滑稽	ミツキー忠助	月五	全甲社	二、五〇	モンキイノ本國へ、チビクロノツイラク、ヤミヨノセキコウ、シガイセン其他の漫画
仲井觀坊	くんすけ小隊長	滑稽	くんすけ小隊長	月四	太陽社	八、〇〇	アバレ馬、マカフシギ國、コロコパン國、天勝式大砲の四篇より成る漫画物語。
大野きよし	ゴリラ聯隊	滑稽	ゴリラ聯隊	月二十	太陽社	八、〇〇	大歓迎、ゴリラ、無人島漂流、ライオン征服、どら猫、ミツキーの圓タク其他の漫画集
栗本六郎	忍術トビ助	滑稽	忍術トビ助	月二十	盛光社	〇、〇〇	將校集會所、くろのら一等兵、強行軍、黒猿征伐の四篇より成る漫画集。
				月二十	盛光社	〇、〇〇	ゴリラ聯隊お猿三勇士、シクシリ日記、腕白健ちゃん、關取さん其他より成る漫画物語
				月二十	盛光社	〇、〇〇	飛助の敵、大和茶目太郎、ロボット、トンマのトン吉外二篇より成る漫画物語。

山口 晁	島 いさむ	謝花 凡太郎	大城 のぼる	月形 きよ志	新関 青花	謝花 凡太郎	大城 のぼる	謝花 凡太郎	根岸 幸一	新関 青花	謝花 凡太郎	新関 青花
漫画 獨習 手本	どらくろ 兵隊	兵隊 ドンちゃん	チン 太上等兵	ヒヨッコリ 珍助	チビ 聯隊長	カクタ 漫画ノバクダン	しろちび 漫画艦	タンタラ 漫画隊	勇敢 ボンチャン	トツカン 水兵	ミツキーの 活躍	コロコロ 軍隊
並四六 製入判	洋四六 布入判	布四六 製入判	布四六 製入判	洋四六 布入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	上四六 製入判
112	142	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160
一、五〇	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五
研究 會	富永興文堂	中村書店	中村書店	中村書店	中村書店	中村書店	中村書店	中村書店	中村書店	中村書店	中村書店	中村書店
月十	月一	月三	月四	月六	月七	月八	月九	月十	月十	月十	月五	月一十
▲基本練習の巻、人物の巻、風景動物の巻、應用の巻の四冊から成る漫画手本。	▲いづくさ、どらくろ二等兵、どらくろ上等兵、どらくろ曹長外四篇の漫画集。	▲小人島の巻、蟹が島の巻、猿が島の巻、手足長の巻の四篇より成る漫画物語。	▲チン太上等兵、間拔けな活躍、豚ころ軍、戦争！の四篇より成る漫画集。	▲足輕の子、武者修業、文福茶釜、山上の快珍鳥、群がる敵、大嵐事件外六篇の漫画。	▲新兵募集、満洲大行進、國防新兵器、匪賊團撃滅の四篇より成る漫画物語。	▲カヘルノメダマ、オモシロ漫画クラブ、ウリウリウリノスケ、ニコニコ漫画大会の四篇。	▲しろちび二等水兵、熱海の孤島、食人島上陸の三篇より成る漫画物語。	▲タンタラボンタラ、ボンタラ小狸隊、タンタラ守備兵の三篇より成る漫画。	▲勇敢ボンチャン、トンチンカントリモノチヨ、マンガアツク外三篇の漫画集。	▲怪しきチビ水兵の乗艦、ハンモックの夢、戦技演習、新日本島の四篇より成る漫画集。	▲歓迎篇、珍競技篇、活劇亂闘篇、トンチンカンシツパイ篇等にてミツキーの活躍を描く。	▲コロコロ小豚、戦闘開始、大進軍、内弾戦の四篇より成る漫画物語。

謝花 凡太郎	吉川 禮次郎	まんまるすけ	清原 ひとし	大城 のぼる	帷子 すゝむ	宏 文 堂編	小林 雨 柳	宏 文 堂編	宏 文 堂編	宏 文 堂編	岡 歌 川 小 雨 畫作	岡 けん ぢ
海底王 マーちゃん	無敵 トンちゃん	肉 弾 一 等 兵	石 コロ 太 郎	ト 助 さ ん	滑 稽 ト ン 吉	コダヌキ ボン吉	オドルマンガ	オドルマンガ	オドルマンガ	オドルマンガ	ボンドヌキ 世界メグリ	童話 蠻 勇 クマ 君
布四六 製入判	布四六 製入判	上袖 製珍	上袖 製珍	上袖 製珍	上袖 製珍	上袖 製珍	上袖 製珍	上袖 製珍	上袖 製珍	上袖 製珍	布四六 製入判	布四六 製入判
160	160	166	156	152	152	125	88	130	135	136	136	132
八五	八五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	六五	六五
中村書店	中村書店	草 文 社	草 文 社	草 文 社	草 文 社	宏 文 堂	宏 文 堂	宏 文 堂	宏 文 堂	宏 文 堂	三輪書店	三輪書店
月二十	月二十	月六	月六	月九	月九	月七	月九	月十	月十	月二十	月五	月一十
▲潜水の巻、カインクタウの巻、海底大戦争の巻の三篇より成る漫画物語。	▲大雪、出發、大鬼退治、上陸、恐ろしい街探照燈、争闘、勝利外五篇より成る漫画物語。	▲筑波少年が手柄により一躍少尉となり活躍を演じ終ひに戦死する漫画物語。	▲チビアナキムシノ太郎が、ナンアモ石ニスルジュツチナラヒタイシヤウニナルハナシ。	▲スケサンの武者修業を書いた連続漫画の豆本。	▲トンの誕生より始まり、その頓智ぶりを描ける漫画物語。	▲トツクリノマキ、イタヅラノマキの二篇より成る漫画。	▲目カラ鼻へ、狸トアツシユ、熊と格闘、タカラモノ等漫画繪本。	▲コダヌキボン吉のバケクラベを描いた漫画漫文集。	▲ナンキン豆吉のテンゲタイジの漫画漫文集を収めた繪本。	▲シユツバツ、ボンキチオドリ、ソウトライオン、アタマボツカリ外二篇の漫画物語。	▲チヨシチヨロ助、冒險ダイチヤン、迷の御殿、ゴリラと會長、幸福の夢其他の漫画童話。	▲都へ、落ちた所は!!、アキヤアキヤ、空中放れ葉其他より成る漫画童話。

岸本もとひ	不二木阿古	荒井一壽	日本文学協会	市川十士	鈴木としな	吉田忠夫	安泰	小澤ヨネ吉	荒井一壽	秋山ゆきを	鳥いさむ	鳥いさむ
トモスケノマンユウ	ラツキーの活躍	教育我等の陸軍	長篇カンカラ勝ちやん	漂流記	きびだんご三勇士	トン吉の大冒険	グワンオサルノコツツミ	漫むつゝり右門	のらくら爆笑隊	ミツキーの大活躍	てこぼこ兵隊	真黒のろ兵衛
並四六 製入判	並四六 製入判	上四六 製判	並四六倍 製判	上四六 製判	布四六 製入判	布四六 製入判	上四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	布四六 製入判
160	160	100	62	59	160	160	125	148	142	142	142	142
五八〇	五八〇	四三〇	四三〇	四三〇	一七〇	一七〇	一三〇	八五〇	八五〇	八五〇	八五〇	八五〇
新星社	新星社	日昭館	新聞文藝社	地形社	岡田文祥堂	昭文館	ノコクドニモ	日昭館	日昭館	富文館	富文館	富文館
月四	月四	月七	月六	月七	月六	月九	月九	月二十	月四	月五	月五	月二
▲トキハムカシ、サンクグタイジ、タビノシヨウカツ、エドハツヒヤクヤチャウ其他。	▲海兵團、大轟戦艦、遠洋航海、圖案とハリガミ。	▲軍隊生活の状況を描出したもので入替から除隊までを漫画によつて現す。	▲少年カンカラ勝ちやんとお供たるヘンギン鳥が世界漫遊に出掛ける長篇漫画。	▲漂流記、拳闘大会の巻、海水浴の巻、鐵砲奇談の巻の四篇より成る長篇漫画物語。	▲少年カンカラ勝ちやんとお供たるヘンギン鳥が世界漫遊に出掛ける長篇漫画。	▲釣の歸り道、翌朝、最初の手柄、深夜の怪光、猿の失敗、たぬ吉と風船其他の漫画集。	▲ソラでたア、きびだんご、とらたいち、ヘンダ國、キンケコング其他よりなる漫画集。	▲漂流記、拳闘大会の巻、海水浴の巻、鐵砲奇談の巻の四篇より成る長篇漫画物語。	▲少年カンカラ勝ちやんとお供たるヘンギン鳥が世界漫遊に出掛ける長篇漫画。	▲軍隊生活の状況を描出したもので入替から除隊までを漫画によつて現す。	▲海兵團、大轟戦艦、遠洋航海、圖案とハリガミ。	▲トキハムカシ、サンクグタイジ、タビノシヨウカツ、エドハツヒヤクヤチャウ其他。

児童書類(漫画・滑稽)

大戸喜一郎	佐々木喜一郎	久米元一	岸一敏	下野幸太郎	佐伯平造	日本文化研究所編	日本文化研究所編	日本文化研究所編	蘆間圭	岡げんぢ作畫	岡川小んぢ作畫
恩返しした話	少年の動物美談	動物忠犬ハチ公	忠犬ハチ公物語	日の丸讀本	少年愛國讀本	少年愛國讀本	少年愛國讀本	少年愛國讀本	事實小學三年生美談	漫話昭和のモム太郎	漫話ボンボコ黒助
上四六 製入判	洋四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製判	並四六 製判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	上四六 製入判	布四六 製入判	布四六 製入判
184	328	183	513	220	192	94	146	120	242	132	132
一〇五〇	一、八〇〇	一、〇六〇	二、〇八〇	八〇〇	一、〇七〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇	八〇〇	一〇五〇	一〇五〇
金蘭社	文修堂	金の星社	モナス	三省堂	金の星社	研究所	研究所	研究所	資文堂	三輪書店	三輪書店
月九	月十	月四	月四	月五	月四	月一十	月一十	月一十	月五	月七	月九
▲恩を受けそれに酬ひた古今のお話を集めたもので、學者とおとうふ外十一篇。	▲動物美談を通して少年の徳育を養ふことを目的として述べた書。	▲上野博士の愛犬ハチが九年の間亡き主人を遺谷驛に迎へに出た美談の傳記。附録五篇。	▲主人の死を知らず毎日遺谷驛へ行きその歸りを待つてゐた忠犬ハチ公の物語。	▲日の丸に關係した事柄を材料とした讀物集で、明治大帝御感激の日章旗外十四篇。	▲昔の忠臣の話及び現今の少年少女の愛國的行為を蒐集した書で、高山彦九郎の忠義其他の小勇士健次少年の物語。	▲北海道の管領と開拓を目的とする屯田兵村の物語。	▲三浦三崎の漁村に於ける光一少年とそれをめぐる人達の美談を収む。	▲北浦三崎の漁村に於ける光一少年とそれをめぐる人達の美談を収む。	▲小學三年生の事實美談を輯録したもので、露草、ぼろ新聞、常燈明、双子星外十一篇。	▲獨力自費幾多の困苦に堪へて治水工事を完成せしめた周藤彌兵衛を描く。	▲桃太郎の末孫が先祖に負けぬ大奮闘をする漫話。

児童書類(漫画・滑稽・児童教訓・美談)

谷口武雄	野瀬寛顯	小野誠悟	京都児童會話	二瓶一次	立石忠重
少年を國體本	少年少女愛國談	愛國士ノカヤク忠魂	愛國ジャツク軍曹	皇太子殿下御誕生日記	皇太子殿下御誕生日記
國を救つた話	世界の愛國美談	カヤク忠魂	ジャツク軍曹	御誕生日記	御誕生日記
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
182	216	192	344	160	26
八五	一〇〇	八五	一〇〇	八五	二五
金蘭社	厚生閣	版第一會出	文友堂	厚生閣	弘道閣
月八	月二	月十	月十	月二十	月十
▲げんこう、日本海かいせん、オランダの少年、和氣清麻呂、ネルソン外五篇。	▲わかれの先祖が遺した色々のならはしのお話集で、祭の風習、國旗の話外六篇。	▲世界に於ける少年の愛國美談を描いたもので、少年鼓手、最後の授業、決死の同乗其他	▲殿中の出来事より討入までを描く。更に大石良雄、間重次郎其他の傳記を描く。	▲世界大戦に於けるフランスを舞臺としてジャツク軍曹の愛國美談を物語る。	▲皇太子殿下御誕生に關し皇太子殿下の御事どもを明記せる小學校児童の讀物。

歴史物語・偉人物語

吉田助治	吉田助治	吉田助治	金の星社編	吉田助治	大木雄三	吉田助治	吉田助治	吉田助治	武田勤治	中村時藏	中村時藏	中村時藏
赤旗の光	白旗の光	鎌倉の光	少年少女愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本
平氏時代の巻	源氏時代の巻	鎌倉時代の巻	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本	少年愛國本
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判
192	186	192	161	286	156	174	222	268	355	492	487	424
〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	〇六
文陽堂	文陽堂	文陽堂	金の星社	資文堂	金の星社	文陽堂	文陽堂	南光社	日實業社	大同館	大同館	大同館
月五	月九	月九	月二	月四	月八	月五	月二十	月七	月五	月二十	月五	月二
▲主として平氏に就て述べたもので、佛と神弓の罪、赤旗と白旗、島に泣く人外六篇。	▲源氏時代の巻は伊豆に流された頼朝より西海に滅亡した平氏までを描く。	▲本巻は鞍馬山に於ける牛若丸より實朝が公亮に殺されるまでを描く。	▲平易に書いた日本神話で、神々の誕生、天の岩屋、大國主命と八十神外十五篇。	▲児童の爲め古事記中の説話の殆ど全部を口語に譯し且つ日本書紀以下の古書をも参酌す。	▲平家物語をやさしく書いたもので、清盛入道、祇王と佛、鬼ヶ島、水鳥の羽音外五篇。	▲奈良平安朝時代の物語を兒童の爲平易に述べたもので、平安の都、將軍塚外十篇。	▲國史上に於ける強く勇しく又やさしい物語を収めた書で、武神坂上田村麻呂外五篇。	▲東西古今の偉人の少年時代を描いたもので、豊臣秀吉の少年時代外十四篇。	▲織田豊臣時代の名将蒲生氏郷の傳記で、遠祖田原藤太、蒲生氏郷の父祖外十一篇。	▲苦闘期、飛躍期、完成期の三篇に分けて徳川家康の傳記を描く。	▲藤田東湖の生涯を描いたもので、文化文政の時代、林子平の噂、東湖の幼年時代其他。	▲明治維新の元勳木戸孝允の一代記で、搖籃篇、修養篇、勤王篇、王政復古篇外四篇。

松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平	松秋平		
山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田	山間田		
水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄	水郎雄		
飛行機の知識と操縦の仕方	軍艦と潜水艦の知識	汽車と地下鉄の知識	電氣大發明物語	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本	面白くて驚かす子供の科學讀本		
上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六	上四六		
製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判	製入判		
246	257	222	215	244	218	201	178	215	183	204	184	181										
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	八〇	八〇	八〇	八〇	〇〇	〇〇	八〇										
三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂	吉田書店	吉田書店	吉田書店	吉田書店	吉田書店	吉田書店	吉田書店										
月九	月九	月九	月九	月九	月九	月八	月八	月八	月八	月七	月七	月七										
▲少年少女が自分でも容易に出来る理化學の實驗を對話體にて述ぶ。	▲海、陸、空の三方面から我國の國防の知識を説明したもので、陸の國防外二篇。	▲人類の身體の生理を對話體で判り易く説いた兒童の參考書で、人體の骨格しらべ其他。	▲南北兩極を探検した人々の事蹟を述べたもので、北極を探検した人々外十一篇。	▲飛行機と潜水艦を科學的立場から飛行機は何故飛ぶか潜水艦は如何に潜航するかを説く。	▲天文の知識を判りやすく述べた書で、天文學のはじめ、宇宙の本質、地球外八章。	▲世界の七不思議、世界の高山、北極光、大木と老樹、驚異す可き大運河其他。	▲銃砲の話、戦争の話、空中防備の話外十四篇。	▲自然といふ家の系圖、生物の始祖外二篇。	▲雷の話、電氣の正體、電信の發明者サミュエル・モールス、電信機の作り方外廿篇。	▲萬物皆不思議、世界の起源、動植物の起源。	▲戦争の話、兵器物語、兵器の第一陣。	▲銃砲の話、戦争の話、空中防備の話外十四篇。	▲自然といふ家の系圖、生物の始祖外二篇。	▲雷の話、電氣の正體、電信の發明者サミュエル・モールス、電信機の作り方外廿篇。	▲萬物皆不思議、世界の起源、動植物の起源。	▲銃砲の話、戦争の話、兵器物語、兵器の第一陣。	▲銃砲の話、戦争の話、空中防備の話外十四篇。	▲自然といふ家の系圖、生物の始祖外二篇。	▲雷の話、電氣の正體、電信の發明者サミュエル・モールス、電信機の作り方外廿篇。	▲萬物皆不思議、世界の起源、動植物の起源。	▲銃砲の話、戦争の話、兵器物語、兵器の第一陣。	▲銃砲の話、戦争の話、空中防備の話外十四篇。

渡邊龍策	小林房太郎監修	小林房太郎監修	小林房太郎監修	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	渡邊龍策	
少年滿洲帝國全史	人種・風俗・人情・言語・宗教	山岳・火山・高原・溪谷・地震	山岳・火山・高原・溪谷・地震	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	少年滿洲帝國全史	
布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	布四六	
裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	裝入判	
272	300	303	303	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	272	
〇〇	一〇	一〇	一〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	
南光社	有文書院	有文書院	有文書院	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	南光社	
月九	月四	月一	月一	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	月九	
▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲世界に於ける人種、風俗、人情、言語、宗教等に於ける兒童の爲め平易に述ぶ。	▲山岳、火山、高原、溪谷、地震等に關する知識を兒童の爲め平易に説述す。	▲山岳、火山、高原、溪谷、地震等に關する知識を兒童の爲め平易に説述す。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。	▲新興滿洲帝國の歴史を少年少女の爲めに書いたもので、滿洲帝國皇帝陛下外十六篇。

兒童書類 (科學物語・兒童年鑑・兒童辭典)

寺島 桓史	發明科學物語 未來の兵器の發明物語 科學戰爭	布四六裝判	280	一、〇〇〇	兒童百科辭典 刊行會	二月二十	▲各國科學、産業を總動員して研究し密かに製作しつゝある兵器を中心として未來戰を語る
渡邊 軍治	發明五十萬年物語 春陽堂少年少女文庫(315)	並菊半裝載	292	四、五	春陽堂	八月	▲人間がどんな工合に發見をし發明をし、今日に至つたかを判り易く述べたもの。
日本文化研究所編	小國民文庫(5) 驚異の丹那トンネル	上四六裝判	134	八、六	日本文化研究所	十一月	▲世界的難工事と言はれた丹那トンネル開通の裏にかくされた十六年間の惡戰苦闘史。
吉田 弘	東京女子高等師範學校教授 神祕・驚異・怪奇の自然譚	上四六裝判	221	一、〇〇〇	南光社	八月	▲少年少女の爲め世の中の疑問、不思議、神祕、怪奇、驚異とに就て説明す。
堀 七藏	東京女子高等師範學校教授 兒童の日常の化學	上四六裝判	259	〇、九	同文館	五月	▲兒童の質問に對して納得せしむべく日常の化學を平易に説いた書。一改訂版。
柴山 雄三郎	理學士 子供の疑問四季の理科二百題	春四六布判	310	一、五〇	誠文堂	六月	▲子供の聞きながらの問題を選び、春、夏、秋、冬に別けて解説せるもの。
楠木 卯馬	漫畫の理科	上四六裝判	206	〇、七	三笠書房	二月二十	▲日常のあらゆるところに存在してゐる理科の出來事を漫畫化したもの。
柴山 雄三郎	理學士 子供のきモノシリ博士の理科	上四六裝判	400	一、五〇	モナス	九月	▲子供が開きたがる理科の話をして二百七十一題收めそれに解説をなせるもの。
國防科學研究會	少年科學戰爭 科學實驗 玩具の作り方	上四六裝判	177	八、八	二松堂	九月	▲現在及び將來の戰爭に於ける科學兵器に就てわかりやすく述べた書で、煙霧戰術外十篇を有に子供に聞かせる科學の話の姉妹書で日曜日を
原田 三夫	一年五十二週間の科學實驗 日曜の楽しみ	布四六裝判	400	一、六〇	誠光堂	二月二十	▲子供に聞かせる科學の話の姉妹書で日曜日を有に子供に聞かせる科學の話の姉妹書で日曜日を

兒童年鑑・兒童辭典

▲皇室、宮廷、重要詔勅、重要法典、歴史、政治、日本地理其他より成る兒童年鑑十年版

▲皇室、宮廷、重要詔勅、歴史、政治、日本地理、學習常識其他を掲げた學友年鑑十年版

兒童書類 (兒童年鑑・兒童辭典・少年團)

兒童教育研究會編	兒童圖解百科辭典	布四六裝判	280	一、〇〇〇	兒童百科辭典 刊行會	二月二十	▲全頁圖解四色三色二色寫眞國防地理歴史理科屋座スホーツ趣味手工小學生の參考書
少年團日本聯盟	少年團健兒 公民篇	並四六裝判	166	四、〇	少年團聯盟	五月	▲建國理想より説いて正しき日本精神を指示せるもの、合せて陸海軍、政治、制度を説く
少年團日本聯盟	少年團健兒 野外生活篇	並四六裝判	178	四、〇	少年團聯盟	三月	▲健兒の旅・ハイキング・登山等少年團員の戸外に於ける訓練の大綱を詳説す。
内田 二郎	よき二級少年健兒に なるには(上卷)	並菊半裝載	45	二、〇	少年團日本聯盟	二月二十	▲少年團の進級制度の内、二級健兒になる迄をわかり易く書いた讀本。
内田 二郎	よき二級少年健兒に なるには(下卷)	並菊半裝載	45	二、〇	少年團日本聯盟	二月二十	▲少年團の進級制度の内、二級健兒になる迄を書いたもの。
内田 二郎	よき見習少年健兒に なるには	並菊半裝載	37	二、〇	少年團日本聯盟	五月	▲少年團の進級制度の内、見習健兒になる迄を平易に書いた讀本。
小峰 平一郎	少年團救急法	並菊半裝載	67	二、〇	少年團日本聯盟	五月	▲少年團員として知っておかねばならぬ救急法を分り易く記載したもの。
本庄 俊輔	結索法の手引	並菊半裝載	107	二、〇	少年團日本聯盟	五月	▲少年團の作業の中、結索法について綿密な圖面を入れて親切丁寧に書いたもの。
吉川 哲雄	班の野營法	並菊半裝載	67	二、〇	少年團日本聯盟	四月	▲一班七名を以つて野營を行ふ場合に於ける出發より歸宅までを説明す。
吉川 哲雄	營火の仕方	並菊半裝載	84	二、〇	少年團日本聯盟	四月	▲野營地に於ける夜の集ひとして、營火は如何に行ふものかを平易に説く。
吉川 哲雄	ハイキング讀本	並菊半裝載	95	二、〇	少年團日本聯盟	四月	▲ハイキングは如何になすべきや、少年團員として心得おくべき事を説く。
若宮 正閑	時作業	並菊半裝載	86	二、〇	少年團日本聯盟	四月	▲閑時を利用し善用し、創造し工夫し、廢物を利用する事を説明す。

(B) 兒童學習書

各科學習書

吉田 武編 全小學生辭典	藤田 正範 五科の總仕上げ
上四六 製判 555	上四六 製判 230
〇六 學修館	〇八 教材研究社
月四	月九
▲教科書に表はる、一切の字句並に教授用語難解なものな網羅し解釋せる辭典。	▲學校家庭に於ける受驗學習書で、算術、讀方、理科、地理、國史の五冊。

讀方學習書・綴方學習書

日本教育聯盟編 國語の完成	三省堂編輯所編 小學國語讀本單語帳	三省堂編輯所編 小學國語讀本單語帳	大日本教育聯盟 小學綴方基本問題集	佐藤中武烈 小學綴方讀本	佐藤加壽輔 小學綴方讀本
容菊 布判 283	並三五 製判 277	並三五 製判 294	並四六 製判 287	並菊 製判 58	並菊 製判 60
〇五 育日聯本盟教	〇三 三省堂	〇三 三省堂	〇八 新生閣	〇三 啓文社	〇三 啓文社
月十	月一十	月一十	月一十	月五	月五
▲最新傾向による最も重要な問題を各卷各課によつて排列せる受驗の指針書。	▲尋常五年用國語讀本各卷九、卷十の單語に讀み方及び意義を施し、各課に類字其他を附す。	▲尋常六年用國語讀本各課に類字其他を附す。	▲本年度中等諸學校の入学問題を全国的に網羅し教科書に準據して收め解答を附す。	▲尋常三年の綴方に關する題材を説き、文例を収録したもので、面白いこと外十課。	▲尋常四年の綴方に關する題材及び文例を収録したもので、生きもの、友達外八課。

算術學習書

檜高憲三 算術	中前重義 算術	遠矢黎明 算術の秘訣	研究會編 系統的算術の學び方	大日本教育聯盟 算術基本問題集	岩下吉衛 算術代數問題解法
並四六 製判 413	並四六 製判 146	並菊 製判 228	並四六 製判 332	並四六 製判 152	並四六 製判 344
〇七 廣陵社	〇三 小學出版社	〇八 春陽堂	〇八 采文閣	〇三 新生閣	〇二 明治圖書株式會社
月五	月一十	月二十	月五	月一十	月五
▲小學兒童の爲め質問に口問にあらゆる場合を擧げて算術の知識を説く。	▲小學算術教授に於ける各算法形式の最終要領を明かにせる重要問題の解法を暗示す。	▲全國官立一流中等學校の算術入試問題を統一的に研究し、問題を收め解答を附す。	▲小學校上級生の爲め、最近の全國各中等學校の入試問題及び重要問題を集録す。	▲本年度中等諸學校の入学問題を全国的に網羅し教科書に準據して重要問題を解明す。	▲高等小學校に於ける算術書の代數問題の解法を説ける書。

歴史學習書

栗山周一 新小學國史の勉強	天生日倉吉 國史の實力
布四六 製判 370	並菊 製判 110
〇二 大同館	〇二 牛山堂
月七	月六
▲尋五國史教科書の副國史或は参考書として挿畫其他を解説し、目的のつけどころを記載す。	▲五・六年の國史教科書を中心とし、基礎篇及總合篇に分ち、あらゆる問題を簡明に解説す。

地理學習書

兒童學習指 導研究會編 地理の學び方	天生日倉吉 地理の實力
並菊 製判 116	並菊 製判 170
〇六 小學出版社	〇三 牛山堂
月三	月六
▲小學五六年用の地理の學び方を説いた參考書で、學習の着眼點を示し、解答を施す。	▲五・六年の地理教科書を中心として、基礎篇及總合篇に分ち、總ての問題を簡明に解説す。

理科學習書

天生目倉吉	三省堂編輯所編	三省堂編輯所編	三省堂編輯所編	三省堂編輯所編
理科の實力	わはつきり 図表の理科	わはつきり 図表の理科	わはつきり 図表の理科	わはつきり 図表の理科
並菊	並菊	並菊	並菊	並菊
製判	製判	製判	製判	製判
155	206	206	224	224
三五	四五	四五	四五	四五
牛山堂	三省堂	三省堂	三省堂	三省堂
月六	月二	月二	月二	月二
▲四・五・六年の理科書を中心として、基礎篇及總合篇に分ちあらゆる問題を簡明に解説す	▲一目で分るやうな表解式で、一課に一圖の割で圖解を掲げた参考書。	▲表解と圖解を収めた尋常六年生の理科参考書。	▲各課毎に右の頁に表解を、左の頁に圖解を配置せる學習書。	▲昭和九年度に於ける東京府の男女中等學校の代表校の入試問題を収め模範解答をなす。

入學試験問題集

教育學習社編	春陽社編輯部編	春陽社編輯部編	遠矢黎明編	日本教育聯
昭和九年 東京府中等學校 入學試験問題模範解答集	男子東京府中等學校 入學試験問題 及び模範解答	女子東京府中等學校 入學試験問題 及び模範解答	女子東京府中等學校 六ヶ年 試験問題及解答	試験に 必ず出る 口頭試験と 模範答へ方 各科の整理
並四六	並四六	並四六	並四六	春菊
製判	製判	製判	製判	春菊
337	629	458	406	450
五	三〇	〇	七〇	〇
淺見文林堂	春陽社	春陽社	中等教育社	育日
月五	月五	月五	月六	月二十
▲昭和九年度に於ける東京府の男女中等學校の代表校の入試問題を収め模範解答をなす。	▲東京府管内の官公立中等學校の入學考査問題を収めて解答を添へたもの。昭和九年版。	▲東京府管内の女子中等學校凡そ百餘校で行はれた入試問題及び解答集。昭和九年版。	▲昭和四年より九年までの東京府に於ける女學校の入試問題及び解答を収録。	▲一般常識及び各科口頭試験の問題を掲げ答へ方並に受験指導欄を施す。

東京堂書關係定期刊行物

- ◇東京堂月報……………(月一回・定價金十錢)
月々の新刊書を詳しく報導し、豫約配本一覽、豫約新募集案内、創刊雜誌、出版界消息、ならび諸名家の書物に關する評論・感想・隨筆を毎號掲載した讀書人の必讀雜誌。
半年分(六冊)金五十錢・一ヶ年分(十二冊)金一圓。
- ◇新刊案内……………(月三回・無代進呈)
新刊速報誌。每號御入用の御方は送料として半年分金十八錢。一年分金廿六錢御送金の事。
(半年分一年分以外の申込は受けず、必ずその月の一日號より御申込みの事)
- ◇出版年鑑……………(年一回・定價金一圓)
- ◇雜誌總目錄……………(年三回・無代進呈)
- ◇ラニエト圖書雜誌目錄……………(年一回・無代進呈)
- ◇ポーナ・アミッコ……………(年四回・無代進呈)

東京市神田區神保町一ノ一七
株式會社 東京堂書店
通信販賣部

振替口座東京二七〇番
電話神田(25) 〇〇四二七番
〇〇七七〇番

電氣現業日記 (三五判)	六〇	一四	書道日記 (四六判)	二〇〇	二二	ローマ字懐中日記 (三五判)	五〇	〇四
電氣現業日記 (三五判)	六〇	一四	新撰書道日記 (四六判)	一〇〇	一四	ヨコガキ日記 (四六判)	一〇〇	〇四
農業日記 (四六判)	七〇	一三	書道日記 (四六判)	二〇〇	一四	新橋	〇	〇
農婦人日記 (四六判)	七〇	一三	書道日記 (四六判)	二〇〇	一四	卓上備忘曆 (二號)	一〇〇	一四
實用日記 (四六判)	七〇	一三	歴史日記 (四六判)	一〇〇	一四	同 (三號)	九〇	一四
同 (三五判)	七〇	一三	その日その日 (四六判)	一〇〇	一四	同 (四號)	九〇	一四
同 (三五判)	七〇	一三	令女日記 (四六判)	一〇〇	一四	同 (五號)	九〇	一四
臺所經濟帳 (四六判)	四〇	〇六	第一書房	〇	〇	同 (六號)	八〇	一四
豫定日誌 (四六判)	四〇	〇六	自由日記 (四六判)	三〇〇	一三	同 (七號)	八〇	一四
婦人之友社	〇	〇八	手帖日記 (上編)	五〇	〇四	同 (八號)	八〇	一四
主婦日記 (四六判)	六〇	〇八	日本評論社	〇	〇	同 (九號)	八〇	一四
少年少女の生活日記 (四六判)	五〇	〇八	新日記 (四六判)	一〇〇	一三	同 (十號)	八〇	一四
家計當座帳 (四六判)	三〇	〇四	新日記 (附冊)	一〇〇	一三	同 (十一號)	八〇	一四
家計簿 (四六判)	三〇	〇四	教育資料株式会社	〇	〇	同 (十二號)	八〇	一四
ライオン贈本舗	〇	〇	心の日記 (四六判)	七〇	一〇	同 (十三號)	八〇	一四
ライオン贈本舗	〇	〇	心の日記 (三六判)	七〇	一〇	同 (十四號)	八〇	一四
同 (四六判)	八五	一四	日本のローマ字社	三〇	〇六	同 (十五號)	八〇	一四
同 (四六判)	八五	一四				同 (十六號)	八〇	一四

朝日新聞社	五〇	〇八	文藝ノート (四六判)	六〇	一三	新農家日記 (四六判)	七〇	一三
マサヒ日記 (少年用) (四六判)	五〇	〇八	詩歌手帳 (三五判)	五〇	一四	青年國防普及會	〇	〇六
朝日當用日記 (四六判)	五〇	〇八	近江セールの會社	三〇	〇四	青訓日記 (上編)	四〇	〇六
釣日記 (四六判)	一〇〇	〇六	立命館出版部	一〇〇	一〇	野はら社	六〇	〇四
新日記 (上編) (四六判)	三〇	〇四	聖典日記 (四六判)	一〇〇	一〇	愛日手牒 (上編)	六〇	〇四
同 (下編) (四六判)	三〇	〇四	俳句自由日記 (四六判)	一〇〇	〇八	戰友手牒 (上編)	六〇	〇四
同 (三五判)	三〇	〇四	新俳句日記 (四六判)	一〇〇	〇八	學友手牒 (上編)	六〇	〇四
最新家計簿 (A型) (新刊)	五〇	〇八	中央佛教社	〇	〇	改造社	〇	〇
同 (B型) (上編) (新刊)	五〇	〇八	佛教日記 (布製)	〇	〇	俳句日記 (四六判)	一〇〇	一〇
同 (B型) (下編) (新刊)	五〇	〇八	國民書院	〇	〇	軍隊日記 (布製)	七〇	〇六
電氣家日記 (布製)	七〇	一〇	學生日記 (三六判)	六〇	〇六	大東出版社	〇	〇
同 (電氣法規集) (布製)	七〇	一〇	天勝堂	〇	〇	佛教日記 (四六判)	一〇〇	一三
同 (電氣法規集) (布製)	七〇	一〇	富民協會	一五〇	一四	野村證券株式會社	〇	〇
同 (電氣法規集) (布製)	七〇	一〇				經濟日記 (四六判)	六〇	一四
同 (電氣法規集) (布製)	七〇	一〇				元光社	〇	〇
同 (電氣法規集) (布製)	七〇	一〇				釣人日記 (四六判)	一〇〇	一〇
同 (電氣法規集) (布製)	七〇	一〇						

獨文自由日記(著者題) 〇南江堂 一〇〇〇六	獨文日記(上巻) 〇文友堂 一〇〇〇六	看護婦日記(布六判) 〇文新堂 〇一〇〇	文新日記(著者題) 〇隨意日記(著者題) 〇英文隨意日記(三五判) 〇修養圖關西聯盟 〇修養自由日記(布六判) 〇新家計簿(例上) 〇不二屋書房 〇クリスチャン ダイアリー(布五判)	自由日記(洋六判) 〇至誠堂 八五二二	〇弘文社 ニコノ日記(洋六判) 一〇〇〇一〇	〇五年間日記發行所 三年間夢想詩行(洋六判) 〇文獻堂 一〇〇〇一〇	山想日記(上巻) 〇J・C・C出版部 一〇〇〇一〇	山旅日記(上巻) 〇玄洋社 一〇〇〇一〇	新俳句手帖(布五判) 〇修養園 〇〇〇〇一〇	向上日記(洋六判) 〇新生堂 〇〇〇〇一〇	〇日曜生徒日記(上巻) 〇東京實業社 〇〇〇〇一〇	〇全國兵書組合 軍隊日記(著者題) 〇新正堂 〇〇〇〇一〇	樂久我記(著者題) 〇新家計日記發行所 〇新生日記(洋六判) 〇田中宋榮堂 時間日記(洋六判) 一〇〇〇一〇	軍除日記(著者題) 〇新正堂 〇〇〇〇一〇	樂久我記(著者題) 〇新家計日記發行所 〇新生日記(洋六判) 〇田中宋榮堂 時間日記(洋六判) 一〇〇〇一〇
------------------------------	---------------------------	----------------------------	---	---------------------------	------------------------------	---	---------------------------------	----------------------------	------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	--	---	-----------------------------	---

躍る進る師範大講座

編田中寛一 修身倫理 全十卷 送毎月拂金一圓五十 要小學校、中等學校に於ける教育 修身講座。是非必讀せられべき	編田中寛一 教育・心理 全十卷 送毎月拂金一圓五十 要教育の本山たる東京・廣島兩高 等師範の教育・心理教室總動員 で執筆す。	編田中寛一 數學教育 全十卷 送毎月拂金一圓五十 要本邦數學教育界未曾有の大文献 と折紙づけられた講座。學界よ り絶賛を賜ふ。	編阿部太郎 國語教育 全十卷 送毎月拂金一圓五十 要本邦に於ける國語教育の理論及 實際は本講座によつて、完全に 檢討された。	編保科孝一 國語教育 全十卷 送毎月拂金一圓五十 要初等、中等教育の理科教授につ いて、その理論と實際を斯道の 實際家によつて公開す。	編田中寛一 理科教育 全十卷 送毎月拂金一圓五十 要小學校、中等學校の體育者諸氏 の爲めに、初めて出來た體育全般 に亘る指導書。	編田中寛一 體 育 全十卷 送毎月拂金一圓五十 要「教育者のため」に、こころをい れ、かつ念頭において執筆。編輯さ れた本邦唯一の講座。	獨逸語講座 全六卷 送毎月拂金一圓五十 要「教育者のため」に、こころをい れ、かつ念頭において執筆。編輯さ れた本邦唯一の講座。	近世論理學概説 二・八〇 丸山良二著	東洋倫理學史 二・三〇 小野正康著	西洋倫理學史概説 四・八〇 矢部周藏著	日本學とその思惟 四・八〇 編年體西洋史觀 三・〇〇	教育心理學 四・五〇 送料
--	--	---	--	---	--	--	---	--------------------------	-------------------------	---------------------------	-------------------------------------	---------------------

七一七

東京市牛込區 建文館 電話 四五八七番
東京市牛込區 建文館 電話 四八三七八番

理科・數學科學受驗者必須不可缺的好著推薦

高等物理學提要

絶讚的推賞の名著

最新刊 [卷上]

文檢並に大帝理科受驗者必備の書
 本書は主として高等物理學の基礎となるべき知識を、簡明扼要に述べ、その理解を容易にする。また、各章の終りに練習問題を附し、その解答も併載してある。これにより、読者は自ら問題を解き、その理解を深めることができる。本書は、理科受驗者だけでなく、一般の物理學愛好者にも、大変役立つ良書である。

理學士 大島久次郎氏著

菊列特製函入
 定價二圓八十錢
 送料金二十一錢

大好评の姉妹書

河野 徳助著	同 著	同 著	同 著	北村 友圭著	山崎 榮一作著	鈴木 一郎著	秋山 武太郎著	同 著	同 著	清水 清吾著	森本 清吾著
最近微分積分學精義	代初等微分式附變文學論	統實用高等數學綱要	確率及最小平乘	幾何學	幾何學	幾何學	幾何學	幾何學	幾何學	幾何學	幾何學
價五・五〇送・三三	價五・〇〇送・三一	價三・三〇送・一一	價一・八〇送・一一	價二・五〇送・一一	價二・五〇送・一一	價二・五〇送・一一	價二・五〇送・一一	價二・五〇送・一一	價二・五〇送・一一	價二・五〇送・一一	價二・五〇送・一一

七一九

(版出入挿本見容内)
 (呈進代無録目書圖)

最新刊 高等實用數學

理學士 北村友圭氏著
 定價參圓送料廿壹錢
 菊列特製函入
 本書は、高等實用數學の入門として、初學者の理解を容易にする。また、各章の終りに練習問題を附し、その解答も併載してある。これにより、読者は自ら問題を解き、その理解を深めることができる。本書は、理科受驗者だけでなく、一般の物理學愛好者にも、大変役立つ良書である。

東京市神田區保町一ノ五
 高岡本店
 雷田一 電話二二八番
 振替東京二一四三番

絶對に信賴し得る

東京商科大学教授 牧

一先生著

代數學方の新研究 著者 吉岡斗松先生著

受位驗 英文和譯新指導

第三高等学校教授 阪倉篤太郎先生著

受位驗 和文英譯新指導

大谷大學教授 浦川源吾先生著

受位驗 幾何新指導

受位驗 幾何融合問題指導
 受位驗 國文解釋
 受位驗 漢文解釋

●內容見本
 御申越次第急送

發行所

東京市日本橋區
 本町四丁目十一

盛林堂書店

七一八

目書版出堂榮松るあ威權

高橋觀城著	高橋觀城著	高橋觀城著	高橋觀城著	高橋觀城著	高橋觀城著	谷口健治著	中央無綫 研究会編	鈴木野金作著	宮崎 茂著	淺田政一著	谷、耕一著	日本寫友會編	永田喜健著	飯田耕三著
ペン三體漢字のくづし方	若き男のペン習字書翰文	現代男子ペン習字書翰文	習字 女子の日常の便り	若き女のペン習字書翰文	現代女子ペン習字書翰文	麻雀競技法	最新ラヂオ受信機の組立	巡查受験學科獨習	新短歌入門	覚え易く應用速記術	社交ダンス第一歩	藝術寫真と夜間撮影	寫眞のうつし方	寫眞術の初步
送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・七〇	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 一・八〇	送料・定価 一・三〇	送料・定価 一・〇〇	送料・定価 一・三〇	送料・定価 一・〇〇	送料・定価 一・〇〇	送料・定価 一・〇〇
三輪一雄著	青柳邦彦著	中村美代子著	佐藤正治著	佐藤正治著	佐藤正治著	佐藤正治著	佐藤正治著	編本 享著	加藤莊一著	益本重雄著	石原 坦編著	大石喬一著	第二高校教授	井口泰久編
新青年手紙の端書文	新女子手紙と端書文	手紙に和洋料理の拵へ方	珠算の學び方	算術の學び方	幾何學の學び方	代數學の學び方	英語の初步學び方	英語の初步學び方	三四年の英文法	聽取書取の急所	受驗模範作文	受驗幾何學の根柢	受驗代數學の根柢	工業數學便覽
送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 〇・八五	送料・定価 一・〇〇	送料・定価 一・〇〇	送料・定価 一・〇〇	送料・定価 一・〇〇	送料・定価 一・〇〇	送料・定価 一・〇〇	送料・定価 一・〇〇

東京市神田區三丁目一〇番六 松榮堂書店 振替東京一〇七四一六番

考へ方叢書一覽表

著者	書名	定價	送料
藤森良藏	算術學び方考へ方と解き方	1.30	6
同	代數初步學び方考へ方と解き方講義	1.10	6
同	幾何初步學び方考へ方と解き方講義	1.10	6
塚本哲三	漢文初步學び方考へ方と解き方講義	1.00	6
同	國文初步學び方考へ方と解き方講義	1.00	6
藤森良藏	代數學び方考へ方と解き方上卷	1.10	6
同	代數學び方考へ方と解き方下卷	.90	6
藤森良藏(共著)	精説幾何學び方考へ方と解き方	1.60	8
藤森良夫	要説幾何學び方考へ方と解き方	.90	6
藤森良藏	三角法學び方考へ方と解き方	1.00	6
同	カード式代數學び方考へ方と解き方 第一卷	.80	8
同	カード式代數學び方考へ方と解き方 第二卷	.80	8
同	カード式代數學び方考へ方と解き方 第三卷	.80	8
藤森良夫	初等解析幾何學び方考へ方と解き方	1.60	8
同	初等微分學學び方考へ方と解き方	1.60	8
塚本哲三	漢文學び方考へ方と解き方	1.30	8
同	國文學び方考へ方と解き方	1.30	8
同	作文學び方考へ方と作り方	1.30	8
同	カード式書取及文法學び方考へ方と解き方	.80	8
寺尾正一	既知より未知を征服する漢文考へ方	1.20	6
宮坂三重	物理計算法學び方考へ方と解き方	1.00	6
近藤音三郎	物理學び方考へ方と解き方講義	1.50	8
同	化學學び方考へ方と解き方講義	1.30	6
同	化學計算法學び方考へ方と解き方講義	.50	4
下泉重吉	要説植物及動物	.80	6
今井登志喜・克積	西洋歴史學び方考へ方と解き方	1.50	8
同	國史學び方考へ方と解き方	1.50	8
野原三郎	英語學び方考へ方と解き方	1.30	8
同	英語基本單語集	.90	6
藤森良藏	數學問題練習カード	.50	10
塚本哲三	國語漢文問題練習カード	.50	10
藤森良藏	受驗者の取るべき道	1.30	8
尾深金衛	高等學校・專門學校寮歌集(樂譜付)	.80	6
伊東月草	俳句の考へ方と作り方	1.20	6
關 寛之	兒童教養の考へ方	1.80	10
邦枝完二	戯曲の見方と考へ方作り方	1.00	6
藤森成吉	受驗小説選集	.85	6
東京帝大新聞	高等學校——進路と展望	1.00	6

發行所 東京市神田區三丁目一〇番六 考へ方研究社 振替東京一〇七四一六番

月刊棋道
月刊圍棋クラブ
月刊圍棋講義錄
月刊圍棋講義錄
月刊圍棋講義錄
月刊圍棋講義錄

月刊棋道 一冊五十錢 送料一錢 一年分 六圓五十錢(稅共)

月刊圍棋クラブ 一冊五十錢 同 一年分 六圓(稅共)

月刊圍棋講義錄 一冊三十錢 同 一期分 二圓四十錢(稅共)

月刊圍棋講義錄 一冊 四 送料四錢 六 冊 完結 六 圓(稅共)

月刊圍棋講義錄 一冊 四 送料四錢 十二冊 完結 十二圓(稅共)

月刊圍棋講義錄 一冊 四 送料六錢 八 冊 完結 八 圓(稅共)

定價一冊一圓五十錢(送料六錢)

財團法人 日本棋院
東京市麴町區永田二丁目一目番地
電話 銀座七〇五番
電話 銀座八五六番

出版圖書目錄
郵券或
乞封入

理論的教育學

東京文理科大学教授 文學博士 篠原助市先生著
文部省教育調査會長
我が教育界に於ける理論的教育學の系統的な最初の成果である本書は教育學の根本概念たる根本意志の教養と精神的作業の原則をつきとめ、之から演繹して教育方法上の原理にまで論及したものである。

教育の本質と教育學

東京文理科大学教授 文學博士 篠原助市先生著
文部省教育調査會長
先づ著者は先驗的教育的立場に立つて教育現象の本質を究明し、進んで教育學の對象、方法、性質及び精神科學に於けるそれらの位置に關して詳述してゐる。

漢詩作法要義

大正大學教授 文學士 西澤道寬先生著
二松學舎專門教授
從來刊行せられた此種の書籍中平仄を誤り韻礎を誤りたるもの多し、本書は特に平仄を嚴密に更訂し、豐富なる語を最も見出し易き様に排列して從來の不備の點を匡救し、初學者にも諒解し易きやう説述す

日本文學史綱要

中央大學教授 文學士 増子懷永先生著
著者は高等學校、文部省にありて精神科學研究に従事せられたる蘊蓄を傾け、上下三千年に亘る我國傳統の精神を年表と解説と書誌と傳記と文例の五方面より詳悉し此の大冊の完成を見るに至つた。時局を直視して時代の思潮に棹さんとする新人に薦む。

發行所

東京市神田區
神保町二の二六

同文社

振替東京六九二七九
電話九段三八八七

雙解 獨和大辭典

片山正雄著 紙數二五〇〇頁 總クローズ 金八圓 總革製本 金九圓

辭書は生きて言葉の生々化に應じて間断なく生長する生物でなければならぬ。本書は既に數次の改訂を経て常に最も新らしき「獨和」として本邦獨逸語界の權威たり來つたのであるが、今次の第十三版に於ては、本書に未採録の新造語新意義を始め、俗語、流行語、誤用語の類を採録せるは勿論、「大辭典の補遺」として多數の慣用外來語、獨逸語及外來語の前綴後綴の説明發音解等に亘り更に第一次改訂版に漏れたる訂正若しくは修正を添へて茲に八拾餘頁を追加し一面には日本語の變化に隨伴せる譯語をも加へ、以て「常に清新」なる本辭典の特色を發揮したものである。

雙解 獨和小辭典

幾多小型獨和辭典中本書の如く 紙數總クローズ 金四圓 總革製本 金四圓五十錢

獨和原外語辭典 一篇にして能く三篇の働きを爲す三位一體のありや？

語周到本位 文法との關係を有する密接な機械的ものありや？

正當充實 推敲洗練の極に達し眞に信頼して用ひ得るものありや？

袖珍 獨和辭典

片山正雄監修 紙數六五〇頁 總革製本 金二圓五十錢

語彙の最小限が權威ある原辭典に依つて保證せられ有用にして精選された派生語、複合語、外來語及新造語、新意義等を以て擴充せられたる爲め頁數との比に於て如何なる本格的辭典をも凌駕する語彙を有す、殊に卷末に附した辭書を引く爲の獨逸文法及變化表發音表等は初學者、獨學者に取つて重寶至極の案内者で本辭典の利用價値を幾百パーセントにも高めむ。

大辭典追加

別冊發行 金三十錢 小辭典袖珍辭典の使用者にも便益を頒たため、別冊として發行し印刷費を以て流く費需に應ずることとす

東京市本郷區春木町 振替東京一四九 株式會社 南江堂 各書店にあり
京都市寺町通御池南 振替大阪一一五〇五

七二九

實用園藝

東京府立園藝學校編纂
菊判總クローズ函入・紙數六五八頁・挿入圖版四百五十六圖・口繪寫眞版八頁・定價四圓五十錢・送料三三錢
指引人にも、副業として營む人にも、園藝を營一讀活用できる人にも、園藝百科の新知養。

呈進本見容内

七二八

- ★大輪朝顔栽培考 遠藤保太郎 二〇〇
- ★園藝植物繁殖法(上) 田中論一郎 二〇〇
- ★本位 蔬菜栽培精義 米内山泰介 五八〇
- ★日本農林審査總覽 川崎甫 二八〇
- ★最新酒精製造法 小穴富司雄 二五〇
- ★畜産學粹 千島喜久男 一三五
- ★實驗桑樹品種論 鶴田定平 五〇〇

本讀業工村農

著治富藤佐 員委務常會協業工村農
〇一料送 〇五・一價定

說圖濟經村農

著郎七藤原栗 士學農
八 料送 〇八・一價定

史業農本日俗通

著吉善代田
四 料送 〇六・一價定

絲蠶と界維織界世

著三省村今 士學農
三三料送 價定

目丁一町錦區田神市京東
番〇九一三一京東替振

堂文明

【要目】 ●栽培汎論 ●蔬菜類 ●果菜類 ●葉莖菜類 ●根菜類 ●其他 ●庭樹 ●花 ●露地花卉 ●溫室花卉 ●盆景 ●養畜 ●養雞 ●養蜂 ●養豚 ●養魚 ●小禽 ●農産加工 ●漬物類 ●納豆 ●家庭壇詰罐詰 ●葡萄酒等 ●病蟲害 ●防除 ●藥劑

大好评の新刊書

★發賣數日にして忽ち賣切れ!! 再版出来、即刻お求めあれ

再版 男女貞操讀本

菊半載レザ一表紙美本 定價五十錢 (送料四錢)

菊池寛先生・河崎ナツ先生 共著
 醫博小倉清太郎先生 共著

混亂した貞操觀念に、正しい方向を與へ男女間の貞操を純情に導く最も新しい貞操讀本はこれです。具體的な實例入りで面白く讀んでる内にはつきりと貞操の意義の分る得難き良書です。

1 女性篇 河崎ナツ
 2 男性篇 菊池 寛
 3 醫學篇 小倉清太郎

女學生、職業婦人の貞操、女給と他なれぬ處女の誇り、處女膜の秘力、夫の女を愛する人妻、非處女の見分け方、婦人の羞恥、徳忌の危險、未亡人の行く道等

女學生、職業婦人の貞操、女給と他なれぬ處女の誇り、處女膜の秘力、夫の女を愛する人妻、非處女の見分け方、婦人の羞恥、徳忌の危險、未亡人の行く道等

最新刊 性病寶鑑

醫博賀川哲夫先生・醫博福井正憲先生共著

★本書は結婚前の處女に、家庭の主婦に、一家の主人に正しい性病知識とその豫防法と治療法を一切網羅した寶鑑

★菊半載レザ一表紙美本 定價八十錢 (送料四錢)

▲男子と性病
 難治の淋疾、恐しい梅毒、軟性下疳にかゝるこころなる病、病状と手當を

▲女子と性病
 大事なる母體を性病に冒かされること、こんな恐しいことになりません。御注意を!

▲小兒と性病
 母の病氣が原因で子供に性病が染るこ子供は馬鹿か氣狂になる其症状を……

▲夫婦と性病
 性病を撲滅し家庭を淨化するには夫婦協力が必要、豫防法と撲滅法を詳細に……

最新刊 婦人性典

醫博福井正憲先生著

★婚前の處女、新妻が是非心得おかれねばならぬ衛生讀本。神秘的な性の問題が、懇切に平易に書かれてをります。

★菊半載レザ一表紙美本 定價八十錢 (送料四錢)

◇月華の卷
 月經にまつる婦人一生の生理衛生を一切詳述

◇結婚の卷
 夫婦の性衛生、和合の秘訣を徹底的に述べ

◇懐妊の卷
 子供の出来る譯、妊娠鑑別法、攝生法等一切公開

◇お産の卷
 出産の諸準備と産褥衛生流産産等の注意を

◇育児の卷
 抱き方お乳の與へ方人工榮養離乳期の諸注意を

◇不妊と避妊
 不妊と避妊の原因と具體的方法を

株式會社 寶文館

東京市日本橋區室町四ノ五
 振替東京二二八〇番五
 電話日本橋(24)二六二六・二六二七

山田孝雄博士名著選

書名	頁數	定價	書名	編著者	頁數	定價
日本文法論	一五〇〇判	一〇〇〇	明治財政の基礎的研究	澤田章	四〇〇判	四二〇
日本文法講義	五五〇判	四一五〇	増補 批判的教育學の問題	篠原助市	三五〇判	二一八〇
日本口語法講義	四〇〇判	三一八〇	維摩經釋義	道重信教	三〇〇判	二一四〇
平家物語	八〇〇判	三二八〇	哲學の話	大島正徳	三四〇判	二〇八〇
源氏物語の音楽	五〇〇判	三一八〇	改訂倫理學演義	吉田靜致	六〇〇判	四二八〇
萬葉集講義 卷第一	四〇〇判	三一五〇	道德の原理	吉田靜致	四六〇判	三一八〇
同 卷第二	七五〇判	三一五〇	昭和會計法規通論	武藤榮次郎	一七〇判	九三八〇
國體の本義	三〇〇判	一〇五〇	國民兵器大觀 附其戰法	長谷川正道	八五六倍	五三〇〇
大日本國體概論	一四六〇判	一〇五〇	東洋史觀	鳥山喜一	四六〇判	四一八〇

東京市京東區町四九番一七一 電話九四一七
 東京市京東區上坂口一段九番七三九 電話二九七

婦女界社

一千名家權威の協同事業

國民百科大辭典

全十二卷



每卷新申込殺到!!

一 卷・二 卷 五 卷 昭和十年 三月 發行
 三 卷・四 卷 六 卷 七 卷 八 卷 九 卷 十月 發行
 十 卷 十一 卷 十二 卷 十一月 發行
 以下每卷三ヶ月毎に配本

定價各卷七圓(全十二卷)八十四圓
 送料各卷市内・一二内地・四五領土・七五
 現品全國書店にあり詳細内容
 見本・國民百科文獻集(頁百)拜呈

七三九

安買 心へ する 富山房の辭書

英語なら何でもわかる

富山房 大英和辭典

◇市河三喜博士・飯島廣三郎・畔柳都太郎共著◇

一度使へば一生忘れられぬ

改訂 詳解漢和大字典

◇文學博士服部宇之吉・文學博士小柳司氣太共著◇

小型で氣の利いた

縮刷版 詳解漢和大字典

◇文學博士服部宇之吉・文學博士小柳司氣太共著◇

正確・綿密な我國唯一の和獨

新譯 註解和獨辭典

◇文學士 小田切良太郎・ウオル・ファルト共著◇

特價 ¥ 5.50
定價 ¥ 7.50

特價 ¥ 2.50
定價 ¥ 3.50

特價 ¥ 1.80
定價 ¥ 2.30

定價 ¥ 3.50

東京神田
一丁目
五番

富山房



七三八

書備必の理整品集採及び究研學物生

<p>植物名彙</p> <p>植物學上に於ては和名漢字を使用せぬことを原則としてゐるが、和歌俳句等文學上に於ては、漢字を必要とする場合が少くない。本名彙は志田義秀氏田中鐵齋氏が日本植物圖鑑(定價十圓)に掲げられた標準和名に準據して文學上の立場から調査編纂した植物和名漢字彙。四六判紙裝一三〇頁。刷布實費十七圓。</p>	<p>昆蟲採集便覽</p> <p>日本昆蟲圖鑑(定價十五圓)の別冊附録として刊行せるもの。執筆者は日本昆蟲圖鑑の著者。圖版五十五個を挿入して昆蟲の採集保存法・雌雄識別法等について詳説してある。四六判紙裝七十頁。刷布實費二十二圓。</p>	<p>動物採集便覽</p> <p>日本動物圖鑑の著者が昆蟲以外の動物各級の採集保存法等につき多数の挿圖を添へて、積年の體験を著書に挿入して、日本動物圖鑑(定價十五圓)の別冊附録として刊行せるもの。四六判紙裝七十頁。刷布實費二十二圓。</p>	<p>學生版動物圖鑑</p> <p>三ボト總定價五圓。刷布實費二圓。五〇頁。四六判紙裝。</p>	<p>應用動物圖鑑</p> <p>六〇頁。刷布實費三圓。三冊。四六判紙裝。</p>	<p>日本動物圖鑑</p> <p>四八頁。刷布實費三圓。四冊。四六判紙裝。</p>	<p>日本植物圖鑑</p> <p>四二頁。刷布實費三圓。三冊。四六判紙裝。</p>	<p>日本昆蟲圖鑑</p> <p>四二頁。刷布實費三圓。三冊。四六判紙裝。</p>	<p>昆蟲學界の權威者二十六氏が積年の蘊蓄を傾注して著述せられたる昆蟲圖説書の最高權威書。原色四十四葉、形態圖四千四百個を掲げてあり、凡ゆる昆蟲とその幼蟲を一種毎に圖解せるもの。挿圖の正確鮮明にして、説文の懇切なる、而も索引の完備せる點に於て斷然類書に冠絶す。(内容見本連見)</p> <p>植物と云へば牧野、牧野と云へば植物——と全世界にその名高き著者が、三好學博士(地衣類)岡村金太郎博士(藻類)川村清一博士(菌類)岡村周壽博士(苔)の協力執筆を得て圖解せる邦産植物二五五〇種の規範的圖説書。日本動物圖鑑と相並んで生物圖鑑の双璧。(内容見本連見)</p> <p>原色四十二葉、形態圖四千一百個を掲げて鳥・獸・魚・介・蟲・その他凡ゆる動物とその幼生を一種毎に圖解せるもの。巨大な鯨・肉眼で見えぬアミイバ・人體内に寄生する虫までも動物である以上みな本圖鑑に收載されてゐる。應用動物圖鑑と相並んで本邦動物界の代表的二大文獻。(内容見本連見)</p> <p>那・乳・肉・羽毛・皮革・生絲・蠶甲・真珠・珊瑚・海綿など、數へあはれる迄もなく我々は常に各種の動物から莫大な資源を供給されてゐる。一面また小さな蟲ケラミ等も、吾が體内に寄生されて生命を蝕まれれば農作物を荒されて年々多額の損害を蒙つてゐる。本書は原色四十葉と鮮明な挿圖六百五十個を掲げて之等人生と密接な交渉をもつ各種動物の生態習性助に現在の利害關係と之に對する適策を詳述してある。(内容見本連見)</p> <p>學生諸氏・狩獵・飼鳥・釣魚・採集趣味家の野外携帶用たらしむべく、日本動物圖鑑を底本として編纂せるもの。鳥・獸・魚・貝・蟲其他の動物二七五〇種の姿態と名稱が一目瞭然。一般家庭の教育資料としても快適。(内容見本連見)</p>
--	---	---	---	--	--	--	--	--

七四一
 七七七七七七七七
 四四四四四四四四
 八七六五四三二一
 (56) 京電 館 隆 北 三町橋・橋京・京東
 番〇五七京東替編

(いさ下み込申御上の入封錢貳料送らがな手勝は際の求請御本見容内)

年四廿治明業創

聞新誌雜書圖

捌賣元

東京・京橋

株式會社

北隆館
 福田良太郎
 福田金次郎



版出念記年周十五立創會産水本日大 人法團社
 著共 實秀 尾妹 新 尾 寺 穗茂中田 松代千川石 修鑑
 一謙名老海 忠 暮 日 俊久川丸 郎太金村岡

全二編 集圖物植動産水本日 原色

入帙裝表布金方三ト一ア・説解文兩英和・寸七尺一横寸二尺一豎

本圖集ハ水産國日本ノ代表的出版物ニシテ載録セル重要水産動物六九六種(一〇葉)ノ原色圖ハ、水産生物寫生ノ世界的權威者故伊藤熊太郎氏ガ畢生ノ事業トシテ、上掲共著者監修ノモトニ迫眞ノ彩管ヲ揮ハレタル國寶的寫生圖。其ノ製版印刷・裝幀ハ斯界ノ重鎮山縣製本印刷株式會社ガ得意ノ技術ヲ以テセルモノ。和英兩文ノ適正ナル解説亦學界ノ範タリ。——(内容見本御請求ハ郵券十錢ヲ要ス)

上一捕 金五拾圓

送一内地・臺灣・樺太一貳圓料一朝鮮其の他一貳圓卅錢

七四一
 七七七七七七七七
 四四四四四四四四
 八七六五四三二一
 京電 館 隆 北 町橋・橋京・京東
 番〇五七京東替編

七四〇

◻有精堂優良受験参考書◻

著者	版数	書名	定価	送料
石野勝五郎	増訂改版 七十七版	幾何のあたま	1.50	10
石野勝五郎	増訂改版 八十八版	代数のあたま	1.60	10
奈良善雄	廿五版	三角のあたま	1.20	6
奈良善雄	十版	上級の代数	1.80	12
奈良善雄	十版	上級の幾何	1.70	12
奈良善雄	五版	五年の立體幾何	.80	6
村山功	忽十版	英文解釋のあたま	1.50	12
村山功	最新刊	和文英譯のあたま	1.20	10
村山功	最新刊	受験の英和カード	1.00	10
内山常治	最新刊	学習受験 上級の英文法	1.50	12
小和田武紀	最新刊	受験研究 蒙求新釋	1.00	6
島田鈞一	最新刊	全譯 文章軌範新釋	1.40	6
島田鈞一	普及版	論語全解	1.40	10
島田鈞一	普及版	全譯 孟子全解	1.80	12
佐野保太郎	最新刊	新刊 徒然草全解	1.20	10
淺尾芳之助	五版	國漢文單語の整理	1.00	12
吉川秀雄	普及版	玉かつま新釋	.85	6
佐野保太郎 服部藤旦	"	花月双紙新釋	1.00	6

東京市神田區 有精堂出版部 振替東京 神保町一ノ三九 六七九四九番

七四三

著者	書名	定価	送料
九州大助教授 自在丸新十郎著	佛敎と科學	定価壹圓八拾錢	
文學士 野見山 思 齋著	眞言密敎講話	定価壹圓五拾錢	
高神覺昇著	佛敎人間學	定価壹圓	
同	密敎概論	定価貳圓四拾錢	
文學博士 宇井伯壽著	印度哲學研究(第一—六卷)	定価貳圓八拾錢	
文學博士 木村泰賢著	印度哲學・佛敎思想史	定価貳圓四拾錢	
同	解脱への道	定価拾貳錢	
同	佛敎の概論	定価壹圓五拾錢	
文學博士 椎尾辨匡著	人間の宗教	定価貳圓	
同	社會の宗教	定価貳圓五拾錢	
同	禪學概論	定価貳圓五拾錢	
同	原人論新講	定価貳圓四拾錢	
文學博士 入澤宗壽著	教育學概論	定価貳圓四拾錢	
文學博士 宇野哲人著	東洋倫理學史	定価壹圓五拾錢	
東洋大學教授 小野正康著	西洋倫理學史	定価貳圓四拾錢	

甲子社書房新刊・重版

東京市京町一丁目 甲子社書房 振替東京 〇〇五番

七四二

新刊 著名 音 樂 書 樂 器 奏 法 書 法

發行所

東京市牛込區西五軒町三四
電話牛込九三九番
振替東京六九一一七番

シンフォニー樂譜出版社

シンフォニー樂書總目錄

最新版出來!! ハガキ
で御申越の方へ、無
代御送呈申上ます。

伊庭 孝著 鹽入龜輔著 本講の 読み方 樂典講義 送價菊 〇・五 四〇判	武蔵野 音樂學校 志賀靜男著 歌曲の作り方 送價菊 〇・五 四〇判	河村直則著 童謡作曲の仕方 送價菊 〇・五 四〇判	村山 博著 歌の唄ひ方 送價菊 〇・五 四〇判	シンフォニー 編輯部編 女學生の愛唱歌 送價菊 〇・四 四〇判	服部龍太郎編 世界國歌集 送價菊 〇・四 四〇判
大國舒光譯 カルカッシ ギター 教則本 送價菊 二・倍 一〇〇判	シンフォニー 編輯部著 ハワイアン ギター奏法 送價菊 一・倍 〇〇判	松原千加士著 手風琴獨習 送價菊 四・六 〇・五 四〇判	河村直則著 子供のための オルガン教本 送價菊 〇・五 四〇判	シンフォニー 編輯部著 最新ハーモニカ獨習 送價菊 〇・五 四〇判	草野 茂著 琴古流 尺八獨習 送價菊 四・六 〇・五 四〇判
シンフォニー 編輯部著 明笛獨習 送價菊 四・六 〇・五 四〇判					

に界世の供子
るげ投を光るなた新
書の問題



霜田靜志先生の六名譯著

増刷 ↓ 増刷 ↓ 増刷 ↓ 増刷

霜田靜志著 問題の子供 版十二	問題の親 版十	問題の教師 版七	子供への理解 版八	幼児への理解 版五	低年齢 兒童の教育 版三
-----------------------	------------	-------------	--------------	--------------	--------------------

「ルーミエ」の代現

四六判・各冊三百二十頁乃至三百八十頁
挿畫一葉乃至六葉
定價 各冊一圓三十錢・送料 各十四錢
激賞せられるこれらの書は、子女の教育に
關心を持つ親や、教育の大道に精進せられ
る先生方の必備の寶典であります。

一人一人の子供の魂を守り育て、
彼等のために良き將來をと希ふ心、そ
れは尊い親心であり、永遠に變らぬ教
育者の心である。

教育に關して書かれた書物は實に夥
しい數にのぼつてゐる。併し自分は斯
く斯くの意圖の下に、斯く斯くの道を
歩んだと、その教育體験を大膽
に正直に記述したものは甚だ少
い。百の說法よりも一つの經驗
である。この意味に於て幼きも
の、教育に思ひを碎かるゝ世の
兩親並に教育者に、これらの書
を捧げるのは決して無意味では
ない。

東京・神田・駿河臺三六
八〇一三七東京替振
店書江刀

坂崎垣先生序

中村恒夫先生新著

最新刊

四六判箱入美装
寫眞百餘挿入

七四八

巴里畫壇の全貌

全美術界待望の名著 成る!!

フランス畫壇に關する書物はいや程あるが、斯くの如く趣味と實益滿溢の書は當のフランソワは勿論何處の國にもない。文字通り世界的な名著。本書の佛譯版と英譯版が出版されることになつたのも當然。美術家は素より、一般讀書家も是非座右に備ふ可き大文獻であり、美術界の大羅針盤である。淺薄な翻譯書と其の趣を異にする。

渡邊素舟先生序

八幡義生先生新著

最新刊

菊判美裝箱入
圖案五拾餘入

すぐ應用出来る創作手工藝圖案集

此んな便利な圖案集が又とあるか!!

混沌たる現時の手工藝界に現代及び今後のモチーフと進路とを示す最大傑出したる創作圖案の集大成であり、然も著者實際の教授上と製作上との兩方面に於ける滋養と研鑽との結晶圖案であつて、何んにもすぐ應用のきく生々實實な指導書である。されば一般手工藝家、美術圖案家に切にお奨めする次第である。

定價壹圓八拾錢
送料貳拾錢

東京市神田區 崇文堂出版部 振替 東京 〇三九七番

文學博士 大槻文彦 著



全國中等學校

指定辭書

全國各書店にあり

小形版
菊版半截形
定價壹圓八拾錢
送料拾四錢

中形版
四六版布製
定價貳圓貳拾錢
送料貳拾貳錢

子爵 上原元帥閣下序
荒木大將閣下序
阿多俊介先生著

孫子の新研究

四六判洋裝箱入
定價 金一圓八十錢
送料 金十錢

孫子の書は兵學の經典として古來世に知られたる世界的奇書の一である。本書は之を最近の世界史に依りて徹底的に解説し、一讀理義明白、興味津津たるしめたるもの。曩に一度び之を刊行するや重版復た重版、切りに江湖の白熱的絶議を博するに至る。今や所謂世界的非常時に際會し、冀くは速に一本を座右に備へ、一は以て當面の時局を解するの資に、一は以て處世の要道を茲に感得するの料とせられんことを望む。

七四九

東京市神田區 崇文堂出版部 振替 東京 〇三九七番

集選フトスエシ

清 木 三 輯監

中河木阿徳田三
 山上 寺部永川木
 省徹 黎六郁
 三太 黎六郁
 郎郎二郎介定清

者 譯

〔第二卷配本最新刊發賣〕



冊 二 全

外内頁〇五四冊一製上判菊

錢十五圓貳冊一價定

錢四十冊一料送

本書を讀まずしてシエストフを語る勿れ

七五〇

刊既卷一第
 容 内 總

- 一、トルストイとニーチェの教義に於ける善
- 二、チエホフ論
- 三、ハイネ論
- 四、勝利と敗北(イブセンの生涯と藝術)
- 五、自明の超尅(ドストイエフスキーの哲學)

行發卷二第
 容 内 總

- 一、「ヨアの秤で」の序文
- 二、「不逞と從順」よりの抜粹
- 三、時代の子とまゝの子(スピノザ論)
- 四、ゲツセマネの夜(パスカルの哲學)
- 五、狂亂の言葉(プロテイマス論)
- 六、形而上學的眞理の源泉に就いて

社 造 改

目丁七橋新區芝市京東
 番二〇四八京東替振

所 行 發

現代隨筆全集

現代第一流の隨筆家二百餘名の傑作を網羅す
 十二卷各二圓・四六判五百頁・内容見本進呈

日本精神文化大系

日本精神の原典の精華を系統分類して集成す
 全十卷各卷三圓菊判六百餘頁・内容見本進呈

感激實話全集

名士の筆になる生きた美談の實相を悉く集む
 全六卷各卷一圓・三百五十頁・内容見本進呈

チエーホフ全集

短篇小説と近代劇の王者の原語直接譯の全集
 十六卷各卷二圓五十錢五百頁・内容見本進呈

ジイド全集

現代文學の第一線にある文豪の責任ある全集
 全十八卷各卷一圓五十錢四百頁内容見本進呈

現代詩創作講座

新しい詩の精神と方法を説き盡せる名講座
 全六卷、詩語辭典無代進呈、各卷一圓五十錢

將棋大衆講座

關根名人が自ら監修に當られた權威ある講座
 全十二卷各卷五十錢菊判二百頁内容見本進呈

七五一

八二三三京東替振
 八六〇四段九話電

堂 星 金

町保神區田神市京東
 地番一十二目丁三

歴史教育講座

全十二巻

歴史學研究

月刊 定價四十錢
六冊二・四〇

七五二

月刊誌 歴史教育

★定價五十錢・郵税二錢・六冊前金三圓(税共)★

明治以後の歴史學の發達	歴史會教育	研究會編	定價金二圓八十錢 郵送料金二十錢
歴史學及歴史教育の本質	中川一男著		定價金二圓二十錢 郵送料金十四錢
日本中世史論考	大森金五郎著		定價金四圓三十錢 郵送料金二十二錢
日本文化史圖錄	木代修一編		定價金三圓八十錢 郵送料金二十錢
日本本考古學	後藤守一著		定價金三圓八十錢 郵送料金二十錢
日本上代文化の考究	中山久四郎共著 森本六郎共著		定價金二圓七十錢 郵送料金十四錢
日鮮關係の史的考察と其研究	日笠護著		定價金十四錢
支那封建社會史	野原希聖著 野原四郎譯		定價金八拾五錢 郵送料金八錢
掌中東西年表	岩井大慧編		定價金六十五錢 郵送料金四錢

四海書房

東京市豊島區巢鴨七丁目
振替東京七三八七四番

渡邊龍策先生著

(四六判美裝) 定價一圓・税十錢

【評好大】

少年滿洲帝國全史

波瀾萬丈數奇を極めた大滿洲國の
血沸き肉躍る興亡秘史!

序文より—滿洲國が獨立した事をば、中華民國の人々は決してくんであはれませぬ。私は何かして中華民國及び滿洲國の人々の氣持を日本の若き人々にお傳へたいと思つてゐたのです。日本に歸り昨年この熱情やみ難くして「少年少女滿洲國の話」を公にしましたそれは實に思ひがけない反響を得ました。そうしてゐる内に帝政が布かれました。この際新滿洲帝國の歴史を一通り若き諸君にお傳へすることは決して無意義でないと思ひます。書中に現はる人物流れゆく時代精神より何物かをつかんで下されば幸であります。國の興亡は全て民族の根強い精神によります。(略)

◇學校に文庫に圖書館に!
◇童心の糧として大好評!

目次大要	一 滿洲帝國皇帝陛下	二 滿洲に起つた國々
三日清戰爭	四 露戰爭	五 戦後の滿洲に光る列強の眼
六 日本への滿蒙開發	七 張作霖	八 滿洲の排日
九 日滿ハルビン入城	十 昂々溪の大戦闘	十一 錦州入城
十二 五建國第一年の滿洲	十三 上海事變	十四 新滿洲國の建設
	十五 熱河討伐	十六 最近の滿洲國
十七 最近の滿洲國		

少年滿洲國の話 渡邊龍策著 定價一〇〇税一〇
 神祕・驚異・怪奇の自然譚 吉田弘著 定價一〇〇税一〇
 面白い動物の話 大西陸治著 定價一〇〇税一〇
 少年科學文明の驚異 荒川文吾著 定價二〇〇税二一
 日本武勇物語 櫻井勝三著 定價一〇〇税一〇
 飛行少年の知識 野口一等飛行士著 定價一〇〇税一〇

七五三

東京市神田區 南光社
 電話二五二一 電話二五二一

京大教授・経済學博士 小島昌太郎著	金融機構論	定價 2.00 送料 .12
拓殖大學教授 宮川貞一郎著	近代貨幣理論の種々相	定價 1.50 送料 .12
京大教授・經濟學博士 小島昌太郎著	我國主要産業に於けるカルテル的統制	定價 4.50 送料 .22
關西大學教授 磯部喜一著	工業政策要論	定價 2.80 送料 .18
法政大學教授 秋保安治著	工業概論	定價 1.50 送料 .14
東大教授・農學博士 佐藤寛次著	日本の農業	定價 1.80 送料 .18
拓殖大學教授 宮川貞一郎著	新貿易方策と爲替	定價 1.50 送料 .12
東京商科大學教授 佐藤弘著	産業貿易	定價 1.20 送料 .12
經濟學博士 太田正孝著	日本財政論	定價 1.30 送料 .12
エルンスト・ワグマン原著 經濟學博士 小島昌太郎監譯	世界經濟機構と景氣變動	定價 3.50 送料 .22
エルンスト・ワグマン原著 經濟學博士 小島昌太郎監譯	國民經濟と世界恐慌 組織の缺陷	定價 3.00 送料 .22
エルンスト・ワグマン原著 經濟學博士 小島昌太郎監譯	景氣變動論	定價 3.50 送料 .22
京都帝國大學講師 佐波宣平譯著	シユターベル フェルド 海運運賃市場	定價 2.80 送料 .22
ヴェルナー・ゾムバート原著 經濟學博士 小島昌太郎監譯	三つの經濟學	定價 3.50 送料 .22
東京市本郷區 株式會社 雄風館書房 電話小石川一九一一番 元町二ノ三九 振替東京五五六八四番		

七五五

五十五版

士博學文

大好評

修監年萬田上

國漢新辭典

色特の書辭本

試みに他の辭書にない語をこの辭書で御引き下さい。屹度出て居ります。自分の調べたい語が辭書に出てゐない程がっかりすることはありますまい。その遺憾がこの辭書にはないのです。引き方の難易は辭書の生命を左右します。この辭書は、「盲目でさへなければ引ける辭書」をモットーとして編纂されたものです。各語の解釋説明は最も簡單明瞭に示されてゐる處これ又一大特色です。

語數の斷然豊富なる新辭典

定價至廉最良至便の新辭典

使用範圍
小 學 上 級 生
中 學 生
女 學 生
一 般 家 務

「縱五寸 横三寸」

總頁數
壹千百拾貳頁

定價 壹圓參拾錢
特價 壹圓
八錢

七五四

東京座口替振
番一四四七三

社 進 文

區町麴市京東
四目丁二町田飯

塚本哲三先生著

(好評嘖々)

根柢國漢文要語辭典

四六版六七〇頁
美總クローズ製
特價二〇〇
送料一四

參考書としての獨創的新辭典！

編者曰く――

『私には端的に中等學生の自習と受験とを目標とした數種の述作があります。その主なるものは「國文解釋法」「漢文解釋法」「現代文解釋法」等でそれ等には何れも讀解文法作文上の大切な根柢事項が説いてあります。それ等を辭書的に整理統一し、更に國漢及讀解上に大切な和漢の語句を萃めて解釋したのがこの索引であります。日常普通の語句や、特殊文字や特殊文學に關する語句は別として所謂國漢文の讀解、國漢文入試問題の解決に要する根柢素材は殆ど遺漏なく網羅してゐると信じます。』

索引

本文中から特に讀みにくい語句を萃めて、總畫順に排列し二十餘頁の索引を追補した。讀み方が分らぬから引けぬといふ心配が全くなくなつたわけである。

塚本哲三先生著 【好評忽七版】

精說國文法

全一冊
國文解釋法ノ型
正價一〇〇
送料一〇

本書は、中等教育程度、受験程度の國文法として、總の畫順から入るべきもので、延いては高等學校や專門學校程度までの學生の參考資料ともなり、文檢受験者の參考書ともならう事を期したものである。本書には詳細の二つの索引が附いてゐる。一つは「内容索引」で、それを見れば、凡そ文法上の疑問は、どんな詳細な事でもきつと解決される。もう一つは「入試問題索引」で、それを見れば、自分の志望する學校にどんな問題が出てゐるか、何がきつと分る。要するに本書は、ほんとに文法が分つて、ほんとに役に立つやうに、正しく文法の本質を覺えたいと思ふ人のために述作したものである。

南日恒太郎先生著
田部隆次先生改訂増補

【好評忽七版】

新英文解釋法

全一冊
四六版美裝
正價一〇〇
送料一〇

「日本で一番よく賣れ、よく讀まれた受験參考書は」と諸君の先輩父兄の方に聞いて見給へ。百下に「それは南日先生の和文英辭法と英文解釋法」と言ふ答を聞くであらう。英文解釋法一二九版一〇〇〇冊此の數字こそ本書の價値を最もよく語るもの。此度南日先生の御命召にして、我が國英界の著名田部隆次先生に依つて、最近入試問題及出さうな問題を各々百數十題増補され且つ内容に大訂正を加へ、面目を新たにせらる。敬て本書一巻を備へられん事を望む。

倉長眞先生著 【好評忽六版】

受験英語讀本

全一冊
國文解釋法ノ型
正價一〇〇
送料一〇

完備と云ふ言葉が持つ眞の意味が故に達成されたのである。著者の數ある受験參考書は、本書にコンデンスされアレシヤされた。稱して「受験英語讀本」と云ふ。而も英文解釋の基礎を説き、公式を表はし、應用問題を縱横に解明し、入試問題の根本數十冊を拉し來つて、各學校の出題傾向を明示し、どんな人のどんな本から問題が出たか、出さうであるか、数々の眞なる作者の體本は本書一巻に集約され、且親切なる説明が與へられて居る。受験人の徳てが必讀の參考書として本書を讀ぶ事を確信する。

南日恒太郎先生著
田部隆次先生改訂増補

【好評忽六版】

新和文英譯法

全一冊
四六版美裝
正價一〇〇
送料一〇

同じ著者による、英文解釋法と共に、書版時代實に、一三五〇〇冊を世の絶ての受験生に提供せる餘々たる歴史と傳統を誇る「増訂和文英譯法」を、南日先生の命召にて、斯界の大權威者田部隆次先生により、大改訂増補せられたるもの、尙も遜職辭裡に向はんとする者は先づ、何を置いても、本書一巻をマスタリーしなければならぬ。

京東座口替振 店書堂朋有 區田神市京東
番八四一七 目丁一町錦

京東座口替振 堂朋有 株式會社 區田神市京東
番八四一七 目丁一町錦

好評の新作と重版

本間俊平氏著 人生の大原動力	志大命を開拓せんとする者は来り讀め。立	新刊	定價	八圓
本間俊平氏著 よろこびの泉	婦人の獨特なる信仰心に就き、其驚歎すべき事實を物語る良書	重版	送料	圓貳拾錢
高島米峰氏著 物の力・心の力	不羈の佛教的信仰を持つ著者の書	重版	送料	圓貳拾錢
永田秀次郎氏著 青嵐九十五點主義	獨特の識見と輕妙の筆を持つ著者の世に誇るべき珠玉の隨筆集	七版	送料	圓貳拾錢
萩原井泉水氏著 芭蕉を語る	芭蕉の生活を中心として俳諧文學の眞體を語る通俗文藝良書	重版	送料	圓貳拾錢
山中峯太郎氏著 少年實話 星の生徒	兵隊さんの那陸軍幼年學校の元氣一杯な生徒生活を物語る小説	重版	送料	圓貳拾錢
吉屋信子氏著 小説 櫻	満天下の少年少女を熱狂せしめし涙と笑の美しき長編少女小説	重版	送料	圓貳拾錢
相馬御風氏著 日のさす方へ	童心理學の研究家たる著者が綴れる絶好無二の家庭兒童讀物	重版	送料	圓貳拾錢
ラムリー博士著 世界列強のプロパガンダ	「人生は四十から」の著者が人生を二倍に生きる秘法を公開す	三版	送料	圓貳拾錢
大江專一氏著 エネルギー使用法	「人生は四十から」の著者が人生を二倍に生きる秘法を公開す	重版	送料	圓貳拾錢
辯護士 宮崎直二氏著 改正法 手形と小切手の書き方と見方	重版	送料	圓貳拾錢	
醫學博士 長濱繁氏著 性的悪習と神經衰弱の新療法	重版	送料	圓貳拾錢	
醫學博士 篠田義市氏著 榮養食と治病食	四十餘年の疾病の各種食餌療法を自宅で出来るやうに講述す	重版	送料	圓貳拾錢

七五八

東京市東區橋目 實業之日本社發行 振替口座番 東京六番

「水産を以て國富ます」とは水産翁故村田保氏の言である。又同時にわが國民の覺悟でなく一般國民生活の安危は分かれるのであります。獨り水産業者のみでなく、知識を、各執筆諸先生はよく弊店の主旨を賛し、最高の指導書であると、同時に通俗麗なる各原色版六葉の科書と成るやう記述されました。挿圖一千五百餘種、其外一頁大の美しき各々圖版に、既に各水産物の學術的經濟的價值、效用を詳説し、又地理的分布の狀態も明らかになりました。通常家庭にとつても吾人の日常生活に必須の常用寶典として無二の良書であります。通常家庭にとつても吾人の日常生活に必須の常用寶典として無二の良書であります。通常家庭にとつても吾人の日常生活に必須の常用寶典として無二の良書であります。

同農博 同理博 同同博 同同博 同同博 同同博

雨宮育作 石川昌昌 黒田長禮 田中茂穂 内田亨 山田幸男 中澤毅一 瀧巖

有用 有害 觀賞 水産動物圖説

四六倍判背革・六八十八頁・定價八圓・送料四十五錢・所載千七百餘種

七五九

東京市東區橋目 實業之日本社發行 振替口座番 東京六番

東京中央放送局技術部監修

(菊判美裝) 定價 一圓・書留送料二十一錢

昭和十年版

JOAKラヂオ技術講義録

【本書の主要目次】第一章 電氣の基礎知識(電氣の種類外九節) 第二章 受信アンテナミアース(アンテナ外三節) 第三章 受信真空管(2極真空管外七節) 第四章 受信機の回路(同調回路外六節) 第五章 交流受信機(直流受信機と交流受信機外七節) 第六章 電力増幅装置(3極真空管を用ひる電力増幅回路外四節) 第七章

第八章 受信機の組立(回路の選び方外五節) 第九章 スピーカー・ビツクアップ(音響電流と原音再生外四節) 第十章 電池と充電器(蓄電池外三節) 第十一章 故障修理(受信機の故障箇所分類外五節) 第十二章 雑音障害と防止法(雑音障害の發生原因外五節) 附録 記號の解説外一章

聖典講義中の名放送

柴田一能著	飯島忠夫著	玉置箱晃著
聖典講義	聖典講義	聖典講義
持法華問答鈔	孝經講話	觀音經禮讚
(附・日蓮教義大要)	(附録 四篇)	
定價 一圓五十錢	定價 一圓三十錢	定價 一圓五十錢
送料 十四錢	送料 十四錢	送料 十四錢

東京市麴町區幸一丁目一〇番 協版出送放本日
大阪市東區北久太郎一丁目 大阪五九二番

創刊第十二周年記念版 內容外觀一新

第十二回昭和十年版
昭和十年五月出版

電氣年鑑

毎年引續發行

大正五年創刊

本年鑑の特色

- ◆本邦電界の現状を詳細に知る羅針盤
- ◆電氣關係各種統計集
- ◆最近の新設電氣會社商店工場の見案内
- ◆全國電氣會社、電氣化學會社、自家用電氣、官廳電氣詳細一覽
- ◆全國電氣機器製造、販賣の會社、商店、工場の現況案内
- ◆電氣二種以上主任技術家一覽
- ◆菊判洋裝函入附録共二冊、紙數約一千頁(別冊附録約二百頁)

定價 金 五 圓

送内 地 三十三錢
料滿 鮮 六十二錢
棹南 洋

別冊附録(兼帶用型)
電氣家氏名(二種以上電氣主任技術資格者)

電氣年鑑本年版も多年御後援に酬ゆる爲收支を度外視せる別冊附録共定價は従前通の大奉仕版、是非一本を備へ御活用を冀ふ

電氣年鑑之友社

東京市京橋區座八丁目一(電話三〇二二) 振替東京二〇三
大阪市北區堂島中二丁目四(電話九一〇六) 振替大阪一〇九六